2027 年度 4 月期入学

修　士　課　程

外国人留学生学生募集要項

（2027年度10月期入学含む）

Guidelines for International Applicants to the 2027Master's Program

【April 2027 Admission】

(Including October 2027 Admission)

京都大学大学院工学研究科

Graduate School of Engineering, Kyoto University

〒615-8530　京都市西京区京都大学桂

TEL　075-383-2040, 2041

Kyoto daigaku-Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto, 615-8530, JAPAN
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

目　　次

Part A　全入試区分共通部分　4

I. 募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

II. 出願資格と出願資格の審査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

i. 出願資格・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

ii. 出願資格の確認（出願資格（３）（４）（５）（６））・・ 5

iii. 出願資格の審査（出願資格（９）（１０））・・・・・・ 5

III. 出願要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

i. 出願手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

ii. 出願書類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

IV. 入学者選抜方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

i. 学力検査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

ii. 受験票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

V. 合格者発表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

VI. 入学料及び授業料と入学手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

VII. 注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

VIII. 共通部分に関しての問合せ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

IX. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について・・・・ 10

X. 修士課程入学後の教育プログラムについて・・・・・・・・・・・・ 11

XI. 博士課程教育リーディングプログラムについて・・・・・・・・・・ 11

XII. 卓越大学院プログラムについて・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

XIII. スーパーグローバルコースについて・・・・・・・・・・・・・・・ 11

XIV. 大学院修士課程ダブルディグリープログラムについて・・・・・・ 11

XV. 表　修士課程入学後の教育プログラムと入試区分・専攻・・・・・ 12

XVI. 試験日程一覧（修士課程）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Part B　入試区分別入学試験詳細　25

Contents

Part A	**Common Part for All Divisions/Departments**	**14**
I.	Number to Be Accepted……	14
II.	Eligibility and Its screening……..	15
	i. Eligibility……..	15
	ii . Eligibility Confirmation (under requirement (3) (4) (5) (6))……	15
	iii . Eligibility Screening (under requirements (9)(10))……	15
III.	Application……	17
	i. Application Procedures……	17
	ii. Application Documents……	18
IV .	Selection Methods……	20
	i. Academic Examination…….	20
	ii. Examination Voucher……...	20
V.	Announcement of Entrance Examination Results……...	20
VI.	Admission Fee, Tuition and Admission Procedure…….	20
VII .	Notes……..	21
VIII.	Contact Information for Inquiries Regarding Common Part for All Divisions/Departments ……	21
IX.	Admission Policy……..	21
X.	Educational Programs in Master's Program……	22
XI.	Program for Leading Graduate Schools……...	22
XII.	Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education……..	22
XIII.	Top Global Course……	22
XIV.	Master's Double Degree Program……	22
XV.	Table: Educational Program and Division/Department...……....	23
XVI.	List of Examination Schedule (Master's Program)…….	24
Part B	**Details of Entrance Examinations of each Division/Department**	**25**

Part A：全入試区分共通部分

※本募集要項の記載内容については日本語版が優先となります。

京都大学大学院工学研究科の修士課程は、大学院設置基準第 4 条第 4 項にいう博士課程の前期 2 年の課程です。

Ⅰ. 募集人員

①2027 年度 4 月期入学：各入試区分とも若干名

入 試 区 分	分 属 専 攻
社会基盤・都市社会系	社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻
都市環境工学	都市環境工学専攻
建 築 学	建築学専攻
機 械 工 学 群	機械理工学専攻 マイクロエンジニアリング専攻 航空宇宙工学専攻
原 子 核 工 学	原子核工学専攻
材 料 工 学	材料工学専攻
電気電子デジタル理工学	電気電子デジタル理工学専攻
化 学 理 工 学	化学理工学専攻

②2027 年度 10 月期入学：各入試区分とも若干名

入 試 区 分	分 属 専 攻
社会基盤・都市社会系	社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻
都市環境工学	都市環境工学専攻
化学理工学	化学理工学専攻

注：

・社会基盤・都市社会系及び機械工学群では、各系・群ごとに一括募集を行い、合格者決定後、各専攻に配属します。

・各専攻の内容については、「入試区分別入学試験詳細」を参照してください。

・社会基盤・都市社会系および都市環境工学を志望し、かつ、融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を希望する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができます。出願後は入学時期の変更はできないので、該当者は事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。なお、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）への推薦を希望する場合には、入試区分を都市環境工学とし 10 月入学を選択すること。
特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要があります。推薦基準を満たしていない場合でも、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生として入学できます。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類についてあらかじめ出願時に提出する必要があります。ただし、これは推薦を保証するものではありません。また、入学試験の合格を保証するものでもありません。なお、出願締切後の入学検定料払い戻しはできません。

・化学理工学専攻を志望する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができます。出願後は入学時期の変更はできないので、該当者は事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。

II. 出願資格と出願資格の審査

ⅰ. 出願資格

外国の国籍を持ち、在留資格「留学」を有する者、又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者で（注）、かつ次の各号のいずれかに該当する者、又は次の各号のいずれかに2027年度4月期入学を志望する者においては2027年3月末までに、2027年度10月期入学を志望する者においては2027年9月末までに該当する見込みの者

(1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
(2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（ⅱ参照）
(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（ⅱ参照）
(5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（ⅱ参照）
(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（ⅱ参照）
(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）又は専攻科（当該専攻科を置く専修学校の特定専門課程（学校教育法第１２５条の２第１項に規定する特定専門課程をいう。以下同じ。）における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）であって、文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
(9) 日本の大学又は専門職大学に3年以上在学した者（学校教育法第102条第2項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、京都大学大学院工学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（ⅲ参照）
(10) 京都大学大学院工学研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者（ⅲ参照）

注：重国籍者で日本国籍を有する場合は、在留資格「留学」を取得できませんので、ご注意ください。
該当者は出願前に大学院掛（Ⅷ参照）へ問い合わせてください。

ⅱ. 出願資格の確認（出願資格(3)(4)(5)(6) 外国の大学を卒業した者等（京都大学大学院工学研究科研究生は除く））

出願資格(3)(4)(5)(6)により出願を希望する者（外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者又は外国において学士の学位を取得した者及び取得見込みの者（京都大学大学院工学研究科研究生は除く））は、事前に確認のため、必ずアドミッション支援オフィス（Admissions Assistance Office/AAO）で手続きを行ってください。詳しくは、以下のホームページに掲載していますので確認してください。
https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/graduate/graduateinfo/ku-aao

その後、履歴書（工学研究科ホームページよりダウンロード）を、2026年12月1日（火）午後5時までに大学院掛（Ⅷ参照）へメールで提出してください。（件名は「出願資格確認」としてください）。

ⅲ. 出願資格の審査（出願資格(9)(10)）

出願資格(9)又は(10)により出願を希望する者には、出願に先立ち出願資格の審査を行いますので、次の書類を大学院掛（Ⅷ参照）へ提出してください。郵送する場合は、封筒の表に「工学研究科修士課程出願資格認定申請」と朱書し、必ず「書留」にしてください。
提出期限：2026年12月8日（火）午後5時（必着）

［出願資格審査提出書類］

(1) 出願資格認定申請･調書	（出願資格(9)又は(10)該当者）様式は工学研究科ホームページからダウンロードしてください。

(2) 推薦書	(出願資格(9)該当者) 在籍する大学が作成し、厳封したものを提出してください。(様式随意)
(3) 成績証明書	(出願資格(9)該当者) 在籍する大学が作成し、厳封したものを提出してください。 (出願資格(10)該当者) 最終出身学校が作成し、厳封したものを提出してください。
(4) 教育課程表	(出願資格(9)該当者) 在籍する学科等の開講科目の講義内容等が 記載されているものを提出してください。

1. 出願資格(9)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査を行います。
2. 出願資格(10)により出願資格の認定申請をした者には、書類審査並びに大学卒業程度の学力について筆記試験又は口頭試問若しくはその両方を行います。
3. 試験及び試問は、2027 年 1 月 4 日（月）に京都大学大学院工学研究科において行います。
4. 資格審査の結果は、2027 年 1 月 5 日（火）に申請者あて郵送により通知します。

Ⅲ. 出願要領

i. 出願手続

出願手続は、下記期限内に「オンラインアプリケーションシステムでの出願登録および入学検定料納入」することにより完了します。

オンラインアプリケーションシステムのページには、以下の募集要項を掲載している工学研究科ホームページ URL からアクセスしてください。(出願期間開始前にリンク予定)

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1/index.html

(1) 出願後の入学検定料の払い戻しには応じません。
(2) 志望する入試区分（専攻・系・群）によっては、独自の書類の提出を課していることがあります。「入試区分別入学試験詳細」をよく読んで対応してください。
(3) 複数の入試区分への出願は認めません。
(4)障害等があり、受験上あるいは修学上の合理的配慮を必要とする場合は、協議しますのでご相談ください。なお、内容によっては対応に時間を要することもありますので、相談を希望する者は、出願前の早い時期に大学院掛（Ⅷ参照）へ申し出てください。
(5) 社会基盤・都市社会系および都市環境工学を志望し、かつ、融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を希望する留学生は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができます。該当者はオンラインアプリケーションシステム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択してください。また、融合工学コース「人間安全保障工学分野」に係る国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）への推薦を希望する場合には、入試区分を都市環境工学とし 10 月入学を選択してください。
(6)特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要があります。推薦基準を満たしていない場合、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生として入学できます。推薦希望者は、特別プログラムへの推薦書類についてあらかじめ出願時に提出する必要があります。ただしこれは推薦を保証するものではありません。また、入学試験の合格を保証するものでもありません。
(7) オンラインアプリケーションシステムでの登録内容、および出願書類（専攻別提出書類含む）の記載内容に虚偽が判明した場合は、不合格とします。合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。
(8) 入学試験における英語の学力に関する成績証明書（TOEIC Listening & Reading 公開テストのスコア等）の取り扱いとして、提出されたスコアシートに虚偽があった場合や、スコアが無効化されている場合には、不合格とします。合格あるいは入学後であってもそれを取り消す場合がありますので注意してください。

オンラインアプリケーションシステムでの出願登録および入学検定料納入期間：
2026 年 12 月 22 日（火）午前 9 時～2027 年 1 月 13 日（水）午後 5 時

ii. 出願書類

※各入試区分において、下記の書類とは別に書類を求める場合があるので、注意してください。詳細は、入試区分別入学試験詳細を参照してください。

【A　全員提出が必要】

① 写真データ	写真（上半身・脱帽・正面向き・無背景で出願前 3 カ月以内に単身で撮影したもの）をアップロードしてください。（ファイル形式：JPEG/JPG。ピクセル サイズ：幅 480～6000 ピクセル、高さ 480～6000 ピクセル）
② 在留カード（両面）	在留カード（両面）をアップロードしてください。出願時に提出できない者は、パスポート（氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ）をアップロードし、入学時までに必ず在留カード（両面）のコピーを提出してください。
③ 入学検定料（入学検定料収納証明書） ※京都大学総長が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除または返還することがあります。対象となる災害及び要件については、京都大学ホームページ(「入学検定料の免除について」http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption)を参照してください。 詳しくは、工学研究科 教務課 大学院掛まで問い合わせてください。	入学検定料　30,000 円 以上の料金の他に決済手数料＊が必要となります。 ＊最終的な料金はオンラインアプリケーションシステム画面で確認してください。 オンラインアプリケーションシステムにて次のいずれかを選択し納入期間内にお支払いください。 「クレジットカード」「銀行決済（ペイジー決済）」「コンビニ決済（セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、セイコーマート）」の中から一つを選択できます。 ※ただし、「コンビニ決済」、「銀行決済（ペイジー決済）」は国内のみの利用となります。 ※出願書類受理後の入学検定料の払い戻しには応じません。(左記「総長が指定する災害」による免除対象者を除く) ※国費留学生については、入学後に検定料を返還します。ただし、検定料支払い時の手数料は返還されません。また、検定料返還時にかかる振込手数料は受験者の負担となります。出願時点で国費留学生であり、かつ、京都大学工学部・工学研究科以外に在籍している者は「国費留学生証明書」を提出してください。出願時点で国費留学生として選考中である者は「第一次選考合格証明書」等を提出してください。なお、現在国費留学生であっても入学時に延長されない場合は、入学検定料は返還されません。
④ 出願承諾書	指導予定教員に依頼の上作成されたものをアップロードしてください。 ※本承諾書は指導予定教員が作成します。安全保障輸出管理にかかる確認・審査等には一定の時間を要するため（通常 2 週間程度、内容によっては数ヶ月程度)、出願者はできる限り余裕を持って指導予定教員に作成を依頼してください。なお、確認・審査等の結果によっては「受入可」の通知を得られず、本出願承諾書の提出に至らない(出願することができない)場合もあります。

【B　外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者（京都大学大学院工学研究科研究生は除く）は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

⑤ 成績証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。 なお出願時点で大学を卒業している場合は、卒業日以降に発行された成績証明書をアップロードしてください。
⑥ 卒業（見込）証明書および学位授与証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。 なお、卒業証明書等で学位取得が確認できる場合は学位授与証明書のアップロードは不要です。
⑦ 推薦書	出身大学（卒業見込者は在学大学）の指導教員等が作成したものをアップロードしてください。推薦者が所属する機関の公式なレターヘッドが印刷された用紙を使用して、以下（1）～（6）の内容が記載されていること。 （1）出願者の学力、研究者や専門家としての適性、人物像、学業や研究の成果等についての総合的な所見 （2）出願者氏名 （3）出願者との関係

	（4）推薦者の所属、身分、連絡先（Eメールアドレス含む） （5）推薦者の自筆による署名 （6）作成年月日 注：必要に応じて推薦者に推薦内容を照会することがあります。

※　日本語または英語以外で書かれている証明書を提出する場合は、日本語訳（または英語訳）をアップロードしてください。
※（再掲）外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者又は外国において学士の学位を取得した者及び取得見込みの者は、事前に出願資格の確認が必要です（Ⅱ－ⅱ参照）。

【C　日本の大学（京都大学工学部を除く）を卒業した者及び卒業見込みの者は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

⑤ 成績証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。なお出願時点で大学を卒業している場合は、卒業日以降に発行された成績証明書をアップロードしてください。
⑥ 卒業（見込）証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。

【D　出願資格（2）に該当する者は、上記Aに加えて以下の書類が必要】

⑤ 成績証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。高等専門学校修了（見込）者は本科及び専攻科の両方が必要です。 なお出願時点で当該学校を修了している場合は、修了日以降に発行された成績証明書をアップロードしてください。
⑥ 卒業（見込）証明書	出身大学長または、学部長が作成したものをアップロードしてください。
⑧ 学士の学位授与証明書	大学評価・学位授与機構に学士の学位を申請する予定の者は、学校長名の学位授与申請予定である旨の証明書をアップロードしてください。

Ⅳ. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の内容、学力検査の成績を総合して行います。

ⅰ. 学力検査

(1) 学力検査日： 2027 年 2 月 9 日（火）・10 日（水）

なお、詳細については、「入試区分別入学試験詳細」を参照してください。ただし、融合工学コース人間安全保障工学分野志望者の試験日程は別途通知します。

(2) 試験当日は、特に指定のない場合は試験開始 20 分前までに当該試験室前に集合してください。

ⅱ. 受験票

受験票は下記期間にオンラインアプリケーションシステムからダウンロードして印刷し、試験当日提示してください。

受験票ダウンロード期間：2027 年 2 月 1 日（月）9 時～2 月 10 日（水）17 時

Ⅴ. 合格者発表

日時： 2027 年 2 月 19 日（金）15 時から 2027 年 3 月 5 日（金）17 時

オンラインアプリケーションシステムを通じて発表します。（本研究科ホームページには掲載いたしません。）なお、合格者発表については、電話等による問い合わせには一切応じません。

Ⅵ. 入学料及び授業料と入学手続

入学料：282,000 円

※国費留学生として入学予定の者は不要

授業料：半期額 267,900 円（年額：535,800 円）

※国費留学生として在学中は不要

注：入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

入学手続：

①2027 年度 4 月期入学予定者

1. 入学日は 2027 年 4 月 1 日です。
2. 合格者の入学手続の詳細については、2027 年 3 月上旬に郵送により通知します。
3. 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を各専攻事務室（クラスター事務区教務掛）に届け出てください。
4. 2027 年 4 月 1 日までに留学ビザを取得しておいてください。なお、詳細につきましては、「Ⅶ. 注意事項 (2)安全保障輸出管理について」をご確認ください。
5. 入学手続期限は 2027 年 3 月中旬の予定です。
6. 入学手続き日等の情報は 2027 年 1 月下旬に京都大学大学院工学研究科ホームページに掲載予定です。

②2027 年度 10 月期入学予定者

1. 入学日は 2027 年 10 月 1 日です。
2. 合格者の入学手続の詳細については、2027 年 9 月上旬に郵送により通知します。
3. 事情により入学を辞退する者は、直ちにその旨を各専攻事務室（クラスター事務区教務掛）に届け出てください。
4. 2027 年 10 月 1 日までに留学ビザを取得しておいてください。なお、詳細につきましては、「Ⅶ. 注意事項 (2)安全保障輸出管理について」をご確認ください。
5. 入学手続期限は 2027 年 9 月中旬の予定です。

Ⅶ. 注意事項

(1) 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

入学者選抜を通じて取得した氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）関係、②合格者発表関係、③入学手続業務を行うために利用します。

入学者選抜を通じて取得した個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、入学者のみ①教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、②学生支援関係（保健管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、入学者選抜を通じて取得した個人情報を電算処理する場合、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に個人情報を提供することがあります。ただし、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課します。

(2) 安全保障輸出管理について

京都大学では、「外国為替及び外国貿易法（外為法）」に基づいて「京都大学安全保障輸出管理規則」を定め、貨物の輸出、技術の提供（人の受入を含む）について、学生受入前に厳格な審査を実施している。規制事項に該当する場合や、在留資格認定証明書（COE）不交付もしくは審査長期化の場合、試験に合格しても入学が認められない場合がある。また、入学後であっても、希望する教育や研究指導等に制限が生じる可能性があるので、注意すること。

(3) 長期履修学生制度について

工学研究科では、仕事・出産・育児・介護・身体等の障害などの事情に基づき、標準修業年限の 2 倍までの間で計画的に教育課程を履修することを認める長期履修学生制度を導入しています。希望者は、詳細を工学研究科ホームページ-入学案内ページで確認のうえ、12 月末までに申請してください。

Ⅷ. 共通部分に関しての問合せ先

〒615－8530　京都市西京区京都大学桂
京都大学工学研究科教務課大学院掛
TEL　075-383-2040・2041
E-Mail 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

大学院入試に関する情報については、工学研究科及び各専攻のホームページに随時掲載しております。風雪等による入試日程への影響が懸念される場合にも、下記ホームページから実施についての告知を行います。

・工学研究科のホームページ：http://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/
・各専攻のホームページ：上記の URL よりアクセスしてください。

IX. 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）について

(1) 工学研究科の理念･目的

工学は、真理を探求し、その真理を核として人類の生活に直接・間接に関与する科学技術を創造する役割を担っており、地球社会の持続的な発展と文化の創造に対して大きな責任を負っています。京都大学大学院工学研究科は、この認識のもとで、学問の基礎や原理を重視して自然環境と調和のとれた科学技術の発展を先導するとともに、高度の専門能力と創造性、ならびに豊かな教養と高い倫理性・責任感を兼ね備えた人材を育成することをめざしています。

(2) 望む学生像

工学研究科修士課程では、次のような入学者を求めます。

○工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを実現しようとする意欲を有する人。
○専門分野とこれに関連する諸分野において真理を探求するために必要な基礎知識を有し、それを踏まえた論理的思考と既成概念にとらわれない判断力を有する人。
○科学技術および社会の諸課題について、知識を総合しその解決に取り組む中で創造的に新しい科学技術の世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人。
○他者の意見を理解し、自らの意見や主張をわかりやすく表明できるコミュニケーションの基礎的能力を持った人。

入学者選抜では、個別学力検査を実施し、学修を希望する専門分野の基礎的知識とそれを踏まえた論理的な思考能力に重点をおきつつ、英語の能力も含めて評価・選抜しています。
なお、各評価方法等の詳細については、本募集要項に明記しています。

X. 修士課程入学後の教育プログラムについて

京都大学大学院工学研究科では 2008 年 4 月入学者から、従来の修士課程教育プログラムに加えて、博士学位の修得を目指す諸君を対象に新たな教育プログラム『大学院博士課程前後期連携教育プログラム』を創設しました。修士課程（博士前期課程）入試に合格し入学を許可された諸君は、所定の審査の後、教育プログラムのいずれかを選択することになります。
各プログラムの詳細については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」）をご確認ください。
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69

XI. 博士課程教育リーディングプログラムについて

京都大学では、優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへ導くため、2012年度から博士課程教育リーディングプログラムを開始しました。
工学研究科が参画しているプログラム（5年一貫コース）の内容については、工学研究科HP（「博士課程教育リーディングプログラム」）をご確認ください。
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#hakase

XII. 卓越大学院プログラムについて

京都大学では、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した 5 年一貫の博士課程学位プログラムを構築するため、2019 年度から卓越大学院プログラムを開始しました。
プログラムの内容については、工学研究科 HP（「卓越大学院プログラム」）をご確認ください。
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#takuetsu

XIII. スーパーグローバルコースについて

京都大学では、先見性を重視する本学の精神にもとづき、戦略性、創造性、展開性ならびに継続性をもって世界で活躍するグローバル人材を育成するトップ型日本モデルとして、スーパーグローバル大学創成支援「京都大学ジャパンゲートウェイ構想」を2014年度より開始しました。
工学研究科では、この事業に化学理工学専攻が参画しており、その一環として「スーパーグローバルコース」を設置しました。当コースの履修生は、化学理工学専攻入試の合格者で博士後期課程への進学を目指す学生から選抜され、選抜された学生は、高度工学コース化学理工学専攻所属となります。
コースの内容については、工学研究科HP（「スーパーグローバルコース」）をご確認ください。
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/programs#sgu

XIV. 大学院修士課程ダブルディグリープログラムについて

京都大学では、協定大学と双方がそれぞれ学位を授与するダブルディグリープログラムを提供しています。
工学研究科では2022年度4月より、中国清華大学深セン国際研究生院との修士課程ダブルディグリープログラムを開始しました。本ダブルディグリープログラムは、京都大学（日本）と清華大学（中国）の両方で、計3年間学び、修了時に二つの修士学位が取得できるプログラムです。対象は、都市環境工学専攻修士課程の学生であり、本入試に合格し、入学後、１か月以内に、本プログラム参加希望者の募集をします。ただし、中国国籍の学生は対象になりません。
プログラムの内容については、京都大学オンサイトラボラトリー、環境技術共同研究・教育センターHPをご確認ください。
https://crecet.env.kyoto-u.ac.jp/ddp/

XV. 表 修士課程入学後の教育プログラムと入試区分・専攻

教育プログラム			対応する入試区分・専攻
連携プログラム	融合工学コース	高等教育院	
		a. 応用力学分野	社会基盤工学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学、原子核工学、化学理工学
		b. 生命・医工融合分野	機械理工学、マイクロエンジニアリング、原子核工学、化学理工学
		c. 融合光・電子科学創成分野	機械理工学、マイクロエンジニアリング、電気電子デジタル理工学
		d. 人間安全保障工学分野	社会基盤・都市社会系、都市環境工学
		e. デザイン学分野	建築学、機械理工学、マイクロエンジニアリング、航空宇宙工学
	高度工学コース	社会基盤工学専攻	社会基盤・都市社会系
		都市社会工学専攻	
		都市環境工学専攻	都市環境工学
		建築学専攻	建築学※3 年型のみ
		機械理工学専攻	機械工学群
		マイクロエンジニアリング専攻	
		航空宇宙工学専攻	
		原子核工学専攻	原子核工学
		材料工学専攻	材料工学
		電気電子デジタル理工学専攻	電気電子デジタル理工学
		化学理工学専攻	化学理工学
修士プログラム		社会基盤工学専攻	社会基盤・都市社会系
		都市社会工学専攻	
		都市環境工学専攻	都市環境工学
		建築学専攻	建築学
		機械理工学専攻	機械工学群
		マイクロエンジニアリング専攻	
		航空宇宙工学専攻	
		原子核工学専攻	原子核工学
		材料工学専攻	材料工学
		電気電子デジタル理工学専攻	電気電子デジタル理工学
		化学理工学専攻	化学理工学

※ 本表の「対応する入試区分・専攻」に属する全講座・分野には、必ずしも志望する教育プログラムが開講されているとは限らないので、「入試区分別入学試験詳細」で確認してください。

※ 融合工学コース「d.人間安全保障工学分野」は、国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）を設置しています。申請希望者は受け入れ希望教員とあらかじめ相談のうえ、工学研究科ホームページの募集要項掲載ページより「専攻別詳細・専攻別提出書類様式」を確認し、必要書類を指示された期限までにご提出ください。なお、特別プログラムへの推薦には、文部科学省の基準に基づき、一定の英語スコアならびに学業成績が求められます。また、推薦者の 75%が重点地域からの学生に割り当てられるため、国籍によって推薦が難しい場合があるのであらかじめご了承ください。

XVI. 試験日程一覧（修士課程）

詳細については、入試区分別入学試験詳細を参照してください。

入試区分		2月9日（火）		2月10日（水）	
		時　間	科　目	時　間	科　目
社会基盤・都市社会系 社会基盤工学専攻 都市社会工学専攻 (TEL075-383-2967)		9:00～	口頭試問Ⅰ 口頭試問Ⅱ	9:00～	口頭試問Ⅰ 口頭試問Ⅱ
都市環境工学専攻 (TEL075-383-2967)		10:30　～ 12:00 13:00～	筆記試験 口頭試問	9:00～17:00	口頭試問
建築学専攻 (TEL075-383-2967)		15:00～16：15	専門科目	な　し	
機械工学群 機械理工学専攻 ﾏｲｸﾛｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ専攻 航空宇宙工学専攻 (TEL075-383-3521)		9:00～11:00 13:30～	専門科目 口頭試問	な　し	
原子核工学専攻 (TEL075-383-3521)		10:00～12:00 13:00～14:30 15:00～	専門基礎 数学 口頭試問	な　し	
材料工学専攻 (TEL075-383-3521)		10:00～11:30	専門科目	10:00～	口頭試問
電気電子デジタル理工学専攻 (TEL075-383-2077)	修士課程教育プログラム	な　し		10:00～12:00 10:00～12:00	口頭試問（数学） 口頭試問（電磁気学）
化学理工学専攻 (TEL075-383-2077)		9:00～12:00 13:00～15:30 16:30～18:30	専門科目1 専門科目2 口頭試問	な　し	

Part A: Common Part for All Divisions/Departments

※*Translation Disclaimer*
Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents,accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.

I. Number to Be Accepted

①April 2027 Admission: A Few for each Division

Division	Department
Civil and Earth Resources Engineering / Urban Management	Civil and Earth Resources Engineering Urban Management
Environmental Engineering	Environmental Engineering
Architecture and Architectural Engineering	Architecture and Architectural Engineering
Mechanical Engineering	Mechanical Engineering and Science Micro Engineering Aeronautics and Astronautics
Nuclear Engineering	Nuclear Engineering
Materials Science and Engineering	Materials Science and Engineering
Electrical,Electronic, and Digital Science and Engineering	Electrical,Electronic, and Digital Science and Engineering
Chemical Science and Engineering	Chemical Science and Engineering

②October 2027 Admission: A Few for each Division

Division	Department
Civil and Earth Resources Engineering / Urban Management	Civil and Earth Resources Engineering Urban Management
Environmental Engineering	Environmental Engineering
Chemical Science and Engineering	Chemical Science and Engineering

Notes:
- The divisions of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management, Mechanical Engineering do lumping recruitment in each division, and then assign the successful applicants to the departments.
- For further information on each division /department, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division".
- Those who apply to Division of Civil and Earth Resources Engineering / Urban Management or Division of Environmental Engineering and wish to take to Interdisciplinary Engineering Course: "Human Security Engineering" can choose their admission time from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted. In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation) in this Integrated Engineering Course must select Environmental Engineering as Divisions and October enrollment.
  To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT.

If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student. Applicants who wish to be recommended must submit recommendation documents for MEXT Scholarship Students in advance when applying for the entrance examination. However, this does not guarantee recommendation or passing the entrance examination. Please note that the examination fee cannot be refunded after the application deadline.

- Those who apply to Division of Chemical Science and Engineering can choose their admission time from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide the admission time since it cannot be changed once their application accepted.

II. Eligibility and Its Screening

i. Eligibility

Applicants must have non-Japanese citizenship and hold the residence status of "College Student" at the time of admission (*refer to Note below), and satisfy any of the following eligibility (or will satisfy any of the following eligibility by the end of March 2027 for those who wish April 2027admission or by the end of September 2027 for those who wish October 2027 admission).

(1) A person who has graduated from a Japanese university or Professional and Vocational University (hereinafter, referred to as PVU).
(2) A person who has received a bachelor's degree according to the provisions of Article 104, Paragraph 7 of the School Education Law.
(3) A person who has completed a 16-years of formal school education in a foreign country. * ii
(4) A person who has completed a 16-years of education by correspondence courses of a foreign-affiliated educational institution in Japan. * ii
(5) A person who has completed a program (limited to a program whose graduates are regarded as having completed a 16-year course in the respective foreign country) of a foreign-affiliated educational institution in Japan which is accredited under the school education system of the respective foreign country as offering a undergraduate program of the foreign university (this includes the school equivalent to PVU in that country, the same shall apply hereinafter) and which is designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology(hereinafter, referred to as the MEXT). * ii
(6) A person who has received a degree equivalent to a bachelor's degree by completing a three-year or longer program at a foreign university or other foreign educational institution. The university or educational institution must have been accredited by the respective foreign government or a person certified by the appropriate foreign governmental agency, or have been so designated by the MEXT. (This includes a person who has completed an appropriate program offered by the respective foreign educational institution through distance learning while residing in Japan, and a person who has completed an appropriate foreign educational program at an educational institution in Japan as specified in the previous item.) * ii
(7) A person who has completed, on or after the date specified by the MEXT, a specialized course of a professional training college (limited to those with a duration of four years or more and meeting other criteria specified by the Minister) or a post-graduate course (limited to those organized with a curriculum that ensures continuity with the education in a specified specialized course—as defined in Article 125-2, Paragraph 1 of the School Education Act—at the professional training college providing said post-graduate course, and meeting other criteria specified by the Minister) that is separately designated by the MEXT.
(8) A person designated by the MEXT (under Notification No.5, Minister of Education, 1953).
(9) A person having attended a Japanese university/PVU for at least 3 years (including a person designated by the MEXT as satisfying Article 102 Paragraph 2 of the School Education Act) and having been recognized by the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having achieved excellent grades in certain determined classes. * iii
(10) A person who has reached the age of 22, and has been recognized by the individual screening in the Graduate School of Engineering, Kyoto University as having academic abilities equivalent or superior to those of university/PVU graduates. * iii

Note: Please note that if you have multiple citizenships and have Japanese citizenship, you cannot obtain the residence status of "College Student". Applicable persons must contact the Graduate Student Section(refer to VIII) before applying to our program.

ⅱ. Eligibility Confirmation (under requirements (3)(4)(5)(6)) (Except Research students of Graduate School of Engineering, Kyoto University)

A person who has graduated or is expected to graduate from a foreign university, or a person who has received or is expected to receive a bachelor's degree from a foreign university, are required to contact the Admissions Assistance Office (AAO) for a preliminary screening. For details, refer to the following website.

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/graduate/graduateinfo/ku-aao

After contacting the AAO, submit the Resume form downloaded from the Graduate School of Engineering website to the Graduate Student Section (refer to VIII) by 5:00 pm, 1 December 2026 by e-mail. The subject of the Email is to be "Eligibility Confirmation".

iii. Eligibility Screening (under requirements (9)(10))

Those who intend to apply under requirement (9) or (10) above are subject to screening prior to Application. The documents below must be submitted to the Graduate Student Section (refer to VIII). When mailing, use registered mail and mark "For eligibility screening for application to Master's Program in Graduate School of Engineering" in red on the envelope. The documents must arrive by 5:00 pm, 8 December 2026.

[Documents necessary for eligibility screening]

(1) Eligibility statement	(Applicants under requirement (9) or (10)) Download the designated form from our website of Graduate School of Engineering.
(2) Recommendations	(Applicants under (9)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the

	university at which the applicant has been enrolled (any format is acceptable).
(3) Academic transcript	(Applicants under (9)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the university at which the applicant has been enrolled. (Applicant under (10)) To be prepared and sent in a sealed envelope by the last university at which the applicant is or was enrolled.
(4) Curriculum	(Applicants under (9)) The curriculum including class descriptions is to be provided by the university department at which the applicant has been enrolled.

1. Applicants under (9) above are screened by the submitted documents.
2. Applicants applied under (10) above are screened by both the submitted documents and either a written or oral examinations (or both) for evaluating their academic abilities.
3. The written and/or oral examinations will be conducted on 4 January 2027 at the Graduate School of Engineering, Kyoto University.
4. The screening results will be mailed on 5 January 2027.

III. Application

i. Application Procedures

The application procedure will be completed when you register your information and make payment for entrance exam fee on the Kyoto University Online Application System within the designated periods prescribed below.
Access the Kyoto University Online Application at the following URL on the Graduate School of Engineering website, where the application guidelines are posted. (The link will be posted before the application period begins.)
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/admissions/graduate/exam1

(1) We do not accept requests for refunds for application fee after submission.
(2) In some divisions/departments, additional documents are required. Read "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department" carefully so that you can prepare complete application documents.
(3) Simultaneous applications to multiple divisions and/or departments are not allowed.
(4) Persons with disabilities who need reasonable accommodation are invited to consult with the Graduate School of Engineering when taking the entrance examination and attending courses. Those persons are advised to contact the Graduate Student Section(refer to VIII) well in advance since it may require some time for the university to prepare for appropriate correspondence.
(5) Those who apply to Division of Civil and Earth Resources Engineering / Urban Management or Division of Environmental Engineering and wish to take Interdisciplinary Engineering Course: "Human Security Engineering" can choose their Admission Time from April 2027 or October 2027. Such applicants must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application System.
In addition, applicants who wish to be recommended for MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation) in this Integrated Engineering Course must select Environmental Engineering as Divisions and October enrollment.
(6)To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a Privately financed international student. Applicants who wish to be recommended must submit recommendation documents for MEXT Scholarship Students in advance when applying for the entrance examination. However, this does not guarantee recommendation or passing the entrance examination.
(7)If any false information is found in the details registered in the Kyoto University online application system or stated in the application documents (including department-specific required documents), the application will be rejected. Please note that even after acceptance or enrollment, your status may be revoked.
(8)Regarding the handling of official score certificates for English language proficiency in the entrance examination (such as TOEIC Listening & Reading Official Score Certificates), if the submitted score report is found to be false or has been invalidated, the applicant will be disqualified. Please note that even after acceptance or enrollment, such status or admission may be revoked.

Registration and Payment Period on the Kyoto University Online Application System :
22 December, 2026, Tuesday 9:00am to 13 January, 2027, Wednesday 5:00 pm

ii. Application Documents

*In some divisions/departments, documents and procedures other than prescribed below may be required. For further information, refer to “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department”.

【A. All applicants are required to submit the following documents ① to ③】

① **Photo data**	Upload a photograph (upper body, without a hat, facing forward, taken alone, plain background within 3 months prior to application). (File format: JPEG/JPG. Pixel size: 480-6000 pixels wide, 480-6000 pixels high)
② **Both sides of Residence card**	Upload your residence card (both sides) .Applicants who do not have a residence card at the time of application need to submit a photocopy of his/her passport page(the page containing your name, nationality, photo, and date of birth) , then submit a photocopy of both sides of Residence card by the enrollment date.
③ **Entrance exam fee** ※ For households in regions where the Disaster Relief Act is effective and whose principal wage-earner has been adversely affected by the disasters listed in the website below, an exemption/refund may be made to the payment of Entrance Examination Fees for cases where a *risai shomeisho* (Disaster Victim Certificate) has been issued. For the list of the disasters and requirements of an exemption, refer to http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees_exemption For further details, contact the administrative office at the Graduate School of Engineering.	Entrance exam fee: ¥30,000 After paying the Examination fee via the Kyoto University EX Payment System, download the "Payment Certificate for Examination Fee" from the website and print it Select one of the following options via the online application system and make your payment within the payment period: You can choose one of the following: "Credit Card," "Bank Transfer (Pay-easy)," or "Convenience Store Payment (Seven-Eleven, Lawson, Ministop, FamilyMart, Daily Yamazaki, Seicomart)." *However, "Convenience Store Payment" and "Bank Transfer (Pay-easy)" are only available within Japan. ※ Applicants are required to pay a processing fee (***650 yen) as well as entrance exam fee. ※ Entrance exam fee will not be refunded once your application is accepted, except for the cases given in left . ※ We will refund the entrance exam fee to the international students who receive Japanese Government (*Monbukagakusho*) MEXT Scholarship after enrollment. We do not refund a processing fee. Bank transfer fee will be borne by the applicants when refunding. Those who enroll as MEXT scholarship student in other than Faculty/Graduate School of Engineering, Kyoto University must submit a MEXT Scholarship Student certificate. Those who are applying to MEXT scholarship must submit a Passing Certificate of the First Screening, etc.. We do not refund the entrance exam fee in case current MEXT scholarship students cannot extend their status as MEXT scholarship student after the enrollment.
④ **Application Consent Form**	Upload the document that was issued after requesting it from your Prospective Supervisor. ※This consent form is to be issued by the Prospective supervisor. The checks and reviews process for Security Export Control requires a certain amount of time (typically around two weeks, but it may take several months or more depending on the content), Applicants should request that their supervisors prepare the necessary documents well in advance. Please note that depending on the result of the check and review process, you may not receive the “Notice of the Acceptance”, in which case you will be unable to submit this form (and thus will be unable to proceed with your application).

【B. Applicants who have graduated or are expected to graduate from a foreign university should submit the following documents ⑤to⑦, in addition to those specified above A】 (Except Research Students of Graduate School of Engineering, Kyoto University)

⑤ **Academic transcript**	Upload an Academic transcript issued and signed by the head of the academic institution. If you are no longer enrolled in the university at the time of application, upload an academic transcript issued on or after the date of your graduation.
⑥ **Certificate of (Expected) Graduation and Certificate of Bachelor’s Degree Conferment**	Upload a certificate issued and signed by the the head of the academic institution. . If the Certificate of (Expected) Graduation shows that bachelor’s degree has been conferred, you don’t need to upload a Certificate of Bachelor’s Degree Conferment.

⑦ **Letter of recommendation**	Upload a letter of recommendation from the supervisor of your current/former degree program. There is no official form for letters but it should be written on the official letterhead of the recommender's institution and include the following: (1) General remarks and overall impressions of the applicant (academic ability, aptitude for research or professional skills, character, quality of previous work, etc.) (2) Name of the applicant (3) Recommender's relationship with the applicant (4) Recommender's institution, position, and contact information including email address (5) Recommender's signature (in his/her own handwriting) (6) Date of issue Note: The recommender might be contacted to inquire about the contents of the recommendation letter.

※ If the certificate is not written in English or Japanese, its English or Japanese translation must be uploaded. (A translation by the applicant is acceptable.)

※ Reminder: A person who has graduated or is expected to graduate from a foreign university, or a person who has received or is expected to receive a bachelor's degree from a foreign university needs to go through an aforementioned Eligibility Confirmation process (refer to II- ⅱ).

【C. Applicants who have graduated or are expected to graduate from a Japanese university (excluding Faculty of Engineering of Kyoto University) should upload the following documents ⑤,⑥, in addition to those specified above A】

⑤**Academic transcript**	. Upload an Academic transcript issued and signed by the head of academic institution.. If you are no longer enrolled in the university at the time of application, upload an academic transcript issued on or after the date of your graduation.
⑥ **Certificate of (Expected) Graduation**	Upload a certificate issued and signed by the head of the academic institution.

【D. Applicants who meet the eligibility II-i-(2) should upload the following documents ⑤,⑥,⑧, in addition to those specified above A】

⑤**Academic transcript**	Upload an Academic Transcript issued and signed by the head of the academic institution . If you are no longer enrolled in the college of technology at the time of application, submit an academic transcript issued on or after the date of your graduation. For the graduate/ the expected graduate from a college of technology, both of the documents for regular course and advanced course are required.
⑥ **Certificate of (Expected) Graduation**	Upload a certificate issued and signed by the head of the academic institution.
⑧ **Certificate of Bachelor's Degree Conferment**	Upload a "Certificate of Expected Bachelor's Degree Conferment" issued and signed by the head of the academic institution if you intend to apply for a bachelor's degree with the National Institution for Academic Degrees.

IV. Selection Methods

Applicants shall be selected on the basis of the submitted documents and their results of the academic examination.

i. Academic Examination

(1) Dates　9-10 February, 2027

*For further information, refer to “Details of Entrance Examinations of Each Division/Department”. Applicants wishing to apply for Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering will be separately notified of their examination dates.

(2) Unless otherwise indicated, applicants must arrive at the designated room for the entrance examination by 20 minutes before the posted time.

ii. Examination Voucher

Download and print your examination voucher from the online application system during the period specified below, and present it on the day of the examination.

Examination Voucher download period：1 February, 2027, Monday 9:00am to 10 February, 2027, Wednesday 5:00 pm

V. Announcement of Entrance Examination Results

Date and Time: 15:00, 19 February, 2027　～　17:00, 5 March, 2027

The results will be announced through the Kyoto University Online Application System. (This announcement will not be posted on our website of the Graduate School of Engineering.)We will not respond to any inquiries regarding the announcement of successful applicants by telephone or other means.

VI. Admission Fee, Tuition and Admission Procedure

Admission fee: ¥282,000

*International students expected to receive MEXT Scholarship are exempt from this fee.

Tuition: ¥267,900 for each semester (annually ¥535,800)

*International students receiving MEXT Scholarship are exempt from this fee.

Notes: The amounts quoted above are tentative and may be revised. If the amounts are amended at the time of admission or while the individual is registered as a student, the new amounts shall apply from the time of the amendment.

Admission Procedure:

①For April 2027 Admission

(1) Enrolment Date: April 1, 2027

(2) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early-March 2027.

(3) Notify the cluster office for each division/department immediately if the successful applicant declines admission.

(4) Successful applicants must obtain their student visas by 1 April, 2027

For further details, please refer to "VII. Important Notes (2) Security Export Control."

(5) The deadline for admission procedure is scheduled in mid-March 2027.

(6) Information regarding dates for enrollment procedure will be uploaded on the website of the Graduate School of Engineering, Kyoto University in late-January 2027.

②For October 2027 Admission

(1) Enrolment Date: October 1, 2027

(2) Instructions on admission procedure will be mailed to each successful applicant in early-September 2027.

(3) Notify the cluster office for each division/department immediately if the successful applicant declines admission.

(4) Successful applicants must obtain their student visas by 1 October, 2027.

For further details, please refer to "VII. Important Notes (2) Security Export Control."

(5) The deadline for admission procedure is scheduled in mid-September 2027.

VII. Notes

(1) Handling of Personal Information

Personal information will be handled in accordance with "Act on the Protection of Personal Information" and "The personal information policy at Kyoto University".

Name, gender, date of birth, address and other personal information provided through application is used for ① entrance examinations (application procedures and screening), ②announcement of successful applicants, ③ admission procedures.

In addition, personal information (including information relating to performance evaluation) of enrolled students provided through application is used for ①students affairs(management of students' ID, academic supervision, improvement of educational curriculum, etc.), ② offering support to students (securing student health care, career support, application for tuition exemption and scholarship, etc.), ③collecting tuition fees.

Personal information provided through application may be provided to outside contractors for electronic data processing. In such cases, Kyoto University will conclude a contract with said outside contractor to ensure that personal information is managed and protected appropriately, in accordance with the Private Information Protection Law.

(2) Security Export Control

In accordance with the Foreign Exchange and Foreign Trade Act, Kyoto University has established the Security Export Control Regulations of Kyoto University. Under the regulations, the university conducts rigorous screening regarding the export of goods and the provision of technology (including the hosting of individuals) prior to the admission of students. Please be aware that admission may be denied if a case falls under the scope of the regulations, or if a Certificate of Eligibility (COE) is not issued, or the screening process is prolonged, even if the applicant has passed the entrance examination. Please note that even after enrollment, restrictions may be placed on the education or research guidance that a student can receive.

(3) Long-Term Study Program

The Graduate School of Engineering provides the long-term study program that allow students to extend their study period up to twice of the standard study period for completion under certain circumstances/conditions such as work, childbirth, childcare, nursing to other family in special need and disabilities. If you wish to apply please confirm the details in the page of admissions of our website, and apply by the end of December.

VIII. Contact Information for Inquiries Regarding Common Part for All Divisions/Departments

Graduate Student Section, Educational Affairs Division,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Address: Kyoto daigaku-Katsura, Nishikyo-Ku, Kyoto 615-8530, JAPAN
Phone: +81-75-383-2040 or +81-75-383-2041
E-Mail: 090kdaigakuin-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

Information on the entrance exam is uploaded on the website of the Graduate School of Engineering and each department as needed. For those examinees who will have difficulty in taking the entrance exam due to the inclement weather or emergencies, we will notice on the implementation of examination for Graduate School of Engineering, which will be posted on the following website.

- The website of the Graduate School of Engineering: http://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/
- The website of each department: Please access from above URL.

IX. Admission Policy

(1) Philosophy and Objectives

The pursuit of the truth is the essence of learning. Engineering is an academic field that impacts the lives of people, and is greatly responsible for the sustainability of social development and the formation of culture. The Graduate School of Engineering at Kyoto University, based on the above premise, is committed to the development of science and technology with an emphasis on disciplinary fundamentals and basic principles while harmonizing with the natural environment. At the same time, we aim to assist students in their pursuit of a rich education with specialized knowledge, as well as the ability for its creative application, while nurturing high ethical standards and sense of responsibility.

(2) Student Profile

The Graduate School of Engineering welcomes the following students:

○ Individuals who agree the philosophy and objectives of the Graduate School of Engineering and those who

achieve these things actively.

○ Individuals who have the basic education to pursue the truth and also have the judgment with logical thinking and beyond established concepts in specialized fields and related fields.

○ Individuals who have a strong desire and initiative to pioneer new fields of science technology while integrating knowledge and keeping on solving, regarding the science technology and the social issues.

○ Individuals with basic communication ability who understand other opinions and also express own opinions and assertions in an easy to understand.

Entrance examination will be performed individual academic exam, evaluate and select the applicants including English ability, with emphasis on the basic knowledge of specialized field and those who have logical thinking abilities.

For detail of evaluation methods, it is mentioned in the guidelines.

X. Educational Programs in Master's Program

As of April 2008, the Graduate School of Engineering instituted a new Integrated Master's-Doctoral Course Program for students who look beyond the master's to doctoral degree. Applicants to the Master's Program who have passed the entrance examination and also passed a qualifying evaluation may choose one of the programs.

For further details, please refer to the following website:

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69

XI. Program for Leading Graduate Schools

This program was started in 2012 in order to develop talented students into future leaders globally active across wide range of sectors in industry, academia and government, with a broad perspective and creativity.

For further details, please refer to the following website:

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#hakase

XII. Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education

Kyoto University's new Doctoral program for World-leading Innovative & Smart Education was launched in 2019 in order to create new 5-year doctoral programs that bring together world-class educational and research capabilities while incorporating with other universities, research institutes, and private companies in Japan and/or abroad through systematic collaboration.

For further details, please refer to the following website:

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#takuetsu

XIII. Top Global Course

The Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program was launched in 2014 as a "Top Type" model university in Japan to foster global talent that will take active roles around the world with strategic vision, creativity, ability to develop ideas, and continuity.

Currently the Department of Chemical Science and Engineering from the Graduate School of Engineering participate in this program and have established "Top Global Course" in 2015. The members are selected from the students who pass the entrance examination of the Department of Chemical Science and Engineering and plan to study at the doctoral course. The selected students will belong to the Department of Chemical Science and Engineering in the Advanced Engineering Course.

For further details, please refer to the following website:

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/programs#sgu

XIV. Master's Double Degree Program

Kyoto University offers a double degree program in which both partner universities award degrees to each other.

In April 2022, the Graduate School of Engineering launched a master's double degree program with the Shenzhen International Graduate School of Tsinghua University in China. This double degree program allows students to study for a total of three years at both Kyoto University (Japan) and Tsinghua University (China), and to obtain two master's degrees upon completion. The program is open to master's degree students in the Department of Environmental Engineering who have passed this entrance examination and who wish to participate in the program within one month of their enrollment. However, students of Chinese nationality are not eligible.

For details of the program, please refer to the HP of Kyoto University On-Site Laboratory, Cooperative Research and Education Center for Environmental Technology.

https://crecet.env.kyoto-u.ac.jp/ddp/?lang=en

XV. Table: Educational Program and Division/Department

Educational Program			Division/Department
Integrated Master's-Doctoral Course Program	Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Education Center	
		a Postgraduate Integrated Course Program of Applied Mechanics	Civil and Earth Resources Engineering, Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Aeronautics and Astronautics, Nuclear Engineering, Chemical Science and Engineering
		b Postgraduate Integrated Course Program of Engineering for Life Science and Medicine	Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Nuclear Engineering, Chemical Science and Engineering
		c Postgraduate Integrated Course Program of Interdisciplinary Photonics and Electronics Science	Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
		d Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering	Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management, Environmental Engineering
		e Postgraduate Integrated Course Program of Design Science	Architecture and Architectural Engineering, Mechanical Engineering and Science, Micro Engineering, Aeronautics and Astronautics
	Advanced Engineering Course	Department of Civil and Earth Resources Engineering	Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management
		Department of Urban Management	
		Department of Environmental Engineering	Environmental Engineering
		Department of Architecture and Architectural Engineering	Architecture and Architectural Engineering ※being offered 3-year Course only
		Department of Mechanical Engineering and Science	Mechanical Engineering
		Department of Micro Engineering	
		Department of Aeronautics and Astronautics	
		Department of Nuclear Engineering	Nuclear Engineering
		Department of Materials Science and Engineering	Materials Science and Engineering
		Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
		Department of Chemical Science and Engineering	Chemical Science and Engineering
Master's Course Program		Department of Civil and Earth Resources Engineering	Civil and Earth Resources Engineering/ Urban Management
		Department of Urban Management	
		Department of Environmental Engineering	Environmental Engineering
		Department of Architecture and Architectural Engineering	Architecture and Architectural Engineering
		Department of Mechanical Engineering and Science	Mechanical Engineering
		Department of Micro Engineering	
		Department of Aeronautics and Astronautics	
		Department of Nuclear Engineering	Nuclear Engineering
		Department of Materials Science and Engineering	Materials Science and Engineering
		Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
		Department of Chemical Science and Engineering	Chemical Science and Engineering

※ Each research laboratory at each department does not necessarily provide all educational programs listed on the table above. For detailed information, please refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department" to check whether your preferred educational program is available at each laboratory.

※ The Interdisciplinary Engineering Course "e. Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering" offers a Special Program for University Recommendation for MEXT Scholarship.
Applicants should consult in advance with their prospective supervisor, check the "Each Division / Department Part : Details and Designated Form" on the application guidelines page on the Graduate School of Engineering website, and submit the required documents by the indicated deadline.
To be recommended for the MEXT Scholarship Program (Special Program for University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT.
Please note that 75% of the nominations will be allocated to applicants from priority regions, so it may be difficult to recommend an applicant depending on their nationality.

XVI. List of Examination Schedule (Master's Program)

For further information, refer to "Details of Entrance Examinations of Each Division/Department".

Division		February 9 (Tue)		February 10 (Wed)	
		Time	Subject	Time	Subject
Division of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management Department of Civil and Earth Resources Engineering Department of Urban Management		9:00~	Oral Exam I Oral Exam II	9:00~	Oral Exam I Oral Exam II
Department of Environmental Engineering		10:30～12:00 13:00～	Written Exam Oral Exam	9:00～17:00	Oral Exam
Department of Architecture and Architectural Engineering		15:00～16:15	Specialized Subjects (Written Exam)	—	
Division of Mechanical Engineering Department of Mechanical Engineering and Science Department of Micro Engineering Department of Aeronautics and Astronautics		9:00~11:00 13:30~	Specialized Subjects Oral Exam	—	
Department of Nuclear Engineering		10:00~12:00 13:00~14:30 15:30~	Specialized Fundamentals Mathematic Oral Exam	—	
Department of Materials Science and Engineering		10:00~11:30	Specialized Subjects	10:00~	Oral Exam
Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering	Master's Course Program	—		10:00～12:00 10:00～12:00	Oral Exam (Mathematics) Oral Exam (Electromagnetism)
Department of Chemical Science and Engineering		9:00~12:00 13:00~15:30 16:30~18:30	Specialized subject 1 Specialized subject 2 Oral Exam	—	

Part B: 入試区分別入学試験詳細

Details of Entrance Examinations of Each Division/Department

- 社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻） ・・・・・・・・ 26
  Division of Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management
  (Department of Civil and Earth Resources Engineering, Department of Urban Management)
- 都市環境工学専攻　Department of Environmental Engineering ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
- 建築学専攻　Department of Architecture and Architectural Engineering ・・・・・・・・・・・ 56
- 機械工学群（機械理工学専攻・ﾏｲｸﾛｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ専攻・航空宇宙工学専攻） ・・・・・・ 60
  Division of Mechanical Engineering
  (Department of Mechanical Engineering and Science, Department of Micro Engineering,
  Department of Aeronautics and Astronautics)
- 原子核工学専攻　Department of Nuclear Engineering ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
- 材料工学専攻　Department of Materials Science and Engineering ・・・・・・・・・・・・・・・ 75
- 電気電子デジタル理工学専攻 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
  Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering
- 化学理工学専攻　Department of Chemical Science and
  Engineering ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 86

※入試区分によっては、出願書類以外にこの「入試区分別入学試験詳細」により提出書類を指示している場合があるので、注意してください。なお、「入試区分別入学試験詳細」で指示された提出書類については、出願書類とは別に、志望する入試区分の事務室（クラスター事務区教務掛）に直接提出してください。

※Depending on Divisions/Departments, applicants are requested to submit other documents besides application documents above. For details, please refer to page onward.　Please be care noted that other documents required by each division need to be submitted to the cluster office in each division/department.

社会基盤・都市社会系（社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻）

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻は合同で入学試験を実施し、受験生は両専攻の中から志望研究室や志望教員を選択できる。

Ⅰ．専攻別志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、オンラインアプリケーションシステムの志望情報入力画面で第 1 志望の志望区分を選択すること。

(1) 社会基盤工学専攻

志望区分	研究内容（担当教員）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム		
		連携プログラム（融合工学コース）	連携プログラム（高度工学コース）	修士プログラム
1	応用力学：粒子法による流体解析、流体構造連成解析、乱流モデリング、海底トンネルの安定性評価、剛塑性有限要素法の開発と応用（**西藤潤准教授・Khayyer, Abbas 准教授**）	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
2	構造材料学：コンクリートを含む土木材料の諸性質、コンクリート構造を含む土木構造物の耐久性能・維持管理、設計法・シナリオデザイン（**山本貴士教授・高谷哲准教授**）			
3	構造力学：鋼・複合構造物の力学性状と合理的設計法、構造物の残存性能の非破壊評価、鋼構造物の維持管理と耐久性向上（**北根安雄教授**）	応用力学分野、人間安全保障工学分野		
4	橋梁工学：構造物の空気力学、空力不安定現象、流体関連振動、耐風安定化対策、耐風設計法、着雪、耐雪設計法、飛来塩分の輸送・付着機構、風災害の防止と安全性評価（**八木知己教授・松宮央登准教授**）			
5	構造ダイナミクス：構造物の動的応答と制御（免震・制振）、耐震設計法、構造デザイン、構造物の更新技術（**高橋良和教授**）			
6	水理環境ダイナミクス：移動床水理学、混相流の力学、群集挙動の力学、開水路流れの水理学、河床・河道変動の力学、破堤の水理（**原田英治教授・音田慎一郎准教授**）	人間安全保障工学分野		
7	水文・水資源学：水循環、水文予測、リアルタイム水文予測、水工計画、水資源管理（**市川温教授・金善玟准教授**）			
8	地盤力学：地盤や岩盤の静的・動的挙動の解明、計算地盤力学、土と流体の相互作用、土と建設機械の相互作用，岩盤斜面の安定性評価、歴史的地盤構造物の保全（**肥後陽介教授・橋本涼太准教授・Zhu, Fan 准教授**）			
9	社会基盤創造工学：車両–橋梁連成系の構造動力学，橋梁構造物の環境振動、橋梁ヘルスモニタリング、移動橋梁点検，スマートセンシングシステム，走行荷重作用下の高架橋の耐震性能評価（**金哲佑教授・張凱淳准教授**）			
10	空間情報学：リモートセンシング、地理情報システム、デジタル写真測量、都市空間の 3 次元データの生成と時空間解析（**須崎純一教授**）			
11	景観設計学：景観デザイン、都市デザイン、土木施設アーキテクチュア、風土・景域環境、地域計画、都市形成史（**川﨑雅史教授・山口敬太准教授**）			
12	沿岸都市設計学：沿岸都市の水理構造物設計、粒子法、数値波動力学、数値流体力学、数値流砂水理学、混相流の計算力学、都市群集行動のミクロモデル（**後藤仁志教授・五十里洋行准教授**）			

志望区分	研　究　内　容 （**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム		
		連携プログラム（融合工学コース）	連携プログラム（高度工学コース）	修士プログラム
13	応用地球物理学：地球物理学的手法による浅部から深部にいたる地下構造調査や社会的に影響のある地学現象のモデル化、地下情報可視化技術（**福山英一教授・武川順一准教授**）	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
14	地殻開発工学：二酸化炭素地中貯留、放射性廃棄物処分、エネルギー資源開発等の岩盤工学プロジェクトへの貢献を目的とした岩石の力学・水理特性の研究（**奈良禎太准教授・保田尚俊准教授**）			
15	流体資源エネルギー学：石油、天然ガス、天然水素、地熱などのエネルギー資源および鉱物資源の環境調和型開発技術、CCS、CCUS、水素の地下貯蔵などのカーボンニュートラルに貢献する技術（**村田澄彦教授**）			
16	砂防工学：流砂系の総合的土砂管理、山地流域における土砂動態の予測・モニタリング、土砂災害の機構と防止対策、水・土砂・河川生態系構造の解明（**中谷加奈教授・山野井一輝准教授・高山翔揮准教授**）			
17	防災水工学：洪水流と河床変動の 3 次元構造、土砂生産と洪水への影響予測、土砂移動現象の観測と実験、河川堤防決壊のメカニズム、都市の内外水氾濫の水理、河川環境保全（**川池健司教授**）			
18	地盤防災工学：大地震時の地盤・構造物系の被災程度予測、降雨や地震による地盤の複合災害予測、複合材料を含む地盤の力学的挙動解明（**渦岡良介教授・上田恭平准教授**）			
19	水文気象工学：気候変動による降雨場への影響評価、気象レーダーを用いた降雨予測、レーダー水文学、降雨場の衛星リモートセンシング、都市域の水・熱循環とその予測、河川流域の形成過程（**山口弘誠教授**）			
20	海岸防災工学：極端な高潮・高波・津波のモデリング、ハザード・リスク評価および観測、気候変動による沿岸部への影響評価と適応策、巨大津波リスクの長期評価（**森信人教授・馬場康之准教授・志村智也准教授**）			
21	防災技術政策：リアルタイム洪水予測、地球温暖化・土地利用変化が及ぼす流域水循環への影響評価、降雨流出・洪水氾濫解析、水災害に対する戦略的対策策定（**佐山敬洋教授・田中智大准教授・Lahournat, Florence 講師**）			
22	水際地盤学：河海の水災害メカニズム、水際域の土砂動態、河川・沿岸環境の保全技術、水理流体力学、先進実験水理学（**山上路生教授**）			
23	計算科学：地盤の変形・破壊のシミュレーション、土壌汚染・浄化のシミュレーション、地盤と構造物の相互作用、大規模・高速科学技術計算、AI・機械学習を用いた計測技術の開発、解析検証のための各種試験（**菊本統教授**）			

(2) **都市社会工学専攻**

志望区分	研　究　内　容 （**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム		
		連携プログラム（融合工学コース）	連携プログラム（高度工学コース）	修士プログラム
26	構造物マネジメント工学：構造物の劣化メカニズム、状態診断と機能回復、高性能材料・低環境負荷材料の物性値及び部材の耐荷性能と耐久性能　**※今年度，本区分は募集無し**	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
27	地震ライフライン工学：地震工学、防災工学、耐震工学（**古川愛子教授**）			
28	河川流域マネジメント工学：流域水動態の理解と予測、水災害リスク管理、土地利用と住まい方を含めた河川流域マネジメント（**市川温教授**）			
29	土木施工システム工学：地下空間の開発・利活用および防災知能システム、不連続性岩盤における力学・水理・熱・化学連成問題、地盤と構造物の動的・静的相互作用、UAV・ロボティクス・大規模言語モデル（LLMs）を活用したインフラ分野への AI 応用（**岸田潔教授・澤村康生准教授・Zhang, Yuxin 准教授**）			
30	ジオフロントシステム工学：岩盤を対象とした熱・水理・力学・化学連成現象のモデル化、バイオグラウト開発、斜面防災モニタリング・センシング、海底地すべり－津波励起メカニズム、海底地盤工学（**安原英明教授・岩井裕正准教授**）			
31	地球資源システム：深部掘削における原位置応力状態の解明とその計測技術、高温高圧条件下における岩石の物理的性質の評価、石油・天然ガスの掘削坑壁安定性、地熱システムの数理モデリング、地表変動を用いた地下のモニタリング（**林為人教授・石塚師也講師**）			
32	計画マネジメント論：社会資本政策、民営化や公共調達制度などのインフラ産業論、リスク・ガバナンス、プロジェクト・マネジメント、災害レジリエンス政策、ソーシャル・キャピタル（**大西正光教授・中尾聡史准教授**）			
33	都市地域計画：都市計画学、都市政策論、公共交通政策論、都市交通計画（**宇野伸宏教授・松中亮治准教授**）			
34	都市基盤システム工学：国土計画，都市論，都市再生・保全，都市強靭化，地理空間情報やデジタル都市基盤の利活用，都市解析・調査分析論（**大庭哲治教授**）			
35	交通情報工学：交通・物流システムの最適化、ビッグデータを利用した交通マネジメント、交通ネットワーク信頼性解析、交通工学における実験的アプローチ（**山田忠史教授・Qureshi, Ali Gul 准教授**）			
36	交通行動システム：公共心理学研究、社会的ジレンマについての研究、公共政策のための計量経済学、実践的社会科学研究、公共交通とシェアードモビリティシステム、クラウドソースデータを用いた交通・観光需要モデリング（**藤井聡教授・Schmöcker, Jan-Dirk 准教授・川端祐一郎准教授**）			
37	地殻環境工学：リモートセンシングや数理地質学による鉱物・水・エネルギー資源の分布形態解析、地殻のガス・流体貯留機能評価の高精度化、浅部から深部に至る地殻環境の評価と時空間モデリングの技術（**小池克明教授・柏谷公希准教授**）			
38	耐震基礎：地震工学、地震動予測、耐震設計法、地盤-構造物の動的解析、土木構造物の地震応答性状、新耐震構造（**後藤浩之教授**）			
39	地域水環境システム：複合的環境動態モデル、総合流域管理、気候変動の洪水や渇水への影響評価（**田中賢治教授・萬和明准教授**）			
40	水文循環工学：水資源システムのマネジメント、地球水動態、水害対応行動のモデリング、水災害の防止と軽減（**堀智晴教授**）			

志望区分	研　　究　　内　　容 （**担当教員**）（2026 年 10 月現在）	対応する教育プログラム		
		連携プログラム（融合工学コース）	連携プログラム（高度工学コース）	修士プログラム
41	災害リスクマネジメント：災害リスクの分析・評価方法、住民参加型地域防災、災害リスクコミュニケーション（**松田曜子准教授**）	人間安全保障工学分野	志望区分 44 以外の任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
42	自然・社会環境防災計画学：水資源のリスクマネジメント、流砂系総合土砂管理、生物多様性保全、流域生態系管理（**瀧健太郎教授・Kantoush, Sameh Ahmed 教授・小林草平准教授**）			
43	都市耐水：都市複合災害、水・構造システムの動的連成応答、極端事象に対する構造物の設計法、動的応答の制御、都市施設の性能経年劣化評価と管理、都市水害、防災水理学、津波防災、地下空間の水防災（**五十嵐晃教授・米山望准教授**）			
44	社会基盤親和技術論：地盤汚染と廃棄物の適正処理、環境リスク評価、都市セキュリティのための基盤創成技術、環境地盤工学（**勝見武教授・高井敦史准教授**）	＊	＊	

・＊印の志望区分には、連携プログラム（融合工学コース・高度工学コース）の設定はない。

Ⅱ．募集人員

2027 年度 4 月期入学および 2027 年度 10 月期入学ともに若干名

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を希望する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができる。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。該当者はオンラインアプリケーションシステム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択すること。

Ⅲ．出願資格

本募集要項の Part A: II から始まる各専攻に共通の要項（以下「募集要項」と略す）を参照。

本学地球工学科を卒業したもの（卒業見込みを含む）に関しては、8 月に実施の試験（一般学力選考）を受験することを強く推奨する。

Ⅳ．学力検査日程

桂キャンパス C クラスターC1 棟　　171　号室　他

月日	時間　　試験科目
2 月 9 日（火）または 2 月 10 日（水）のいずれか 1 日	9:00～　口頭試問Ⅰ、口頭試問Ⅱ

志願者には、口頭試問に関する場所・日時の詳細を郵送その他の方法で通知する。

○学力検査に関する注意事項

- 試験開始時刻 15 分前までに指定された場所に集合すること。
- 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

・ 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
・ 時計のアラームは確実に切っておくこと。
・ 口頭試問における口頭発表では、コンピュータと接続可能な液晶プロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。ただし、プレゼンテーション目的以外の電子機器の使用は一切認めない。
・ 口頭試問のスケジュールを変更する場合、該当者に事前に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 試験科目

(a) 英語（200 点/1000 点）: TOEFL、TOEIC または IELTS の成績により評価する。英語を母国語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母国語とする旨の宣誓書」（様式－M3）を提出してもよい。「英語を母国語とする旨の宣誓書」が提出された場合、口頭試問Ⅱにおいて英語力の判定を行う。

〇英語の学力評価について

・ TOEIC、IELTS、TOEFL の成績により英語の学力を評価する（ただし、2025 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）。下記の指定されたいずれかの提出物を、期日までに提出または郵送（書留便）すること。2027 年 1 月 26 日（火）午後 4 時以後は受け付けないので注意されたい。

＜TOEIC＞

・公式認定証（Official Score Certificate）の原本のほかにデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したものも認める。ただし、いずれの場合も紙媒体として提出すること。TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ受け付ける。TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

＜IELTS＞

・追加成績証明書（紙媒体）が期日までに社会基盤・都市社会系 入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。IELTS（Academic Module）のみ受け付ける。Paper-based IELTS と Computer-delivered IELTS のいずれも認めるが、IELTS Online のスコアは認められないので留意すること。

＜TOEFL＞

・Institutional Score Report が期日までに社会基盤・都市社会系に届くように、TOEFL 実施機関（米国 Educational Testing Service）に送付依頼の手続きをとること。送付依頼手続きに必要な、社会基盤・都市社会系の Institution Code（DI コード）は「C092」である。また、Institutional Score Report の社会基盤・都市社会系への到着に関する問い合わせには回答しない。

・TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ受け付ける。TOEFL iBT Paper Edition および TOEFL iBT Home Edition のスコアは認められないので留意すること。また、TOEFL-iBT テストの MyBest スコアも認めない。TOEFL-ITP などの団体試験の成績証明書は無効となるので注意されたい。

・ 後日書類に不正が認められた場合には合格を取り消すことがある。

(b) 口頭試問Ⅰ（500 点/1000 点）

専門科目の基礎学力（構造力学、水理学、土質力学、計画理論、資源工学）、または数学について 20 分程度の口頭試問を日本語または英語で行う。口頭試問Ⅰでは、上記の専門科目 5 科目のうちの 1 科目あるいは数学を選択して解答すること。いずれの科目を選択する場合においても、

様式－M5 を提出すること。

・ 専門科目の受験を希望する場合

出願時に、受験を希望する科目を専門科目 5 科目および数学の中から 1 科目を選択すること（様式－M5）。ただし、試験において、出願時に様式－M5 で選択した受験科目を変更することはできない。

科目名		出題範囲
専門科目	構造力学	力のつりあい、断面力、影響線、応力とひずみ、材料の力学的性質、断面の性質、構造物の安定性および静定・不静定、静定構造、構造物の変形、柱の弾性座屈、不静定構造、弾性方程式法、仕事・エネルギーと仮想仕事、エネルギー原理
	水理学	流体運動の基礎、静水力学、完全流体の力学、水の波、粘性と乱れ、次元解析と相似律、管路の定常流、開水路の定常流
	土質力学	土の分類と物理的性質、土中の水理、圧密、土のせん断強さ、土の締固め、土圧、支持力、地盤内応力、斜面の安定、地盤改良、地盤の液状化、地盤の振動特性
	計画理論	線形計画法、非線形計画法、動的計画法、ゲーム理論、ネットワーク手法、費用便益分析、重回帰モデル、都市・地域計画、交通計画
	資源工学	岩石・岩盤の力学・水理、地質調査法と鉱床学、弾性波・電気・電磁探査の原理・データ解析と解釈
数学		微積分学、線形代数、ベクトル解析、複素関数、フーリエ変換、ラプラス変換、微分方程式、確率・統計

(c) 口頭試問Ⅱ（300 点/1000 点）

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容に関する口頭試問を日本語または英語で行う。パソコン・液晶プロジェクター等を用いた 5 分以内の発表の後、口頭試問を行う（発表とあわせて 10 分程度）。

(2) 有資格者及び合格者決定法

総得点（1000 点満点）が 500 点以上の者を有資格者とし、有資格者の中から合格者を決定する。

(3) 合格者の発表

募集要項「Ⅴ．**合格者発表**」のとおり。

Ⅵ．出願要領

(1) 別途提出書類について

全ての受験生は、工学研究科に提出する出願書類以外に、下記の書類を郵送（書留便）または窓口で提出すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

(a) 書類提出期限

2027 年 1 月 14 日（木）午後 5 時（必着）

(b) 提出先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂

京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛

（社会基盤・都市社会系　入試担当）　TEL：075-383-2967

(c) 提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

○ 別途提出書類届（様式－M1）

○ 日本語あるいは英語で記述した研究経過・計画書 1 部（A4 紙 3 頁以内。様式－M2 に必要事項を記入し表紙とすること。希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

○ TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書（TOEFL の場合、紙媒体の成績証明書は必要なく、電子的送付のみ)。あるいは、英語を母国語とする旨の宣誓書（様式－M3)。何らかの理由で､TOEIC または IELTS 試験の紙媒体の成績証明書を上記期限までに提出できない者は、「入試別途書類（修士・英語）」と朱書した封筒で、2027 年 1 月 26 日（火）午後 4 時必着で、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（社会基盤・都市社会系　入試担当）に提出しなければならない。郵送の場合は書留便とすること。

○ 日本滞在中の学費及び生活費の経費負担を証明する書類。但し、国費留学生または外国政府派遣留学生（自国政府派遣留学生）である志願者については提出の必要はない。

○ 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M4)（希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

○ 口頭試問 I における受験希望専門科目調書（様式－M5)（希望指導教員の承認印もしくはサインが必要）

(2) **事前コンタクトについて**

事前コンタクトにおいては、希望指導教員が志願者の希望する学習・研究内容と、希望指導教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されており、入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。

○ 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

○ 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）

○ 修士課程教育プログラム

いずれの教育プログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。志望の調査は、出願時に「入学後の教育プログラム履修志望調書」（様式－M4）により志望調査を実施する。

修士課程教育プログラムの中には、英語科目のみで必要単位を修得することが可能な「社会基盤工学専攻　環境基盤マネジメント国際コース」「都市社会工学専攻　都市地域開発国際コース」がある。これらのコースを希望する場合は「入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M4)」から該当するコースを選択すること。なお、上記国際コースを第一志望とする場合は、口頭試問では英語のみを用い、研究経過・計画書は英語で記述すること。また、当該入試における上記国際コースの募集の有無について、事前に希望指導教員を通じて確認すること。

なお、10 月期入学を希望する者が入試区分「社会基盤・都市社会系」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野」に限られる。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

【融合工学コース】

募集要項「X. 修士課程入学後の教育プログラムについて」を参照すること。

【高度工学コース】【修士課程教育プログラム】

○社会基盤工学専攻

新たな産業と文明を開き、環境と調和して、安心・安全で活力ある持続可能な社会を創造するためには、人類が活動する領域とその中にある社会基盤構築物を対象とした技術革新が欠かせません。社会基盤工学専攻では、最先端技術の開発、安全・安心で環境と調和した潤いのある社会基盤整備の実現、地下資源の持続的な利用に重点を置き、社会基盤整備を支援する科学技術の発展に貢献します。

そのために、地球規模の環境問題とエネルギー問題を深く理解し、国際的かつ多角的な視野から新たな技術を開拓する工学基礎力、さらに実社会の問題を解決する応用力を有する人材を育成します。すなわち、１）工学基礎に基づく最先端科学技術の高度化、２）自然災害のメカニズム解明と減災技術の高度化、３）社会インフラの統合的計画・設計技術とマネジメント技術の高度化、４）発展的持続性社会における地下資源エネルギーの利用、５）低炭素社会実現に向けた諸問題解決に対し、高い工学基礎力を有する高度技術者を育成します。

高度工学コースでは、さらに博士後期課程での高度かつ先端的な基盤研究、実社会の諸課題に即応する応用技術研究を通して､深い工学基礎力を有する国際的な研究者･技術者を育成します。

○都市社会工学専攻

高度な生活の質を保証し、持続可能で国際競争力のある都市システムを実現するためには、都市システムの総合的なマネジメントが欠かせません。都市社会工学専攻では、地球・地域の環境保全を制約条件として、マネジメント技術、高度情報技術、社会基盤技術、エネルギー基盤技術などの工学技術を統合しながら、社会科学、人文科学の分野を包含する学際的な視点から、都市システムの総合的マネジメントの方法論と技術体系の構築を目指します。

そのために、社会科学、人文科学の分野を含む総合的かつ高度な素養を身につけた、高い問題解決能力を有する人材を育成します。すなわち、１）都市情報通信技術の革新による社会基盤の高度化、２）高度情報社会における災害リスクのマネジメント、３）都市基盤の効率的で総合的なマネジメント、４）国際化時代に対応した社会基盤整備、５）有限エネルギー資源論に立脚した都市マネジメントに対し、高い問題解決能力を有する国際的な高度技術者を育成します。

高度工学コースでは、さらに博士後期課程での実践的かつ学際的な研究を通して、都市システムの総合的マネジメント能力を身につけた､国際的リーダーとなる研究者･技術者を育成します。

【修士課程教育プログラム　国際コース】

社会基盤工学専攻と都市社会工学専攻では、それぞれ「環境基盤マネジメント国際コース」と「都市地域開発国際コース」を開講しています。両コースは、社会基盤のマネジメントと環境問題の解決に貢献する国際的な人材の育成を目的としています。両コースは英語科目のみで必要単位修得が可能ですが、一部日本語科目を履修することも可能です。

Ⅸ. その他

○社会情勢の変化への対応について

社会情勢の変化に関連して、募集要項公表後に入試に関する変更が生じる可能性がある。変更する場合には工学研究科および専攻のウェブサイトに掲載するので、定期的に最新の情報を確認す

ること。

〇問い合わせ先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
（社会基盤・都市社会系　入試担当）　TEL：075-383-2967

参考 URL：

・社会基盤工学専攻：https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/
・都市社会工学専攻：https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents,accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management

(Department of Civil and Earth Resources Engineering or Department of Urban Management)

Entrance examinations for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management will be jointly conducted, and applicants can select the preferred department and professors from either department.

I. Study Areas

Applicants can refer to the list of study areas below, choose an area for special study during their master's research and indicate the first choice on the screen of Kyoto University Online Application. Prior to application, applicants should have contacted the preferred supervisor to discuss the research plan, and select the first choice of study area.

(1) Department of Civil and Earth Resources Engineering

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
1	Applied Mechanics: Particle-based computational fluid dynamics, fluid-structure interaction, turbulence modeling, mechanical stabilization of undersea tunnels, development and application of the rigid plastic finite element method (Assoc. Prof. Abbas Khayyer, Assoc. Prof. Jun Saito)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
2	Structural Materials Engineering: Properties of structural materials including concrete, durability, maintenance, scenario design of civil infrastructures including concrete structures (Prof. Takashi Yamamoto, Assoc. Prof. Satoshi Takaya)			
3	Structural Mechanics: Structural behavior of steel/composite structures and their rational design, nondestructive evaluation of residual performance of structures, maintenance and durability improvement of steel structures (Prof. Yasuo Kitane)	Applied Mechanics, Human Security Engineering		
4	Bridge Engineering: Bridge aerodynamics, wind-induced instabilities, flow-induced vibrations, aerodynamic countermeasures, wind resistant design, snow accretion, snow resistant design, transportation and adhesion of airborne salt particles, wind-induced disasters (Prof. Tomomi Yagi, Assoc. Prof. Hisato Matsumiya)			
5	Structural Dynamics: Dynamic response of structures and their control, base isolation, seismic resistant design, structural design, metabolism of structure (Prof. Yoshikazu Takahashi)			
6	Environmental Hydrodynamics: Sediment transport, multiphase flow dynamics, crowd dynamics, fundamental theory of open channel flows, river bed deformation and river channel processes, hydraulics on dike breaching (Prof. Eiji Harada, Assoc. Prof. Shinichiro Onda)	Human Security Engineering		
7	Hydrology and Water Resources Research: The hydrologic cycle, hydrologic prediction, real-time hydrologic forecasting, hydrologic design, water resources management (Prof. Yutaka Ichikawa, Assoc. Prof. Sunmin Kim)			
8	Geomechanics: Investigation of static and dynamic behaviors of geomaterials, computational geomechanics, soil-fluid interaction, soil-construction machinery interaction, stability evaluation of rock slopes, conservation of historic earth structures (Prof. Yosuke Higo, Assoc. Prof. Ryota Hashimoto, Assoc. Prof. Fan Zhu)			

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
9	Infrastructure Innovation Engineering: Structural dynamics on vehicle-bridge interaction, environmental vibrations caused by bridge vibrations, bridge health monitoring, drive-by bridge inspection, smart sensing system, seismic performance of viaduct under traffic (Prof. Chul-Woo Kim, Assoc. Prof. Kai-Chun Chang)			
10	Geoinformatics: Remote sensing, geographic information systems, digital photogrammetry, generation of 3D data in urban areas and spatial-temporal analysis (Prof. Junichi Susaki)			
11	Urban and Landscape Design: Landscape design, urban design, architecture of infrastructure and environment, cultural climate and environment, regional planning, urban history (Prof. Masashi Kawasaki, Assoc. Prof. Keita Yamaguchi)			
12	Urban Coast Design: Design and planning of urban coastal structures, particle method, computational wave dynamics, computational fluid dynamics, computational mechanics of sediment transport, computational mechanics for multiphase flow, crowd and multi-agent simulation in urban areas (Prof. Hitoshi Gotoh, Assoc. Prof. Hiroyuki Ikari)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
13	Geophysics: Geophysical exploration of shallow to deep crustal structures, geophysical modeling of geological phenomena that influence human activities, visualization of subsurface geophysical properties (Prof. Eiichi Fukuyama, Assoc. Prof. Junichi Takekawa)			
14	Earth Crust Engineering: Mechanical property and fluid flow in rock to contribute to various rock engineering projects such as carbon capture & storage (CCS), radioactive waste disposal, and development of energy and mineral resources (Assoc. Prof. Yoshitaka Nara, Assoc. Prof. Naotoshi Yasuda)			
15	Fluid Resources and Energy Science: Environmentally friendly development technologies for energy resources such as oil, natural gas, natural hydrogen, and geothermal energy, as well as mineral resources. Technologies contributing to carbon neutrality, such as CCS, CCUS, and underground hydrogen storage (Prof. Sumihiko Murata)			
16	Sediment Control Engineering: Controlling sediment in mountain-river-coast systems, prediction and monitoring of sediment dynamic states in mountainous areas, developing methods to decrease damage from sedimentation disasters, evaluating the impact of sediment transport on the ecosystem (Prof. Kana Nakatani, Assoc. Prof. Kazuki Yamanoi, Assoc. Prof. Shoki Takayama)			
17	Hydroscience and Hydraulic Engineering: Three dimensional structure of flood flow and bed form, prediction of sediment yield and its influence on flood, observations and experiments on sediment transport phenomena, mechanism of river dyke breach, simulation of urban inundation and stormwater drainage, interdisciplinary hydraulics-ecology and hydrodynamics (Prof. Kenji Kawaike)			
18	Geotechnics for Hazard Mitigation: Damage estimation of geotechnical structures after large earthquakes, combined geo-disaster induced by rainfall and earthquake, behavior of geotechnical structures made of composite materials (Prof. Ryosuke Uzuoka, Assoc. Prof. Kyohei Ueda)			
19	Hydrometeorological Disasters Engineering: Global climate change impact assessment on precipitation field, precipitation forecasting, radar hydrology, remote sensing by spaceborne precipitation radar, analysis and forecast of water and heat circulation in urban area, formation process of river basin (Prof. Kosei Yamaguchi)			
20	Coastal Disaster Engineering: Modeling, hazard and risk assessment, and observation of extreme storm surges, storm waves and tsunamis, Climate change impacts and adaptation on coastal hazards, Interaction between atmospheric, ocean and waves (Prof. Nobuhito Mori, Assoc. Prof. Yasuyuki Baba, Assoc. Prof. Tomoya Shimura)			
21	Innovative Disaster Prevention Technology and Policy Research: Realtime Flood Prediction, Impact assessment of climate and land use changes on hydrologic cycle, rainfall-runoff and flood inundation analysis, development of strategic approaches to prevent water-related disasters (Prof. Takahiro Sayama, Assoc. Prof. Tomohiro Tanaka, Jr. Assoc. Prof. Lahournat, Florence)			
22	Waterfront and Marine Geohazards: Hydro-hazards, sediment transport in waterfront, coastal and riverine environmental protection, hydraulics and fluid mechanics, advanced experimental hydraulics (Prof. Michio Sanjou)			

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Courses)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Courses)	Master's Course Program
23	Computational science: Simulation of ground deformation and failure, simulation of soil contamination and remediation, soil-structure interaction analysis, large-scale and high-speed scientific computing, development of measurement technologies utilizing AI and machine learning, and various experiments for analysis validation (Prof. Mamoru Kikumoto)			

(2) Department of Urban Management

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)	Master's Course Program
26	Structures Management Engineering: Deterioration mechanism of structures, condition diagnosis and functional recovery, mechanical properties of high-performance steels and environment-friendly concrete *No admissions for this category, this year	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic).
27	Earthquake and Lifeline Engineering: Earthquake engineering, disaster prevention engineering, seismic risk management (Prof. Aiko Furukawa)			
28	River System Engineering and Management: Understanding and forecasting of catchment water dynamics, flood risk control, watershed land use management (Prof. Yutaka Ichikawa)			
29	Construction Engineering Systems: Development and utilization of underground space and intelligent disaster prevention and mitigation systems, coupled mechanical-hydraulic-thermal-chemical processes in fractured rock, dynamic and static soil–structure interaction, and AI applications to infrastructure using UAVs, robotics, and large language models (LLMs) (Prof. Kiyoshi Kishida, Assoc. Prof. Yasuo Sawamura, Assoc. Prof. Yuxin Zhang)			
30	Geofront-System Engineering: Modeling of coupled thermal-hydraulic-mechanical-chemical-chemical phenomena for rocks, development of biogrout, monitoring and sensing of slope disaster prevention, tsunami generation mechanism caused by submarine landslide, offshore geotechnical engineering (Prof. Hideaki Yasuhara, Assoc. Prof. Hiromasa Iwai)			
31	Earth and Resource System: Determination of in situ stress in ocean and continental deep drillings, measurements of rock physical properties under high pressure and high temperature conditions, wellbore stability for oil and gas developments, mathematical modeling of a geothermal system, visualization of subsurface phenomenon by InSAR (Prof. Weiren Lin, Jr. Assoc. Prof. Kazuya Ishitsuka)			
32	Infrastructure Planning and Management Theory: Planning and management systems: Infrastructure policy, infrastructure industry including privatization and public procurement systems, risk governance, project management, disaster resilience policy, social capital (Prof. Masamitsu Onishi, Assoc. Prof. Satoshi Nakao)			
33	Urban and Regional Planning: Urban planning, urban policy, public transportation policy, urban transportation planning (Prof. Nobuhiro Uno, Assoc.Prof. Ryoji Matsunaka)			
34	Urban Management Systems: National land planning and infrastructure management, urban studies, urban regeneration and conservation, urban resilience, utilization of geospatial information and digital urban infrastructure, urban analysis and survey research (Prof. Tetsuharu Oba)			
35	Intelligent Transport Systems: Optimization of transport and logistics systems, traffic and transport management using big data and integrated transport, reliability analysis of transport network, experimental approach to traffic engineering (Prof. Tadashi Yamada, Assoc. Prof. Ali Gul Qureshi)			
36	Travel Behavior Analysis: Public psychology, social dilemmas, econometrics for public policy, practical social science research, public transport and shared mobility systems, transportation and tourism demand modelling with crowdsourced data (Prof. Satoshi Fujii, Assoc. Prof. Jan-Dirk Schmöcker, Assoc. Prof. Yuichiro Kawabata)			
37	Environmental Geosphere Engineering: Distribution analyses of mineral, water, and energy resources using remote sensing and mathematical geology; reservoir evaluation for storage properties of crustal gases and fluids; and assessment and spatio-temporal modeling of crustal environments from shallow to deep depths (Prof. Katsuaki Koike, Assoc. Prof. Koki Kashiwaya)			
38	Dynamics of Foundation Structures: Earthquake engineering, engineering seismology, seismic design, soil-structure interaction, seismic performance of structures, innovative structure to resist seismic vibrations (Prof. Hiroyuki Goto)			
39	Regional Water Environment System: Comprehensive environmental dynamics model, integrated water resources management, assessing the impact of climate change on flood and drought (Prof. Kenji Tanaka, Assoc. Prof. Kazuaki Yorozu)			
40	Water Resources Engineering: Water resources systems management, global water dynamics, modeling of human response to water hazards, prevention and mitigation of water-related disasters (Prof. Tomoharu Hori)			

Area No.	Research Topic (Faculty) (as of October, 2026)	Educational Programs		
		Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)	Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)	Master's Course Program
41	Disaster Risk Management: Methodology of disaster risk analysis and assessment, community-based and participatory disaster management, and disaster risk communication (Assoc. Prof. Yoko Matsuda)			
42	Environmental Disaster Mitigation Management: Risk management of water resources, integrated management of sediment routing systems, biodiversity conservation, ecosystem management in river basins (Prof. Kentaro Taki, Prof. Sameh Ahmed Kantoush, Assoc. Prof. Sohei Kobayashi)	Human Security Engineering	Choose a research topic from the list of study areas (excluding No.44)	Choose a research topic from the list of study areas (choose any research topic)
43	Urban Flood Control: Compound urban disasters, dynamics of fluid-structure coupled systems, structural design for extreme events, dynamic response control, assessment and maintenance of deteriorating urban facilities, urban flood disaster, hydraulics of water-related disasters, water disaster prevention for underground space, tsunami disaster prevention (Prof. Akira Igarashi, Assoc. Prof. Nozomu Yoneyama)			
44	Sustainable Geoenvironmental Engineering: Environmental infrastructure engineering, soil and groundwater contamination, geotechnics for waste management, environmental risk assessment, environmental geotechnics (Prof. Takeshi Katsumi, Assoc. Prof. Atsushi Takai)	*	*	

- A Study Area with the * mark (No. 44) does not have an Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course and Advanced Engineering Course).

II. Number of students to be accepted

Limited for both April 2027 Admission and October 2027 Admission

*Those who wish to take the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" can choose their admission date from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their preferred supervisor in advance to decide their admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application.

III. Eligibility and its screening

Refer to common section for all departments included in this guideline "Guidelines for International Applicants to the 2027 Master's Program".
A person who has graduated (or, is expected to graduate) from Undergraduate School of Global Engineering, Faculty of Engineering, Kyoto University, is highly recommended to take the exam (General Academic Selection) in August.

IV. Examination Schedule

Examination Site: Room 171 and other rooms, C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus

Date	Time and Examination Subjects
Tuesday, February 9 or Wednesday, February 10 Either of the above	From 9:00 a.m., Oral Exam I, Oral Exam II

Details including place and time for the oral examination will be notified to the applicants by mail or other means.

○ Examination Instructions

- Be sure to come to the waiting room for applicants no later than 15 minutes before the examination starts.
- Be sure to bring your examination voucher with you and follow the instructions of the proctor and other staff.
- Refrain from taking your mobile phone or other electronic devices into the room. If you take those electronic devices into the room, turn off the power, keep the devices in your bag and put your bag in the designated place. If you carry those electronic devices with you, you could be deemed to conduct fraudulent act.
- Be sure to turn off the alarm functions of watches.
- Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations. Since we do not provide PCs, please

bring your own PC. However, we do not allow any use of electronic devices for purposes other than presentations.

- When changing schedules for oral examinations, relevant applicants are notified of it in advance.

V. Details of Entrance Examinations

(1) Examination subjects

(a) English (score 200/1000)

To be evaluated based on candidate's TOEFL, TOEIC or IELTS scores. Native speakers of English can submit "Letter of English Proficiency Statement" (Form-M3) instead of English official scores. Applicants who have submitted Form-M3 will be evaluated for their English proficiency through Oral Exam II.

○ Assessment of English Ability

- English ability will be evaluated on the basis of your TOEIC, IELTS or TOEFL scores (these tests must be taken after February 1, 2025). Either of the following specified documents is to be submitted or sent by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to "C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University" by the due date. Please note that no applications will be accepted after 4:00 p.m. on Tuesday, January 26, 2027.

  <TOEIC>

  - A printed "Digital Official Score Certificate" is acceptable as well as Official Score Certificate. In both cases, these score certificates must be submitted in paper form. We only accept official TOEIC Listening & Reading test. Please note that score certificates for group examinations such as TOEIC IP are invalid.

  <IELTS>

  - Applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online is not acceptable.

  <TOEFL>

  - Applicants need to make a request to ETS (Educational Testing Service in USA) to send your Institutional Score Report to our departments no later than the due date. The Institution Code (DI Code) for our departments is "C092". Note that we do not accept any inquiry concerning arrival of Institutional Score Report.
  - We only accept TOEFL-iBT (Internet-Based Test). Either TOEFL iBT Paper Edition or TOEFL-iBT Home Edition are not acceptable. TOEFL MyBest Scores are not accepted. Please note that score certificates for group examinations such as TOEFL-ITP are invalid.

- Successful applicants will be disqualified if submitted documents are later found to be fraudulent.

(b) Oral Exam I (score 500/1000)

The Oral Exam I in Japanese or English will last approximately 20 minutes and will mainly focus on the applicant's basic knowledge of the specialized subjects listed below (Structural Mechanics, Hydraulics, Soil Mechanics, Planning and Management, and Earth Resources Engineering) or Mathematics.

At Oral Exam I, applicants take mathematics or one of the five specialized subjects. All applicants are required to select one subject using Form-M5.

Note that you are not allowed to take any other subjects once you select one subject in Form-M5.

Subject		Range of Questions
Specialized subjects	Structural Mechanics	Force equilibrium, Sectional forces, Influence lines, Stress and strain, Mechanical properties of materials, Sectional properties, Stability of structures and static determinate/indeterminate, Statically determinate structures, Deformation of structures, Elastic buckling of columns, Statically indeterminate structures, Equations of elasticity, Work and energy, Virtual work, Energy principle
	Hydraulics	Fundamentals of fluid motion, Hydrostatics, Dynamics of perfect fluids, Water waves, Viscous flows and turbulence, Dimensional analysis and similarity law, Steady pipe flows, Steady open-channel flows
	Soil Mechanics	Physical properties and classification of soils, Permeability and seepage, Consolidation, Shear strength, Compaction, Earth pressure, Bearing capacity, Stress distribution, Slope stability, Ground improvement, Liquefaction, Seismic behavior
	Planning and Management	Linear Programming, Nonlinear programming, Dynamic Programming, Game theory, Network analysis, Cost-benefit analysis, Regression analysis, Urban and Regional Planning, Transportation Planning
	Earth Resources Engineering	Mechanics and hydraulics in rock; Geological survey methods and resource geology; Principles, data processing/interpretation in geophysical exploration using seismic, electrical, and electromagnetic methods
Mathematics		Calculus, Linear algebra, Vector analysis, Complex functions, Fourier transform, Laplace transform, Differential equations, Probability and statistics

(c) Oral Exam II (score 300/1000)

Applicants should prepare a presentation (approximately 5 minutes in length) on their graduation research or their current main research. The presentation may be given in English or Japanese. In a presentation, applicants can use projector and PC. The interview will be conducted after presentation (Total time: approximately 10 minutes, including the presentation).

(2) Examination Criteria

Applicants who have secured 500 or more out of the total score (1000 points) are eligible for selection. Final successful applicants are selected among eligible applicants with 500 points or more.

(3) Announcement of Successful Applicants

As specified in “V. Announcement of Entrance Examination Results " in the Guideline for Applicants.

VI. Application Procedures

(1) Additional Required Documents

Aside from documents submitted to the Graduate School of Engineering, Katsura Campus, B Cluster, Administration Complex, all applicants must submit the following documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) or in person to C Cluster, Graduate Student Section. Please be aware that some documents require time for preparation. Therefore, it is highly recommended that applicants prepare for these documents early.

(a) Deadline for submission:

No later than 5:00 p.m. on Thursday, January 14, 2027

(b) Submit to:

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540 (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management), TEL: 075-383-2967

(c) Additional Required Documents (Download the forms from the website of the Graduate School of Engineering.):

○ Checklist of Necessary Documents (Form-M1)
○ Statement of Research Activity and Study Plan in English (Describe your past/current research activities and your study/research plan in the graduate program approved by the preferred supervisor. Complete your statement within three A4 pages. Fill in Form-M2 and gain your supervisor's stamp or signature. Attach the Form-M2 to your statement as a cover sheet.)
○ A paper version of official score certificate of TOEIC or IELTS (In the case of TOEFL, submission of a paper version of score certificate is not needed. See "Assessment of English Ability"). For the native speakers of English, "Letter of English Proficiency Statement (Form-M3)" is acceptable. If applicants can't submit official score certificate of TOEIC or IELTS by the above-mentioned deadline, they should submit these documents by registered mail (kakitome-bin (書留便)) to Cluster C, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management) by 4:00 p.m. on Tuesday, January 26, 2027. Envelopes should be marked with "Document for Admission (Master/English)" in red ink.
○ Documents detailing the candidate's source of tuition and living expenses while in Japan. International students who will be supported by scholarships from the government of Japan or other countries (e.g. the candidate's home country), do not need to submit this document.
○ Statement of Course Selection (Form-M4) (Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary)
○ Statement of Specialized Subject of Oral Exam I (Form-M5) (Stamps or signatures by preferred supervisors are necessary)

(2) Prior Contact

In the prior contact, the preferred supervisor will judge whether or not the learning / research content desired by the applicant is consistent with the research activities of the preferred supervisor.

VII. Selecting your course after enrollment

Three types of educational course programs are available after entry to the Master's Program. The courses below can be taken upon passing of entrance examinations for category "Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management."

○ Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
○ Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
○ Master's Course Program

Applicants' course assignment is determined on the basis of their preference and entrance examination results. Survey on preference will be conducted through applications of "Statement of Course Selection" (Form-M4).

Department of Civil and Earth Resources Engineering and Department of Urban Management offer "International Course in Management of Civil Infrastructure" and "International Course in Urban and Regional Development", respectively. In these international courses, students can acquire necessary credits only with English subjects. If you wish to enroll in the courses, select the applicable course in the "Statement of Course Selection" (Form-M4). If you wish to select the above International Course as your first choice, presentations at the oral examinations are to be made in English, and the progress / plan of research is to be written in English. Additionally, confirm in advance through your preferred supervisor whether or not applications are available for the above International Course at the entrance examinations.
Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for category "Civil and Earth Resources Engineering/Urban Management", October Admission are limited to the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course), "Human Security Engineering."

VIII. Educational Course Program details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to "X. Educational Programs in Master's Program" of the Guidelines for Applicants.

[Advanced Engineering Course] [Master's Course Program]

○ Department of Civil and Earth Resources Engineering

To develop new industries and foster new cultures and to realize safe, secure, and active sustainable urban systems, in harmony with the environment, it is essential to promote technological innovation in areas of human activities, particularly public infrastructures. The Department of Civil and Earth Resources Engineering aims at realizing the development of cutting-edge technologies as well as safe and secure enhanced public infrastructures that is in harmony with the environment and sustainable use of underground resources. It aims to contribute to the development of scientific technologies that support building public infrastructures.

For this, we develop talents with a good understanding of global-scale issues of environment and energy as well as those who have the basic competence in engineering science to develop new technologies from global and multilateral viewpoints and the skills to apply the learnings to solve the real-world problems. In other words, we develop advanced technicians who have advanced engineering basics regarding: 1. Advancement of cutting-edge technologies based on engineering basics, 2. Elucidation of natural disaster mechanisms and improvement of disaster-mitigation technologies, 3. Enhancement of integrated planning and design technologies for public infrastructure and its management, 4. Utilization of underground resources energy for the sustainable development of society, and 5. Provision of solutions for the realization of low-carbon society.

In the Advanced Engineering Course, we develop international researchers/technicians with in-depth basics of engineering through advanced and cutting-edge basic research in the Doctoral Program and through research on applications technology that can immediately respond to real-world issues.

○ Department of Urban Management

Comprehensive urban management is required to guarantee a high-level quality of life and establish sustainable and globally competitive urban systems. The Department of Urban Management aims at developing methodologies and engineering systems for the comprehensive management of urban systems under the condition of protecting global/regional environments. From an interdisciplinary perspective that encompasses social sciences and humanities, it aims to integrate engineering technologies such as management technologies, advanced information technologies, public infrastructure technologies, and energy structure technologies.

We develop talents with advanced all-round potentials and advanced problem-solving capabilities in areas including social sciences and humanities. In other words, we develop international advanced technicians with high problem-solving capabilities regarding: 1. Advancement of public infrastructure through innovation in urban communication and information technologies, 2. Disaster risk management in the advanced information society, 3. Comprehensive and efficient urban infrastructure management, 4. Development of public infrastructure that suits the globalization era, and 5. Urban management based on the limited resources theory.

In the Advanced Engineering Course, we develop international leaders of researchers/technicians with comprehensive management capabilities in urban systems through practical and interdisciplinary research in the Doctoral Program.

[Master's Course Program, International Course]

At the Department of Civil and Earth Resources Engineering Department and the Department of Urban Management Department, we offer "International Course in Management of Civil Infrastructure" and "International Course in Urban and Regional Development", respectively. Both courses aim at developing international talents that can contribute to resolving public infrastructure management and environmental issues. Students in the international course can fulfill the required credits solely through English-taught subjects and research supervision, while also having the option to take some Japanese-taught subjects.

IX. Other

○ Special Measures for Response to Changes in Social Conditions：

Due to changes in social conditions, the entrance examination and test details are subject to change. When change is made, information will be posted on the websites of the Graduate School of Engineering and each department. Be sure to check the latest information.

○ Inquiries

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University

(Admissions for the Department of Civil and Earth Resources Engineering and the Department of Urban Management)
Kyoto Daigaku-Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto, 615-8540, JAPAN
TEL: 075-383-2967

Reference URL:

- Department of Civil and Earth Resources Engineering: https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/en/
- Department of Urban Management: https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/en/
- International Course in Management of Civil Infrastructure in the Department of Civil and Earth Resources Engineering: https://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp/mci/en
- International Course in Urban and Regional Development in the Department of Urban Management: https://www.um.t.kyoto-u.ac.jp/urd/en

都市環境工学専攻

Ⅰ．志望区分

以下に示す研究内容を参照し、予め出願までに志望区分の教員と十分に連絡をとり、研究計画等について相談した上で、インターネット出願システムの志望情報入力画面で、第 1 志望のみを選択すること。

志望区分	研　究　内　容 （担当教員） （2026 年 10 月現在）
1	環境デザイン工学、都市代謝工学、環境装置工学、資源循環科学、有害化学物質制御 （**高岡昌輝教授・大下和徹准教授**）
2	環境衛生学、環境予防医学、 環境予防工学（環境化学物質・大気汚染物質等の健康リスク評価、評価手法および予防・軽減手法の開発） （**松田知成教授・松田俊准教授・山本浩平講師**）
3	水環境工学、環境微生物工学、水処理工学、水・資源循環システム、水環境管理 （**藤原拓教授・日高平准教授**）
4	環境リスク工学、環境リスクマネジメント、土壌・地下水汚染制御、汚染物質環境動態モデル解析、 放射能環境汚染対策（**島田洋子教授・池上麻衣子准教授**）
5	大気・熱環境工学、地球環境シミュレーション、統合評価モデリング、気候変動緩和策分析、 気候変動影響分析、環境政策評価、環境経済分析 （**藤森真一郎教授**）
6	都市衛生工学、環境ヘルスリスク制御工学、高度浄水処理工学、飲料水質のリスクマネジメント、 上水道システムのトータルデザイン （**伊藤禎彦教授・中西智宏講師**）
7	環境質管理、統合的流域管理、環境微量汚染物質の検出・挙動把握・毒性評価・排出制御、 水環境天然有機物の特性解析、土壌・地下水汚染・浄化 （**松田知成教授・浅田安廣准教授**）
8	環境質予見、環境汚染物質及び病原微生物のモニタリング・制御・影響評価、水の再利用、 雨天時排水管理、水域生態系保全、汚染源の推定と管理 （**西村文武教授**）
9	環境保全工学、リサイクルシステムと廃棄物管理、循環型社会システム、教育研究機関の環境安全管理 （**平井康宏教授・矢野順也准教授**）
10	安全衛生・エネルギー管理工学、労働衛生学、粒子状物質や化学物質の曝露評価、安全工学、安全衛生マネジメント （**松井康人教授**）
11	放射能環境動態、環境中での放射性・安定同位体の分布挙動の研究 （**高宮幸一教授**）
12	放射性廃棄物管理、原子力技術の安全性研究及び有害物質の環境中での移行挙動の研究 （**福谷哲准教授**）
13	環境調和型産業論、流域水環境管理論、沿岸生態系保全、有害微量化学物質管理、途上国水環境衛生、 資源回収・循環 （**越後信哉教授・田中周平准教授**）

【注１】　志望区分 1～12 は、入学後の教育プログラムとして、博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース：人間安全保障工学分野）、博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）、修士課程教育プログラムのうちから一つを選択できる。志望区分 13 については、連携教育プログラムの設定はない。

Ⅱ．募集人員

2027 年度 4 月期入学および 2027 年度 10 月期入学ともに若干名

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を希望する者は、入学時期を 2027 年度 4 月期あるいは 2027 年度 10 月期のいずれかから選択することができる。出願後は、入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。該当者はインターネット出願システム上で、4 月期入学と 10 月期入学のいずれかを選択すること。

※融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を第一志望とし、10 月期入学を選択した者を対象として、国費外国人留学生大学推薦特別プログラム（以下「特別プログラム」という）を設置している。推薦希望者は受け入れ希望教員とあらかじめ相談のうえ、工学研究科ホームページの募集要項掲載ページより「専攻別詳細・専攻別提出書類様式」を確認し、必要書類を指示された期限までに提出すること。ただし、必要書類の受理は推薦を保証するものではなく、入学試験の合格を保証するものでもない。また、出願締切後の入学検定料払い戻しはできない。特別プログラムへの推薦には、一定の英語スコアならびに学業成績を満たす必要がある。また、推薦者の 75%が重点地域からの学生に割り当てられるため、国籍によって推薦が難しい場合がある。推薦基準を満たしていない場合でも、入学試験に出願し合格すれば、私費外国人留学生等として入学できる。

Ⅲ．出願資格

京都大学大学院工学研究科 2027 年度修士課程外国人留学生学生募集要項（以下「募集要項」と略す）Part A: 全入試区分共通部分、「II.　出願資格と出願資格の審査」を参照。

Ⅳ．学力検査日程

年月日	時　　間 試験科目	試験室
2027 年 2 月 9 日（火）	１０：３０～ １２：００ 筆記試験	桂キャンパス C クラスターC1 棟 173 号室(1 階)、他
2027 年 2 月 9 日（火）	１３：００～ 口頭試問	桂キャンパス C クラスターC1 棟 173 号室(1 階)、他
2027 年 2 月 10 日（水）	９：００ ～１７：００ 口頭試問	桂キャンパス C クラスターC1 棟 173 号室(1 階)、他

※ 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野志望者の試験日時および試験室については別途通知する。

【学力検査に関する注意事項】

(1) 試験開始時刻 10 分前までに試験室前に集合すること。なお、口頭試問の場合は、受験者控え室（桂キャンパス C クラスターC1 棟 107 号室(1 階)）に集合すること。
(2) 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。
(3) 試験に使用する筆記用具は、鉛筆、万年筆、ボールペン、シャープペンシル、鉛筆削り及び消しゴムに限る。
(4) 携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
(5) 筆記試験受験に際して、電池式の小型卓上計算機を必要とする場合があるので、プログラム機能を有しないものを持参すること（取扱書の持ち込みは不可）。
(6) 口頭試問では、コンピュータと接続可能なプロジェクターは用意するが、コンピュータは用意しないので各自が持参すること。
(7) 各試験科目の試験室、口頭試問の時刻など、詳細は事前に、桂キャンパス C クラスターC1 棟 191 号室（１階、大講義室）西側廊下の専攻掲示板に掲示するので注意すること。

Ⅴ. 入学試験詳細

(1)英語(200 点/1000 点)

TOEFL、TOEIC、または IELTS の成績により評価する。手続き等、詳細については、下記の【英語の学力評価について】を参照。

【英語の学力評価について】

・ TOEIC の公式認定証(Official Score Certificate)、IELTS の成績証明書（Test Report Form）、または都市環境工学専攻が指定する Designated Institution Code:C121 により 2027 年 1 月 13 日（金)までに都市環境工学専攻に提出された TOEFL の受験者成績書(「Test Taker Score Report」)の成績（ただし、2025 年 2 月 1 日以降に実施された試験に限る）により英語能力を評価する。

・

・ TOEFL の場合は TOEFL-iBT(internet-Based Test)(Special Home Edition、 Home Edition を含む)、TOEIC の場合は日本または韓国で実施される TOEIC 公開テストの成績証明書のみ受け付ける。TOEFL-ITP や TOEIC-IP などの団体試験の成績証明書は無効なので注意されたい。

・ TOEFL の成績証明書は、上記の受験者成績書のコピー（ウェブサイトからダウンロードした PDF 形式の Test Taker Score Report を印刷したもの）を提出すること。TOEFL のスコアにおいて MyBest™スコアは認めない。

・ TOEIC の成績証明書は、公式認定証（Official Score Certificate）原本（紙媒体）そのもの、もしくはデジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）(PDF 版)を印刷したものを提出すること。

・ IELTS の場合、追加成績証明書（紙媒体）が 2027 年 1 月 13 日（水)までに都市環境工学専攻 入試担当に届くように、IELTS 公式テストセンターに発行・直送の申請手続きをとること。成績証明（原本）のコピーは受け付けない。

・ 成績証明書は試験当日に返却する。

英語を母語とする受験生は「英語を母語とする旨の宣誓書」(様式-Ｍ３)を本専攻に予め提出することにより上記成績証明書の提出を免除し、口頭試問で英語力を評価する。なお、後日虚偽の申請を行ったことが明らかとなった場合には合格を取り消す。

・ TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の詳細についての問い合わせ先は、それぞれ下記の通り。

TOEFL: ETS Japan 合同会社
TEL: 0120-981-925、https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html

TOEIC: (一財)国際ビジネスコミュニケーション協会・TOEIC 運営委員会
TEL: 06-6258-0224、https://www.iibc-global.org/toeic.html

IELTS：（公財）日本英語検定協会 IELTS 東京テストセンター TEL: 03-3266-6852
（公財）日本英語検定協会 IELTS 大阪テストセンター TEL: 06-6455-6286
https://www.eiken.or.jp/ielts/contact/

(2)筆記試験(500 点/1000 点)

都市環境工学に関する基礎及び専門分野から出題する。ただし、あらかじめ、志望する分野の指導教員と相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式－Ｍ１)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を日本語または英語から選択し、提出すること。

(3)口頭試問(300 点/1000 点)

卒業研究の内容あるいは現在の主要な研究の内容と修士課程での研究計画について、コンピュータとプロジェクターを用いて口頭発表（10 分以内）し、試問（口頭発表とあわせて 30 分程度）を実施する。また、「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式－Ｍ３）を提出した受験生は英語力も評価の対象とする。

(4)有資格者及び合格者決定法

総得点（1000 点満点）が 500 点以上の者を有資格者とする。有資格者の中から合格者を決定する。

Ⅵ. 試験時の希望言語調査及び別途提出書類

（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

(1)外国人留学生に対する試験時の希望言語調査について

当専攻修士課程を志願する外国人留学生は、志望する分野の指導教員と十分相談の上、筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票(様式－Ｍ１)により、筆記試験および口頭試問時の希望言語を

日本語または英語から選択し、2026 年 12 月 4 日（金)午後 5 時（必着）までに、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻　入試担当）へ提出すること。期日までに提出がなかったものは日本語で筆記試験、口頭試問を行うこととする。

【備考】

・ 書類提出期限：**2026 年 12 月 4 日（金）午後 5 時（必着）**

・ 提　出　先：〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻　入試担当
TEL：075-383-2967

(2)別途提出書類について

出願手続にあたっては、募集要項７ページ、Ⅲ(ii)の工学研究科に提出する出願書類等の他に、下記の書類を、京都大学大学院工学研究科 C クラスター事務区教務掛（都市環境工学専攻　入試担当）へ提出または郵送すること。準備に時間を要する書類もあるので、注意すること。

・書類提出期限：**2027 年 1 月 13 日（水）午後 5 時（必着）**

・提　出　先：〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻　入試担当
TEL：075-383-2967

・提出書類　① 別途提出書類届（様式－Ｍ２）
② TOEFL、TOEIC または IELTS の成績証明書。あるいは、英語を母語とする受験者は、成績証明書の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式－Ｍ３）を提出してもよい。
③ 入学後の教育プログラム履修志望調書（予備志望調査）（様式－Ｍ４）
④ 学習・研究計画書：
これまでの研究成果及び進学後の研究計画を A4 判の用紙 5 ページ程度に日本語あるいは英語で記載したもの 5 部
⑤ 融合工学コース「人間安全保障工学分野」の履修を第一志望とする 10 月期入学選択者で、国費外国人留学生大学推薦特別プログラムへの推薦を希望する者は、推薦に必要な書類（工学研究科ホームページで案内する）を提出すること。推薦を希望する場合、英語の成績証明書は IELTS または TOEFL でなければならない点に注意されたい。

(3)問い合わせ先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　C クラスター事務区教務掛
都市環境工学専攻　入試担当
TEL：075-383-2967

当専攻のより詳しい情報は、http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/を参照のこと。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。いずれのプログラムを履修するかについては、志望と入試成績に応じて決定される。入試区分「都市環境工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。

○　博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）
・人間安全保障工学分野
○　博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
・都市環境工学専攻
○　修士課程教育プログラム
・都市環境工学専攻

なお、10 月期入学を希望する者が入試区分「都市環境工学」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは、「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野」に限られる。

「博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース・高度工学コース）」を希望する者については、口頭試問時にコース志望に関する試問を実施する。この結果、博士課程前後期連携教育プログラムの履修が不可となった場合は、修士課程教育プログラムを履修することになる。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

【融合工学コース】

内容については、工学研究科 HP(「工学研究科教育プログラム」
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69)を参照すること。

【高度工学コース】

都市環境工学専攻では、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念とし、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する幅広い基礎学力、問題設定・解決能力及び高い倫理観を備えたこの分野の次世代のリーダーとなる研究者・技術者を育成します。このコースでは、1年次から論文研究を中心として、最先端の環境研究手法を習得します。また、環境工学/科学の全領域をカバーする体系的なカリキュラムにより、工学はもとより、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ環境問題に関わる様々な学理について教授します。

【修士課程教育プログラム】

都市環境工学専攻では、地球環境問題及び地域固有の環境問題の解決に貢献する技術者・研究者を育成します。より具体的には、「顕在化/潜在化する地域環境問題の解決」、「健康を支援する環境の確保」、「持続可能な地球環境・地域環境の創成」、「新しい環境科学の構築」を理念として、工学技術を基盤に、アジア地域を中心とした国際的研究フィールドを含む、環境問題の現場を重視した教育・研究活動と、医学・社会学・経済学から倫理学に及ぶ学際的なアプローチを通じて、人々の健康と安心を保障しつつ持続可能社会を支える総合的な学問体系を構築し、それに基づいた人材育成を行います。

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Environmental Engineering

I. Research Area Preference

Refer to the research content below, sufficiently contact and consult professors of your application category on research plans prior to submitting your application, and hence select your first choice only on the application information entry page on the internet application system for admission

Preferred Research Area	Content of Research (Faculty in Charge) (as of October 2026)
1	Environmental Design Engineering, Urban Metabolism Engineering, Environmental Plant Engineering, Resource Recycling Science, and Toxic Substances Control (Professor Masaki Takaoka, Associate Professor Kazuyuki Oshita)
2	Environmental Health, Environmental Preventive Medicine Environmental Health Engineering (Evaluation of Health Risks posed by Environmental Chemicals and Air Pollutants, Development of Methods for Environmental Health Risk Evaluation, Prevention, and Mitigation) (Professor Tomonari Matsuda, Associate Professor Shun Matsuda, Senior Lecturer Kouhei Yamamoto)
3	Water Quality Engineering, Applied and Environmental Microbiology, Water and Wastewater Treatment Engineering, Water / Resources Recycling Systems, Water Environment Management (Professor Taku Fujiwara, Associate Professor Taira Hidaka)
4	Environmental Risk Analysis, Environmental Risk Management, Soil and Ground Water Pollution Control, Modelling Environmental Dynamics of Pollutants, Measures against Radioactive Environmental Contamination (Professor Yoko Shimada, Associate Professor Maiko Ikegami)
5	Atmospheric and Thermal Environmental Engineering, Global Environmental Simulation, Integrated Assessment Modeling, Climate Change Mitigation Assessment, Climate Change Impacts Assessment, Environmental Policy Assessment, Environmental Economic Analysis (Professor Shinichiro Fujimori)
6	Urban Sanitary Engineering, Environmental Health Risk Control Engineering, Advanced Water Purification Engineering, Risk Management of Drinking Water Quality Total Design for Waterworks System (Professor Sadahiko Itoh, Senior Lecturer Tomohiro Nakanishi)
7	Environmental Quality Management, Integrated Watershed Management, Detection / Fate / Assessment of Toxicity Evaluation / Emission Control of Environmental Micro-Pollutants, Characterization of Natural Organic Matter in Aquatic Environment, Contamination in Soil /Groundwater and Remediation (Professor Tomonari Matsuda, Associate Professor Yasuhiro Asada)
8	Environmental Quality Prediction, Monitoring / Control / Impact Evaluation of Micropollutants and Pathogens in Wastewater and Receiving Waters, Water Reclamation and Reuse, Management of Urban Stormy Wastewater, Conservation of Aquatic Ecosystem, Contamination Sources Identification, Tracking and Management (Professor Fumitake Nishimura)
9	Environmental Preservation Engineering, Recycling Systems and Waste Management, Recycling Social Systems, Environmental Safety Management of Educational Research Institutions (Professor Yasuhiro Hirai, Associate Professor Junya Yano)
10	Safety and Occupational Health Engineering･Energy Management Engineering, Occupational Health, Assessment of Exposure of Particulate Matter and Chemical Substances, Safety Engineering and Safety and Health Management Systems (Professor Yasuto Matsui)
11	Environment Radionuclide Science and Engineering, Research on Distribution and Behavior of Radioactivity and Stable Isotope in the Environment (Professor Koichi Takamiya)
12	Radioactive Waste Management, Research on Nuclear Technology Safety and on Transition / Behavior of Toxic Materials in the Environment (Associate Professor Satoshi Fukutani)
13	Environmentally-friendly Industries for Sustainable Development, Watershed Environment Management, Littoral Ecosystem Preservation, Micropollutants Management, Water Environment and Sanitation in Developing Countries, Resources Recycling Societies (Professor Shinya Echigo, Associate Professor Shuhei Tanaka)

[Note 1] For application category 1 to 12, you can select one of the following post-entry courses: Integrated Master's-Doctoral course Program (Interdisciplinary Engineering Course: Human Security Engineering), Integrated

Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course), and Master's Course Program. There is no integrated course for application category 13.

II. Enrollment Capacity

A few people for both April 2027 Admission and October 2027 Admission

*Those who wish to take the Interdisciplinary Engineering Course, “Human Security Engineering” can choose their admission date from April 2027 or October 2027. Such applicants must consult with their prospective supervisor in advance to decide their admission time since it cannot be changed once their application accepted. They must choose April Admission or October Admission on the Kyoto University Online Application.

*The Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" offers a special university-recommended program for MEXT Scholarship for applicants who select this course as their first choice and select October enrollment. Applicants should consult in advance with their prospective supervisor, check the "Each Division / Department Part: Details and Designated Form" on the application guidelines page on the Graduate School of Engineering website, and submit the required documents by the indicated deadline. Acceptance of the documents does not guarantee a recommendation or passing the entrance examination. Please note that the examination fee cannot be refunded after the application deadline. To be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation), applicants must meet certain English language proficiency score and academic performance requirements based on the standards of MEXT. Please note that 75% of the nominations will be allocated to applicants from priority regions, so it may be difficult to recommend an applicant depending on their nationality. If an applicant does not meet the recommendation criteria, he or she can apply for and pass the entrance examination and enroll as a privately financed international student, etc.

III. Eligibility requirements for applicants

Refer to II. Eligibility and Its screening in Part A: Common Part for All Divisions/Departments in the Guidelines for International Applications to the 2027 Master's Program (April 2027 Admission) of Graduate School of Engineering, Kyoto University (“Guideline for applicants").

IV. Examination schedule

Date	Time Examination Subjects	Room
Tuesday, February 9 2027	10:30 AM to 12:00PM Written examination	Room 173 (1st floor), C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus (Subject to change)
Tuesday, February 9, 2027	1:00 PM - Oral examination	Room 173 (1st floor), C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus (Subject to change)
Wednesday, February 10, 2027	9:00 AM to 5:00 PM Oral examination	Room 173 (1st floor), C1 Bldg, C Cluster in Katsura Campus (Subject to change)

*Examination dates and venue for those applying for Human Security Engineering fields in the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course) will be notified separately.

[Examination instructions]

(1) Please arrive at the examination room no later than 10 minutes before the examination starts.
For oral examinations, please gather in the waiting room for applicants
(Room 107, C1 Bldg, C Cluster, (1F) Katsura Campus).
(2) Applicants must bring their examination vouchers to the examination room and follow the instructions given by the attendant.
(3) Writing tools for examinations are limited to pencils, fountain pens, ball-point pens, mechanical pencils, pencil sharpeners and erasers.
(4) Applicants are advised, preferably, to not bring electronic devices, including mobile phones, in the examination room. If you do bring them into the examination room, turn them off, put them in your bag, and place the bag at the specified place. Note that carrying them with you may be considered to be an act of

cheating.

(5) Small electronic calculators may become necessary in written examinations.
Please bring ones without program functions (bringing in manuals for the devices are not allowed).

(6) Only a projector to be connected to PCs is provided for the oral presentations. Please bring your own PC.

(7) Please be aware that information such as examination rooms of respective subjects and timing of oral examinations will be posted in advance on the Department board located at the west corridor of Room 191 (1F, main auditorium) C1 Bldg., C Cluster, Katsura Campus.

V. Details of Entrance Examinations

(1) English (score 200/1000):
Evaluated based on transcripts of either TOEFL, TOEIC or IELTS. Refer to the [Regarding evaluation of English proficiency] below for procedures and details.

[Regarding evaluation of English proficiency]

- English proficiency will be evaluated under TOEFL Designated Institution Code: C121 specified at the Environmental Engineering Department, based on your transcripts ("Test Taker Score Report"), or "Official Score Certificate" of TOEIC or "Test Report Form" of IELTS (hereinafter referred to as "academic transcript") that is submitted to the Department of Environmental Engineering, Graduate School of Engineering by Wednesday, January 13, 2027 (note that these tests must be taken after February 1, 2025), or the academic records on English in your transcript.
- If you submit one of the academic transcripts, your English proficiency will be evaluated based on both the academic transcript and your academic records on English, and the better score will be your English score for this examination.
-
    - For TOEFL, we only accept academic transcripts of TOEFL-iBT (internet based test, including Special Home Edition and Home Edition). MyBest ™ score is not accepted as TOEFL score. For TOEIC, we only accept academic transcripts of TOEIC Public Testing Program administered in Japan or Korea. Please note that academic transcripts from group exams such as TOEFL-ITP or TOEIC IP are invalid. We only accept a copy of the above academic transcripts (a printout of the Test Take Score Report in PDF that is downloaded from the website is allowed).
    - For TOEIC academic transcripts, submit the original papers of Official Score Certificate or the printouts of Digital Official Score Certificate (PDF version).
    - For IELTS, applicants need to make a request to IELTS Official Test Centre to send your Additional Test Report Form (paper form) directly to our departments no later than the due date. Photocopies will not be accepted. We only accept IELTS (Academic Module). Both Paper-based IELTS and Computer-delivered IELTS are accepted, but IELTS Online in not acceptable.
    - The academic transcript will be returned on the examination day.
    - Applicants whose native language is English are exempted from submission of academic transcripts by submitting the "Letter of English Proficiency Statement" (Form M3) to the Department in advance and their English proficiency will be judged at the oral examination. Should any false applications be found at a later stage, acceptance will be cancelled.
    - The following are contact points for inquiries regarding TOEFL, TOEIC and IELTS.

        TOEFL: ETS Japan
        TEL: 0120-981-925, https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/

        TOEIC: TOEIC Steering Committee, the Institute for International Business Communication
        TEL: 06-6258-0224, https://www.iibc-global.org/english.html

        IELTS: Eiken Foundation of Japan IELTS Official Tokyo Test Centre TEL: 03-3266-6852
        Eiken Foundation of Japan IELTS Official Osaka Test Centre TEL: 06-6455-6286
        https://www.eiken.or.jp/ielts/en/contact/

(2) Written examination (score 500/1000):

Examination topics will be chosen from basic and specialized fields in Environmental Engineering. However, consult in advance with the supervisor of the field you are applying to and select and submit whether to take the written and oral examination in Japanese or English, using the Statement of Language Preference for the Entrance Examination form (Form M1).

(3) Oral Examination (score 300/1000):
Applicants will verbally present the content of thesis research or current main research and research plans for the Master's Program using a computer and projector (within 10 minutes) and receive oral examinations (approximately 30 minutes, including time for initial presentation). Also, those who submitted the "Letter of English Proficiency Statement" (Form M3) will be evaluated for English as well.

(4) Selection of Those Who Qualify and Pass:
Those who score a total of 500 points or more (out of 1000 points total) qualify. Those who pass will be decided from among those who qualify.

VI. Preferred language for examinations and separate documents (please download the forms from the website of the Graduate School of Engineering).

(1) Survey on preferred language at examinations for international students
For international students applying for the Department's Master's Program, upon sufficient consultation with the supervisor of the field you are applying to, select whether your prefer Japanese or English in written and oral examinations, using the Statement of Language Preference for the Entrance Examination (Form M1) and submit to the C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (person in charge of entrance examinations for the Department of Environmental Engineering) by no later than 5:00 p.m. on **Friday, December 4, 2026**. For applicants that did not make such submissions by the deadline, the written and oral examinations will be conducted in Japanese.

[Note]
- Submission deadline: No later than **5:00 p.m. on Friday, December 4, 2026**
- Send to: Kyoto daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540
  C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
  Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering
  TEL: 075-383-2967

(2) Other documents to submit
In application procedures, apart from the application documents to submit to the Graduate School of Engineering listed in **III Application Documents** in 17 page of the Guidelines for applicants, submit or mail the following documents to C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University (person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering). Please be aware that some documents require time for preparation.

- Submission deadline: No later than **5:00 p.m. on Wednesday, January 13, 2027**
- Send to: Kyoto daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8540
  C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
  Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering
  TEL: 075-383-2967
- Documents to submit:
  (i) Checklist of Necessary Documents (Form M2)
  (ii) Academic transcripts of either TOEFL, TOEIC or IELTS. Otherwise, applicants whose native language is English can submit the "Letter of English Proficiency Statement" (Form M3) instead of academic transcripts.
  (iii) Statement of Course Selection (Preliminary Investigation) (Form M4)

(iv) Research Plan:
Five copies of about a five-page description on A4-sized paper regarding research results and future plans for research written in Japanese or English.

(v) Applicants who select the Interdisciplinary Engineering Course, "Human Security Engineering" as their first choice, select October enrollment, and wish to be recommended for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation) must submit the required documents for recommendation (as announced on the Graduate School of Engineering website). Please note that applicants who wish to be recommended must submit an English proficiency score report from IELTS or TOEFL.

(3) Inquiries

C Cluster Office, Graduate Student Section, Graduate School of Engineering, Kyoto University
Person in charge of entrance examinations, Department of Environmental Engineering
TEL: 075-383-2967

Please see http://www.env.t.kyoto-u.ac.jp/ for details of the Department.

VII. Selecting your course after enrollment

Three courses are available to successful applicants after their enrollment in our Master's program. Successful applicants' course assignment is determined based on their preference and entrance examination results. Applicants who passed the entrance examination for the category "Department of Environmental Engineering" can register to the following courses.

○ Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course)
- Human Security Engineering field

○ Integrated Master's-Doctoral Course Program (Advanced Engineering Course)
- Department of Environmental Engineering

○ Master's Program courses
- Department of Environmental Engineering

Courses that can be taken upon passing of entrance examinations for category "Environmental Engineering", October Admission are limited to the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course), "Human Security Engineering."

For those who apply for the Integrated Master's-Doctoral Course Program (Interdisciplinary Engineering Course/Advanced Engineering Course), evaluations regarding the applied course will be made at the oral examinations. If applicants fail at the above oral examination regarding Integrated Master's-Doctoral Course Programs, they will join the Master's Program course.

VIII. Course details

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to our website (URL: https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69) for the details of Interdisciplinary Engineering.

[Advanced Engineering Course]

In the Advanced Engineering Course of the Department of Environmental Engineering, our philosophies are "solving surfaced/latent environmental problems," "securing environment to support health," "creating sustainable global and regional environment," and "creating a new environmental science." We aim to develop next-generation leaders of researchers and technicians with wide general academic abilities that can contribute to resolve the global/regional environmental problems, capabilities in problem identification/solving skills, and high levels of ethics. In this course, students will learn cutting edge research methods for environmental problems, focusing on research for dissertation from the first year. Students will learn not only engineering, but also various theories surrounding environmental problems such as medicine/sociology/economics/ethics through systematic curriculum covering entire areas of environmental engineering and science.

[Master's Course Program]

The Department of Environmental Engineering will help develop technicians/researchers that can contribute to resolving environmental issues on a global and regional level. Specifically, it will hold as philosophies "solving surfaced/latent environmental problems," "securing the environment to support health," "creating sustainable global and regional environments," and "creating a new environmental science." It will also take an approach that focuses on education/research activities based on engineering technologies that emphasize environmental issues in the field, including the international research field centering on Asian regions and an interdisciplinary style that covers from medicine/sociology/economics to ethics. Through this, we aim for a comprehensive academic structure that supports the health and security of people and a sustainable society and to develop talents accordingly.

建築学専攻

Ⅰ．志望区分

志望区分	研　究　内　容	担当教員
	構　　造　　系	
Ⅰ－1a	建築構造力学　構造解析学　構造安定論　建築構造最適化	荒木　慶一 張　　景耀
Ⅰ－1b	構造形態創生　建築情報学　コンピュテーショナルデザイン	林　　和希
Ⅰ－2	鉄筋コンクリート構造学　複合構造学　耐震設計学　耐火設計 プレストレスト・コンクリート構造学構造材料学	谷　　昌典
Ⅰ－3	鉄骨構造学　合成構造学　高性能材料工学　空間構造計画学 溶接・接合工学	聲高　裕治 稲益　博行
Ⅰ－4	建築・都市保全再生　地震工学　災害リスクマネジメント 構造デザイン論　伝統木造	杉野　未奈
Ⅰ－5	建築設計力学　構造最適設計・逆問題　システム同定　建築動力学 制振・免震構造　耐震設計法　建築地盤工学	五十子幸樹 藤田　皓平
Ⅰ－6	建築材料学　耐久設計・維持管理　非破壊・微破壊診断 反応速度論　材料力学	寺本　篤史
Ⅰ－7	地震環境工学　地盤震動論　地震ハザード解析　地震荷重論 地盤–建物系非線形応答解析	松島　信一 長嶋　史明
Ⅰ－8	建築風工学　耐風構造工学　数値流体解析　工学的意思決定論 強風災害軽減	西嶋　一欽 髙舘　祐貴
Ⅰ－9	鋼構造耐震学　極限解析学　建築防災工学	倉田　真宏
Ⅰ－10	構造安全制御学	＊
	計　　画　　系	
Ⅱ－1	建築計画・設計　設計方法・プロセス論　環境行動・心理 医療福祉建築　建築情報学	三浦　　研 酒谷　粋将
Ⅱ－2	建築史　都市史	冨島　義幸 岩本　　馨
Ⅱ－3	国際建築批評学　現代建築史　現代建築論　建築設計	トーマス　ダニエル
Ⅱ－4	建築設計学　建築設計　建築形態論	平田　晃久
Ⅱ－5	建築生産　建築プロジェクトマネジメント　生産設計　建築経済 建築社会システム　生産管理	金多　　隆 西野佐弥香
Ⅱ－6	生活空間設計学　建築論	田路　貴浩 猪股　圭佑
Ⅱ－7a	居住空間学　都市・地域計画　環境再生・共生	神吉紀世子
Ⅱ－7b	住居・住環境計画　居住空間の再編・再生	柳沢　　究
Ⅱ－8	人間生活環境学　建築設計　建築構法計画　建築構法技術史	小見山陽介
Ⅱ－9	人間環境設計論　環境デザイン　地域建築学 自然災害と人間居住	小林　広英 落合　知帆
Ⅱ－10	災害と都市・建築　防災・復興計画論 災害建築・都市のデザイン　危機管理論	牧　　紀男
	環　　境　　系	
Ⅲ－1	温熱環境制御　建築と設備の省エネルギー　文化財保存	小椋　大輔 伊庭千恵美
Ⅲ－2	人間生活環境学	＊
Ⅲ－3	都市と建築空間の環境調整　建築火災安全工学	仁井　大策
Ⅲ－4	音環境　騒音・振動制御　建築音響　環境心理 音とコミュニケーション	大谷　　真
Ⅲ－5	都市防火　自然災害起因の大規模火災　地震火災　津波火災 都市複合災害リスク評価　広域避難計画　レジリエンス解析	西野　智研

＊印は、指導教員が未定であることを示す。*印の分野についての研究内容及び指導教員に関する質問がある場合、建築学専攻長に問い合わせること。
メールでの問い合わせは kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp で受け付ける。

Ⅱ．募集人員

建築学専攻　若干名

Ⅲ．出願資格

募集要項 Part A: 全入試区分共通部分、「II. 出願資格と出願資格の審査」「Ⅱ－ｉ　出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

月　日	曜	時　間	試験科目	概　要
２月９日	火	15:00～16:15	専門科目（計画、構造、環境）	筆答 志望区分に従い、計画、環境、構造の中から１科目を選択

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 配点

科　目	配　点
英語	１００
専門科目	３００
合　計	４００

(2) 英語

TOEFL 試験の成績を 100 点満点に換算する（2026 年 1 月 21 日以降に実施された TOEFL テストについては、0-120 のスコアスケールの素点を使用する）。成績の提出方法その他については、下記の項目を参照のこと。なお、（ⅱ）を提出しなかった場合は、英語の得点は 0 点となる。

（ｉ）2025 年 2 月 1 日以降に実施された TOEFL スコアを有効とする。Test Date scores のみを利用し、MyBest™scores は利用しない。TOEFL-iBT(Internet-Based Test) のみ受け付ける。自宅受験 TOEFL iBT Home Edition や団体特別受験 TOEFL-ITP などの成績は無効とする。

（ⅱ）Institutional Score Report が ETS (Educational Testing Service) から京都大学工学研究科建築学専攻宛に届くようにすること（期限：2 月 5 日（金）17:00）。手続の際には、送付先の Institution Code に B472 を指定し、以下のいずれかの方法をとること。（Institution Code に B472 が指定されていれば、Department Code は、どの番号が指定されていてもよい。）

・TOEFL 試験申込時又は試験前日の 22 時までに ETS に申請する方法（無料）
・TOEFL 試験日以降に ETS に申請する方法（有料）

（ⅲ）2025 年 2 月 1 日以降に実施された Institutional Score Report が複数ある場合には、それらのうち最高点の成績を英語の点数とする。

（iv）受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、事前に C クラスター事務区教務掛（建築系）まで連絡すること。

（v）TOEFL の Institutional Score Report が指定送付先に到着するまでの時間を確認して、十分に時間的余裕を持って早めに受験することを推奨する。TOEFL 試験の詳細についての問い合わせ先は、以下の通り。

https://www.toefl-ibt.jp/index.html

https://www.ets.org/toefl

（vi）Institutional Score Report の到着の有無についての問い合わせには回答しない。

(3) 有資格者及び合格者決定法

(a) 総得点（400 点満点）が 200 点以上の者を有資格者とする。

(b) 有資格者の中から得点と志望区分を総合的に判断して合格者を決定する。

(4) 筆答試験の注意事項

(a) 試験は桂キャンパス C2 棟で行う。詳細は受験票交付時に指示する。

(b) 試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

(c) 試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

(d) 時計（計時機能のみ）の使用は認めるが、アラーム機能は予め切っておくこと。携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。

Ⅵ. 出願要領

出願に先立ち、必ず「志望区分」担当教員に連絡し、受入れについて確認すること。

「志望区分申告書」（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）を願書提出時に別途 C クラスター事務区教務掛（建築系）へ提出すること。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「建築学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記の通りである。いずれのプログラムを履修するかは、合格者の志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。詳細については、募集要項 Part A の『XV. 表 修士課程入学後の教育プログラムと入試区分・専攻』を参照すること。また、教育プログラムの内容については、『X. 修士課程入学後の教育プログラムについて』を参照すること。

○ 修士課程教育プログラム

・建築学専攻

○ 大学院博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）

・デザイン学分野

Ⅷ. その他

訂正や追加指示などが工学研究科または建築学専攻のホームページに掲載される場合があるので、適宜チェックすること。

＜工学研究科ホームページ内の入学試験のページ＞

https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/graduate/exam1

＜建築学専攻ホームページ内の入学試験のページ＞

https://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

問合せ先･連絡先
〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科Ｃクラスター事務区教務掛（建築系）
電話：075-383-2967
E-mail：kenchiku@adm.t.kyoto-u.ac.jp
参照　http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp/

機械工学群（機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻）

Ⅰ．専攻別志望区分

(1) 教育プログラム

修士課程教育プログラム（2 年）、および修士課程と博士後期課程を連携した前後期連携教育プログラム（5 年）を設けている。前後期連携教育プログラムに関する詳細は本募集要項「Part A: X 修士課程入学後の教育プログラムについて」、および工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること。

<table>
<tr><td colspan="2">教育プログラム</td></tr>
<tr><td colspan="2">修士課程</td></tr>
<tr><td rowspan="2">前後期連携</td><td>高度工学コース</td></tr>
<tr><td>融合工学コース</td></tr>
</table>

(2) 専攻別志望区分一覧

専攻	志望区分	研　究　内　容	教育プログラム		
			前後期連携（融合工学コース）*	前後期連携（高度工学コース）	修士課程
機械理工学専攻	1	ヒューマンマシンシステム設計、ソーシャルロボティクス、サイバネティック・アバター、システム工学	a，f	任意の志望区分を選択できる	任意の志望区分を選択できる
	2	適応材料力学、先進材料強度学、複合材料工学、マイクロメカニクス	a，b		
	3	ナノ・マイクロ材料力学、微小材料強度学、ナノ構造体・薄膜、マルチフィジックス	a，b		
	4	環境流体力学、空気力学、大気乱流、混合・拡散、圧縮／非圧縮性乱流、衝撃波	a，c		
	5	熱工学、エネルギー変換、反応を伴う熱・物質・電荷輸送、可視化と計測、数値解析	a		
	6	分光計測学、プラズマ診断、レーザー計測	a，b，c，d，f		
	7	材料力学、環境発電/AI/量子機械デバイス材料機能設計、計算物理学、データサイエンス	a，b		
	8	熱力学、伝熱学、熱流体力学、燃焼工学、環境工学	a，d		

専攻	志望区分	研　究　内　容	教育プログラム		
			前後期連携（融合工学コース）*	前後期連携（高度工学コース）	修士課程
機械理工学専攻	９	乗り物、搭乗型モビリティ、ロボット用メカニズム・機構学、ヒトの動作特性、ハプティクス、ロボット操作、能力マイニング	a，f	任意の志望区分を選択できる	任意の志望区分を選択できる
	１０	ロボット工学、制御工学、ソフトロボティクス、生物規範ロボティクス、生体力学	a，c，f		
	１１	機械機能要素工学、トライボロジー、表面・界面創成、粒状体の界面物理、電磁粒体力学、宇宙探査技術	a，b，f		
	１２	量子ビーム応用、結晶・非晶質材料、高温高圧、宇宙地球物質の合成、中性子回折装置の設計	a，b		
マイクロエンジニアリング専攻	１３	最適システム設計、生産システム、コンピュータ援用設計・生産・解析	a，f		
	１４	生体模倣システム、機械学習、ナノ・マイクロ加工、マイクロ流体力学、細胞・分子生物学	a，c，f		
	１５	ナノ・マイクロシステム、半導体微細加工・デバイス、センサ、アクチュエータ、ナノ構造物理	a，c，f		
	１６	量子ビーム工学、表面・界面物性	a，b		
	１７	複雑適応システム、アクティブマター、生物物理学、計算力学	a，b，c		
	１８	ナノ形態制御、ナノ粒子、ナノワイヤ、光機能デバイス、マイクロ熱流体工学	a，b，d		
	１９	計測工学、精密加工学、加工の知能化、制御理論応用	a，f		
	２０	生体組織・細胞力学、メカノバイオロジー、計算力学、分子力学計測	a，c，f		
	２１	バイオエンジニアリング、マイクロ流体工学、1 細胞生物学、オミクス、遺伝子制御	a，c		
航空宇宙工学専攻	２２	流体力学、高速空気力学、分子気体力学	a		
	２３	非平衡流体力学、希薄気体力学	a		
	２４	電離気体・反応性気体工学、プラズマ理工学、プラズマプロセス工学、宇宙推進工学	a，b		
	２５	システム制御理論、最適制御、非線形制御、システム同定、統計的学習、航空宇宙システム	a，f		
	２６	弾性波動、非破壊評価工学、複合材料・構造、動的破壊力学	a		

*前後期連携教育プログラム（融合工学コース）の対応
a. 応用力学分野
b. 物質機能・変換科学分野　c. 生命・医工融合分野
d. 融合光・電子科学創成分野 e. 人間安全保障工学分野
f. デザイン学分野
※各分野の詳細は、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）参照

Ⅱ．募集人員

機械工学群（機械理工学専攻・マイクロエンジニアリング専攻・航空宇宙工学専攻）　若干名

Ⅲ．出願資格

本募集要項「Part A: Ⅱ－ｉ　出願資格」に記載の条件を満たし、指導予定教員と事前に十分面談を重ね、受入推薦書を交付された者。事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。さらに、修士課程入学後の学習・研究活動を円滑に進めるため、志願者と指導予定教員のディスカッションを通じて研究計画を出願前に明確化する。なお、本機械工学群では、日本の大学を卒業した留学生（卒業見込みを含む）は、8 月に実施の試験を受験することを強く推奨する。その他の留学生は、本試験を受験することを強く推奨する。ただし、いずれの留学生も出願に先立って、下記の VI.(3)まで必ず詳細を問い合わせること。

Ⅳ．学力検査日程

２月９日（火）	９：００～１１：００ 専門科目	１３：３０～ 口頭試問

※ 試験場は桂キャンパスＣクラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 配点と選考方法

科目	配点
英語	１２０点
専門科目	２４０点
口頭試問	２４０点
合計	６００点

専門科目に関する筆記試験、英語に関する TOEFL テストの成績および口頭試問により決定する。

(2) その他

(a) 科目について

（ｉ）英語

筆記試験は行わず、TOEFL テストの成績（120 点満点）で代用する。TOEFL 成績の提出方法その他については、下記の項目(d)およびVI.(2)を参照のこと。

（ii）専門科目

機械力学、流体力学、熱力学、材料力学から出題する。

（iii）口頭試問

専門学識、志望理由、研究計画等に関する口頭試問を行う。

受験者が研究計画を指導予定教員と打ち合わせすることを妨げない。

(b) 合格者の決定法

（ｉ）原則として、総得点が 300 点以上の者を有資格者とする。

（ii）有資格者の成績上位の者から合格者を決定する。

(c) 学力検査に関する注意事項

（ｉ）試験会場や試験に関する注意などは、2027 年 2 月 1 日（月）より桂キャンパスＣクラスターC3 棟 1 階（b 棟）掲示板に掲示する。

（ii）試験開始 20 分前までに試験室に入室すること。

（iii）試験開始後 30 分以上遅刻した者の入室は認めない。

（iv）試験開始後の途中退室は認めない（用便等、一時退室を特別に認める場合を除く）。

（ｖ）時計を持ち込んでよいが、計時機能のみを有するものに限る。
（vi）定規、コンパス、辞書、電卓、およびこれらに類するものの使用は認めない。
（vii）携帯電話等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
（viii）その他の注意は試験室にて与える。

(d) TOEFL 成績の提出について

（ｉ）2025 年 2 月 9 日以降に受験した TOEFL-iBT の成績を有効とする。TOEFL-ITP および TOEFL-iBT Home Edition の成績は受け付けない。以下の項目(ⅱ)および(ⅲ)の手続きにより成績を提出すること。提出がない場合は英語の得点が 0 点となる。2026 年 1 月 21 日以降実施分のスコアが提出された場合には 0-120 のスコアスケールでの素点を用いる。なお、Test Date Scores のみを利用する。

（ⅱ）ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したものを提出すること。

（ⅲ）ETS アカウント（My TOEFL Home）からスコアの電子送付を行うこと。その際、送付先の Institution Code（DI コード）として**「B431」**を指定すること（Department Code の指定は不要です）。2027 年 2 月 4 日(木)までに機械工学群「B431」に届くように、出願者の責任において送付手続きを取ること。なお、電子送付されたスコアの到着の有無についての問い合わせには回答しない。

（ⅳ）原則として、電子送付されたスコアに記載の成績（複数回のスコアが送付された場合は最高点）を英語の点数とする。

（ｖ）英語を母国語とする受験者は、TOEFL 成績の提出を免除することがある。免除を受けようとする場合には、予め下記のⅥ.(3)に詳細を問い合わせること。

（vi）受験資格により TOEFL を受験することが困難な場合は、下記のⅥ.(3)まで連絡すること。

＜参考＞ TOEFL に関するホームページ：
https://www.toefl-ibt.jp/index.html
https://www.ets.org/toefl

Ⅵ. 出願要領

(1) 志望区分の申請

インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望順に志望区分を選択すること。

(2) 機械工学群に提出する書類

本募集要項「Part A: Ⅲ. 出願要領」に記載の工学研究科に提出する出願書類の他に、以下の書類(a)、(b)、(c)を 2027 年 1 月 26 日（火）午後 5 時までに、下記(3)の提出先に提出または送付（必着・書留便）すること。工学研究科に提出する出願書類とは提出先が異なるので注意すること。

※2027 年 1 月 22 日（金）以前の日本の発信局消印がある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合においても受理する。

※様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

(a) 教育プログラム志望調書（様式１）

(b) TOEFL 成績に関する提出書類
項目Ⅴ.(2)(d)に記載の TOEFL テストの Test Taker Score Report を印刷したもの
（なお、項目Ⅴ.(2)(d)に指定した方法で機械工学群への電子送付手続きを別途済ませておくこと）

(c) 志望する指導教員調書（様式２）

志望する指導予定教員の確認印（署名）を得たものを提出すること。(コピー可)
事前コンタクトにおいては、指導予定教員が志願者の希望する学習・研究内容と、指導予定教員の研究活動との整合性の有無を判断する。

(3) 提出先・問い合わせ先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科　Ｃクラスター事務区教務掛（機械工学群）
電話：075-383-3521　E-mail：090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
参照：https://www.me.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admission/exam

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

入試区分「機械工学群」の入試に合格することにより、入学後に履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

博士課程前後期連携教育プログラム	融合工学コース（a.応用力学分野、b.物質機能・変換科学分野、c.生命・医工融合分野、d.融合光・電子科学創成分野、f. デザイン学分野） ※現在、「e.人間安全保障工学分野」を選択できる志望区分は機械工学群にはありません。
博士課程前後期連携教育プログラム	高度工学コース（機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻）
修士課程教育プログラム	機械理工学専攻、マイクロエンジニアリング専攻、航空宇宙工学専攻

各教育プログラムの詳細及び各融合工学コースの各分野の内容については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）および下記項目Ⅷを参照すること。いずれのプログラムを履修するかは、教育プログラム志望調書（様式１）にもとづき、出願の段階で選択する。なお、前後期連携教育プログラムを志望する場合は志望区分の予定教員の内諾が必要である。教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、上記Ⅵ.(3)まで問い合わせること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について（前後期連携教育プログラム高度工学コース・修士課程教育プログラム）

【前後期連携教育プログラム 高度工学コース】

○機械理工学専攻

機械工学の対象はミクロからマクロにわたる広範囲な物理系であり、現象解析・システム設計から製品の利用・保守・廃棄・再利用を含めたライフサイクル全般にわたります。本専攻は、それらの科学技術の中核となる材料・熱・流体等に関する力学（物理）現象の解析および機械システムの設計論に関する教育・研究を行います。未知の局面において、従来の固定観念や偏見にとらわれない自由で柔軟な発想とダイナミックな行動力を有するとともに、機械工学の基礎となる幅広い学問とその要素を系統的に結びつけるシステム設計技術を融合させることができ、かつ、新しい技術分野に果敢に挑戦する、研究者・技術者群のリーダーを育成します。

○マイクロエンジニアリング専攻

微小な機械システムは 21 世紀における人間社会・生活に大きな変革をもたらす原動力です。また、生体は最精密な微小機械の集合です。本専攻は、それらのシステム開発の基礎となる微小領域特有の物理現象の研究をはじめ、微小機械に特有の設計・制御論に関する研究・教育を行います。ナノ・マイクロエンジニアリングのみならず医学・生命科学分野をはじめとする多くの分野に関連

することから、本専攻では、機械工学を取り巻く異分野との融合領域における研究者・技術者を育成します。

○航空宇宙工学専攻

宇宙は21世紀における最大のフロンティアであり、自由な飛行は時代を超えた人類の夢です。その開発と実現を担う航空宇宙工学は、未知なる過酷な環境に対峙する極限的工学分野であり、機械系工学の先端知識を総合した革新的アイデアを必要とします。本専攻は、革新的極限工学としての航空宇宙工学に関する研究とその基礎となる教育を行います。近年の先端工学の発展には、その高度化・複雑化に伴い、従来の工学分野の融合と新分野の創成が不断に求められています。機械系工学群として提供されるより広く多彩な科目およびセミナー科目においてさらに研鑽を深め、より広い視野とより自在で積極的な思考力・応用力をあわせもつ航空宇宙工学分野の高レベルの研究者・技術者を育成します。

【修士課程教育プログラム】

○機械理工学専攻

機械工学の対象はミクロからマクロにわたる広範囲な物理系であり、現象解析・システム設計から製品の利用・保守・廃棄・再利用を含めたライフサイクル全般にわたります。本専攻は、それらの科学技術の中核となる材料・熱・流体等に関する力学（物理）現象の解析および機械システムの設計論に関する教育・研究を行います。本プログラムでは、機械工学およびその基礎工学の研究者・技術者として、学問分野、産業界、社会で求められているニーズに応えるべく、基本的な機械工学およびそれに関連する基礎工学の学理を習得することを目的とし、深い洞察力と知的蓄積を背景にした豊かな創造力を有する研究者・技術者を養成します。

○マイクロエンジニアリング専攻

微小な機械システムは 21 世紀における人間社会・生活に大きな変革をもたらす原動力です。また、生体は最精密な微小機械の集合です。本専攻は、それらのシステム開発の基礎となる微小領域特有の物理現象の研究をはじめ、微小機械に特有の設計・制御論に関する研究・教育を行います。ナノメートルオーダーに代表される微小領域特有の物理現象を解明し、ナノ材料・ナノ構造の作製・加工からマイクロメートルオーダーの微小な機械の構造および機構の作製をはじめ、微小機械システムの設計および開発等の広範囲な分野に通用する能力を有する、研究者・技術者を養成します。

○航空宇宙工学専攻

宇宙は21世紀における最大のフロンティアであり、自由な飛行は時代を超えた人類の夢です。その開発と実現を担う航空宇宙工学は、未知なる過酷な環境に対峙する極限的工学分野であり、機械系工学の先端知識を総合した革新的アイデアを必要とします。本専攻は、革新的極限工学としての航空宇宙工学に関する研究とその基礎となる教育を行います。航空宇宙工学に関する技術的知識の習得よりも基礎学力向上のための教育を重視し、工学基礎全般にわたって十分な基礎学力とそれらを自在に使いこなす豊かな思考力と応用力・創造力を有し、航空宇宙工学をはじめとした先端工学の分野の進歩発展に貢献し先導できる研究者・技術者を育成します。

Ⅸ．教員・研究内容説明書

（機械理工学専攻）

研究内容	区分
機械システム創成学研究室　（塩見教授・中西講師） （１）人と機械システムの相互作用・インタラクションデザイン （２）ソーシャルロボティクス・ソーシャルタッチ・ヒューマンインタフェース （３）サイバネティック・アバターの研究開発と社会実装 （４）無人航空機の自律制御とその安全防災活動への適用 （５）動作データや操作時系列データの解析に基づく技能分析	1
適応材料力学研究室　（西川准教授） （１）材料力学と異分野の融合による先進複合材料のメゾスケール構造制御と高性能化 （２）先進複合材料の固体力学と破壊力学 （３）航空機用高靭化複合材の破壊力学特性発現機構のメゾメカニクス （４）先進複合材構造の設計・製造と最適成形法に関する基礎科学 （５）複合材料の破壊機構解明や構造健全性評価のための理論の展開	2
固体力学研究室　（平方教授・松永助教） （１）ナノ・マイクロスケールの材料強度と材料力学 （２）電子を介した材料強度制御の基礎物理の確立 （３）ナノ構造体・二次元材料・薄膜の機械的特性および物性評価手法の開発 （４）高強度・高機能ナノ構造材料の創製 （５）力学と他の物理現象のマルチフィジックス	3
環境熱流体工学研究室　（長田教授・渡邉准教授） （１）乱流構造とエネルギー輸送現象 （２）乱流と衝撃波の干渉 （３）空気力学（翼周りの流れと揚力／抗力など） （４）高速流中の乱流現象 （５）環境中の乱流拡散現象	4
熱システム工学研究室　（岩井教授・岸本准教授・栗山准教授・郭助教） （１）熱流動場の先端計測・可視化・数値シミュレーション技術の開発 （２）燃料電池・二次電池・触媒反応器内の輸送・反応連成現象に関する研究 （３）ナノ・マイクロ空間および界面における輸送現象の光学計測 （４）複雑３次元構造の詳細解析および機械学習に基づく機能性多孔質体の最適設計 （５）エネルギーの変換・貯蔵に関する新コンセプトの創出と検証	5
光工学研究室　（四竈准教授） （１）分光手法・レーザー計測法の開発 （２）各種プラズマの分光診断・計測 （３）金属膜プラズマ駆動水素透過の分光診断 （４）吸収・発光・散乱スペクトルを利用したセンサー開発 （５）位相制御を用いた波面補償光学	6

研究内容	区分
材料物性学研究室　（嶋田教授・見波助教） （１）材料力学・計算物理学・データ科学に基づく先端デバイス材料機能の研究開発 （２）宇宙・極限環境での材料強度デザイン （３）再生可能エネルギー応用への環境発電材料設計 （４）人工知能(AI)・量子駆動デバイスに向けた量子物質科学・“一億分の１”世界の機械へ （５）機械学習とスーパーコンピュータによるデータ駆動型材料研究技術の開発	7
熱物理工学研究室　（黒瀬教授・ピライ准教授・若林助教） （１）乱流燃焼機構の解明とモデリング （２）混相流に関する運動量・熱・物質の移動現象の解明とモデリング （３）AIを駆使した燃焼モデルと高性能コンピューティング手法の確立 （４）スーパーコンピュータを用いた超大規模数値シミュレーションの実現 （５）電源用ガスタービンやロケット・航空機等エンジンの最適設計に関する研究	8
機構運動工学研究室　（小森教授・寺川准教授・アマル講師） （１）ビークル／乗り物、搭乗型ロボット、搭乗型モビリティ、ライディングロボティクス （２）ロボット用メカニズム(機構)の開発・設計、移動ロボット、自動車用メカニズム （３）ヒトの動作特性の不思議を知る、ハプティクス(触覚・力覚)、ロボット操作、インタフェース開発 （４）ヒトの未知の能力を発見する、能力マイニング、足・脚による操作 （５）動きとアート／デザイン	9
ロボティクス研究室　（細田教授・川節准教授） （１）人工筋駆動ロボットによるマニピュレーション （２）イオンゲル・イオン流体を用いたソフトセンサ （３）ソフトハンドによる物体の識別とマニピュレーション （４）インソールセンサの開発と応用 （５）生物規範ロボット	１０
機械機能要素工学研究室　（平山教授・安達准教授） （１）機械要素の高効率化・高機能化に向けた最適設計指針の提示 （２）低摩擦摺動を可能とする材料／潤滑油／摺動面形状の開発と評価 （３）ナノ／メゾ／マクロを繋ぐ表面・界面のトライボロジー特性計測 （４）粒状体界面現象の解明と制御を目指した機器表面設計指針の構築 （５）電磁粒体力学と粒状体ハンドリングおよび月・火星探査技術への応用	１１
量子ビーム物質解析学研究室（複合原子力科学研究所）　（奥地教授・有馬准教授・梅田助教） （１）中性子線・X線・電子線による物質材料の構造解析技術の研究開発 （２）高温高圧力環境における物質材料の合成とマルチスケールでの構造解析 （３）宇宙空間・地球深部に存在する結晶・非晶質物質の人工合成と解析 （４）高温・高圧力・高ひずみ状態の発生・制御・時間進展計測技術の研究開発 （５）中性子回折装置の設計と工学利用の研究	１２

（マイクロエンジニアリング専攻）

研究内容	区分
構造材料強度学研究室　（泉井教授・林講師・石田助教） （１）複合領域および複合物理問題の最適システム設計 （２）形状・トポロジー最適化 （３）機械製品・生産システムの構想設計法 （４）ユニバーサルデザイン （５）サステナブルエンジニアリング	１３
マイクロバイオシステム研究室　（横川教授・藤本准教授・松本助教） （１）生体分子・細胞計測のためのマイクロ・ナノシステムの設計と加工に関する研究 （２）オンチップ血管網を用いた腫瘍微小環境形成過程の再現と解明 （３）ヒトiPS細胞由来オルガノイドを用いた脳・腎臓の臓器モデル創製と創薬応用 （４）ウイルス感染モデルを用いた組織間相互作用の解明 （５）機械学習を用いた血管網をはじめとする3次元培養組織の形態および形成過程の解明	１４
ナノ・マイクロシステム工学研究室　（土屋教授・廣谷准教授・霜降助教） （１）ナノ・マイクロスケールの材料創成・加工・プロセス・デバイス・システム （２）マイクロセンサ・アクチュエータ（慣性センサ、共振子、光学素子） （３）ナノ・マイクロスケールにおけるエネルギー輸送・変換の計測と制御 （４）ナノ・マイクロ機械デバイスを用いた機械学習システム （５）IoTや生体情報計測のためのフレキシブル・ストレッチャブルデバイス	１５
ナノ物性工学研究室　（中嶋准教授） （１）量子ビームと固体表面の相互作用に関する研究 （２）高分解能イオン散乱分光法の開発と応用に関する研究 （３）高速クラスターイオンと物質の相互作用およびその応用に関する研究 （４）透過型二次イオン質量分析を用いた新しいイメージング質量分析法の開発 （５）高速重イオンを用いた高感度二次イオン質量分析法の開発	１６
生命数理科学研究室　（井上教授・瀬波講師・森川助教） （１）生きものらしさが現れるダイナミクスの解明 （２）複雑適応システムの構造と発展の理論 （３）生命システムの制御機構の解明 （４）生物の形態形成の数理モデリングと工学応用 （５）計算科学に基づいた量子現象の基礎理論の探求と工学応用手法の開発	１７
マイクロ加工システム研究室　（鈴木教授・名村准教授） （１）光熱加熱を活用した相界面ダイナミクスの理解と制御 （２）マイクロ・ナノ気泡力学 （３）ナノ構造がもたらす相界面ダイナミクスと熱・物質輸送機構の理解 （４）物理的な自己組織化法によるナノ形態の制御に関する研究 （５）形態を制御したナノ粒子・ナノワイヤの形成と応用に関する研究	１８
精密計測加工学研究室　（河野准教授） （１）工作機械の運動誤差の計測と補正 （２）サステナブルな計測・加工システムの開発 （３）切削加工プロセスのモデル化とデザイン （４）工作機械の動的・熱的モデルの構築とその応用 （５）Additive Manufacturingの生産加工プロセスへの応用	１９
バイオメカニクス研究室（医生物学研究所）　（安達教授・牧准教授・竹田助教） （１）力学環境に応じた生体システムの構造･機能適応のメカニズム （２）多細胞組織の発生・形態形成の多階層力学モデリングとシミュレーション （３）骨細胞の力刺激感知と細胞間コミュニケーションによる骨リモデリング （４）ゲノム DNA の力学動態を介した細胞運命決定メカニズム （５）細胞内構造の力学制御に基づくマイクロ・ナノマシナリー創製	２０

研究内容	区分
ナノ生物工学研究室（医生物学研究所）　（新宅教授・金子助教・峯岸助教） （１）1細胞生物学のためのナノ・マイクロ流体工学 （２）細胞力学と遺伝子制御 （３）細胞動態と遺伝子発現の時系列計測による遺伝子制御ネットワーク解析 （４）細胞周辺微小環境のin vitro再構築のためのナノ・マイクロ工学 （５）細胞動態と遺伝子発現制御を接続する機械学習プラットフォームの構築	２１

（航空宇宙工学専攻）

研究内容	区分
流体力学研究室　（杉元講師） （１）衝撃波を伴う高速気流解析 （２）高度に希薄な気体の流れの解析 （３）真空に関する流れ場のシミュレーション （４）気体論方程式の数値解法 （５）分子気体効果を利用した気体分離システムの試作研究	２２
流体数理学研究室　（髙田教授・辻准教授・初鳥助教） （１）運動論方程式に基づく流体中の非平衡現象の数理解析とシミュレーション （２）非平衡流体における相反性の理論とその応用 （３）すべり流（希薄気体効果）の理論とその応用 （４）相変化の非平衡動力学とそれによる気体力学の拡張 （５）多孔体内気体輸送の運動論モデリング	２３
推進工学研究室　（江利口教授・占部准教授） （１）プラズマと固体表面との物理的・化学的相互作用に関する基礎研究 （２）固体表面及び微細構造内におけるプラズマからの粒子・エネルギー輸送に関する研究 （３）プラズマプロセスおよび高信頼性デバイス作製技術に関する研究 （４）宇宙推進工学、特に電気推進器の高信頼性化に関する基礎研究 （５）宇宙マイクロ・ナノ工学の創成（超小型推進、高機能材料・デバイスなど）に関する研究	２４
制御工学研究室　（藤本教授・丸田准教授・鹿田助教） （１）最適制御・非線形制御などのシステム制御理論 （２）宇宙機の姿勢制御・最適設計 （３）統計的学習・確率システム制御 （４）制御系設計のためのシステム同定 （５）データ駆動型制御系設計	２５
機能構造力学研究室　（琵琶教授・石井助教） （１）複雑な微視構造・界面を有する固体における弾性波伝搬挙動の解析 （２）フォノニック結晶・音響メタマテリアルによる弾性波機能構造の解析 （３）非線形超音波特性に着目した欠陥・損傷の非破壊評価 （４）超音波スペクトロスコピーによる航空機構造用複合材料の特性評価 （５）高速き裂進展における動的不安定性の解析	２６

原子核工学専攻

Ⅰ．志望区分

研究グループ	志望区分	研究内容	対応する教育プログラム		
			連携教育プログラム（融合工学コース）	連携教育プログラム（高度工学コース）	修士課程教育プログラム
量子エネルギー物理工学 第1グループ	1-1	**エネルギー変換工学** 混相流体科学、環境流体輸送現象、分子熱流体、新型炉・核融合炉エネルギー変換、原子炉システム安全、核融合炉に関連する数値計算モデリング 横峯教授、帆足准教授、成田准教授	応用力学分野	任意の志望区分を選択することができます。	任意の志望区分を選択することができます。
	1-2	**プラズマ物理工学** 核融合プラズマ中の輸送現象、波動によるプラズマ制御、高速イオンとプラズマの相互作用、先進的閉じこめ配位 村上教授、森下助教	応用力学分野		
量子エネルギー物理化学 第2グループ	2-1	**燃材料工学** 原子炉燃料・材料、放射性廃棄物の処理処分、分子モダリティを利用した核医工学、生命科学・医療応用 佐々木教授、淵上教授、小林准教授、面川助教			
	2-2	**重元素物性化学【本区分は今年度募集しない】** 原子炉燃料サイクルの化学、重元素・アルファ放射体の物性化学・医薬応用 山村教授			
量子システム工学 第3グループ	3-1	**量子ビーム科学** 量子ビームによるナノ科学、高速量子現象の物理工学、原子衝突物理学、クラスター粒子応用工学 斉藤教授、間嶋教授、土田准教授、瀬木講師、今井助教、中尾助教	生命・医工融合分野　先端医学量子物理領域		
	3-2	**粒子線医学物理学** 中性子捕捉療法の物理工学、原子炉および加速器システムの医学応用 田中教授、櫻井准教授、高田助教、柿野助教	生命・医工融合分野　先端医学量子物理領域		
量子物質工学 第4グループ	4-1	**量子物理学※** 深層学習による自然科学の理解 小暮助教			
	4-2	**中性子工学** 原子炉・核融合炉材料の中性子照射効果、耐環境セラミック複合材料、中性子スピン干渉・光学現象の研究と応用 檜木教授、田崎准教授			
	4-3	**中性子源工学** 原子力・加速器科学・医学応用のための加速器・研究炉中性子源の研究、加速器物理学、核反応・核変換工学、原子力施設の安全性評価研究 堀教授、石准教授、高橋准教授、山本准教授、上杉助教、寺田助教、浦野助教			
	4-4	**中性子応用光学** 中性子スピン光学応用、中性子位相イメージング、超冷中性子を用いた素粒子原子核実験、新試験研究炉へ向けた分光器・検出器開発 日野教授、中村助教、樋口助教			

詳しい研究内容については、専攻ウェブサイト https://www.ne.t.kyoto-u.ac.jp/ を参照。

※4-2 に配属

Ⅱ. 募集人員

原子核工学専攻　若干名（以下の博士課程前後期連携教育プログラムの募集人員を含む。）

高度工学コース（原子核工学専攻）	若干名
融合工学コース（応用力学分野）	若干名
融合工学コース（生命・医工融合分野 先端医学量子物理領域）	若干名

Ⅲ. 出願資格

募集要項の Part A: II-i を参照のこと。

Ⅳ. 学力検査日程

月　日	時　間	試験科目
2 月 9 日(火)	10：00～12：00	専門基礎（配点 200 点） （力学、量子力学、電磁気学の分野から出題する。）
	13：00～14：30	数学（配点 150 点） (出題範囲は微積分、常微分方程式、線形代数、フーリエ解析、複素解析および特殊関数である。)
	15：00～	口頭試問*(配点 100 点) （語学試験も兼ねる。）

* 連携教育プログラムの口頭試問を含む。

※　試験場は桂キャンパス C クラスターである。詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ. 入学試験詳細

(1) 試験科目

・専門基礎、数学、口頭試問のすべてを受験しなければならない。
・試験科目の内容については、項目Ⅳを参照のこと。

(2) 連携教育プログラムの口頭試問

項目Ⅴ-(1)の口頭試問の後、連携教育プログラムを志望する受験者に、項目Ⅵ-(3)-(b)により提出された資料に基づき、別途口頭試問を行う。

(3) 合格者決定法および志望区分への配属

(a)全試験科目（専門基礎、数学、口頭試問）の総得点が 250 点以上の者を有資格者とする。
(b)有資格者の中から総得点順に募集人員の範囲内で合格者を決定する。
(c)総得点で同得点者があるときは、専門基礎の得点が高い方を上位者とする。
(d)合格者を志望する区分に配属する。
(e)合格者の志望、入試成績に応じて教育プログラムを決定する。

(4) 試験の注意事項

・筆記用具は、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削りおよび消しゴムに限る。
・電卓、辞書およびこれに類するものの持ち込みは認めない。
・携帯電話等の電源は切り、カバンの中に入れて指定された場所におくこと。身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
・試験当日は、試験開始 20 分前までに指定された試験室前に集合すること。なお、試験開始時刻から 30 分以降は入室できない。
・試験室および口頭試問室については、桂キャンパス C クラスターC3 棟 1 階（b 棟および c 棟）掲示板に、2 月 8 日（月）より掲示する。

Ⅵ. 出願要領

(1) 志望区分の申請

・　本専攻出願にあたっては、項目Ⅶの(a)～(e)いずれの教育プログラムを志望する場合も、出

願者の希望する研究テーマが志望区分の研究内容に合致していることを、出願者と志望区分の教員（指導予定教員）の双方によって出願までに確認（事前コンタクト）すること。事前コンタクトは原則として対面で行うこととするが、指導予定教員が適切と判断した場合はリモートで行うこともある。

- インターネット出願システムの入力画面で、履修を志望する教育プログラムと志望順位ならびに志望区分を登録し、項目「指導予定教員に連絡を取った」を選択すること。
- 修士課程教育プログラムを第一志望とする場合、第二志望は登録せずに志望区分を選択すること。
- 博士課程前後期連携教育プログラムを第一志望とする場合、第二志望は修士課程教育プログラムとなる。
- 教員が不明の場合やその他不明なことがあれば、項目Ⅸの入試担当に問い合わせること。

(2) 口頭試問の発表指導

発表指導は行わない。

(3) 試験当日の提出書類

(a) 口頭試問のための資料として、A4 判用紙 1 枚に、受験番号および氏名とともに以下の事項について、日本語または英語で記述したものを提出すること。
・志望する区分（項目Ⅰ）および、その区分を選択した理由。
・受験者自身が興味を持っている科学技術や科学現象に関する解説。

(b) 連携教育プログラムを志望する受験者は、連携教育プログラム口頭試問のための資料として、A4 判用紙 1 枚に、受験番号および氏名とともに以下の事項について、日本語または英語で記述したものを提出すること。
・連携教育プログラムを志望した理由。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

原子核工学専攻の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは以下の通りである。
(a)修士課程教育プログラム　原子核工学専攻
(b)博士課程前後期連携教育プログラム　(高度工学コース)原子核工学専攻
(c)博士課程前後期連携教育プログラム　(融合工学コース)応用力学分野
(d)博士課程前後期連携教育プログラム　(融合工学コース)生命・医工融合分野 先端医学量子物理領域
いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。
詳細については、項目Ⅰを参照のこと。また、教育プログラムの内容については、以下の項目Ⅷおよび、本募集要項記載 Part A: X を参照すること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

【修士課程教育プログラム】

原子核工学専攻では、素粒子、原子核、原子や分子、プラズマなど、量子の科学に立脚したミクロな観点から、量子ビーム、ナノテクノロジー、アトムテクノロジーなど最先端科学を切り開く量子技術を追究するとともに、新素材創製・探求をはじめとする物質開発分野、地球社会の持続的発展を目指すエネルギー・環境分野、より健やかな生活を支える生命科学分野等への工学的応用を展開しています。

修士課程教育プログラムでは、十分な専門基礎学力を有し、明確な目的意識を備えた人材を分野を問わず受け入れ、ミクロな観点からの分析能力と高い問題解決能力を有する研究者、高度技術者の育成を目指します。

入学後は体系的な教育カリキュラムを通して基礎から先端までの幅広い知識を修得させ、修士論文研究を通して問題の発見と解決のための総合的思考能力を育成し、実習やインターンシップ等の実体験などを通して目的意識や問題解決力の涵養を図ります。

【高度工学コース】

原子核工学専攻では、素粒子、原子核、原子や分子、プラズマなど、量子の科学に立脚したミ

クロな観点から、量子ビーム、ナノテクノロジー、アトムテクノロジーなど最先端科学を切り開く量子技術を追究するとともに、新素材創製・探求をはじめとする物質開発分野、地球社会の持続的発展を目指すエネルギー・環境分野、より健やかな生活を支える生命科学分野等への工学的応用を展開しています。

高度工学コースでは、十分な専門基礎学力を有し、明確な目的意識を備えた人材を分野を問わず受け入れ、ミクロな観点からの創造性に富む分析能力とシステムとしての戦略的思考能力を有する先端的研究者の育成を目指します。

入学後は一貫した教育カリキュラムを通して基礎から先端までの幅広い知識を修得させ、自主性を尊重した研究指導、そして国内外の研究機関等との連携を生かした先端的研究教育を通じて国際的視野に立った総合的思考能力と基礎研究から工学的応用までの幅広い展開力を涵養します。

Ⅸ. その他

問合せ先・連絡先

原子核工学専攻 入試担当

電話：C クラスター事務区教務掛 075-383-3521

電子メール：inquiry2027@nucleng.kyoto-u.ac.jp

材料工学専攻

Ⅰ．志望区分

志望区分	研　　究　　内　　容
1	耐食・耐摩耗材料、ポーラス材料、触媒、キラリティ、自己組織化、材料物理化学
2	燃料電池材料、固体イオニクス、チタン製錬、レアメタル製錬、化学熱力学
3	構造材料、塑性変形機構、マイクロスケール力学特性、結晶欠陥、透過電子顕微鏡法
4	バルク・薄膜結晶成長、化合物半導体、太陽電池材料、光物性
5	表面･界面物性、走査トンネル顕微鏡、原子レベル材料物性評価、ナノスケール元素分析
6	計算材料科学、材料情報科学、材料モデリング、材料設計、機械学習、統計熱力学計算
7	耐熱金属間化合物材料、先進電池材料、水素吸蔵・熱電変換材料、結晶格子欠陥、ナノ透過電子顕微鏡法
8	構造用金属材料、塑性加工、熱処理、ナノ・ミクロ組織制御、粒界・界面、機械的性質
9	凝固・結晶成長解析、凝固プロセス、電磁力プロセッシング、リアルタイムイメージング、材料組織解析
１０	磁性物理学、磁性材料、強相関電子系、スピントロニクス、中性子散乱、核磁気共鳴
１１	水溶液プロセス、イオン液体、材料電気化学、湿式非鉄製錬、電池材料、表面機能化
１２	原子間力顕微鏡、溶融金属、界面電気化学、ナノトライボロジー、量子計算科学

Ⅱ．募集人員

材料工学専攻　若干名

Ⅲ．出願資格

募集要項の「Part A: Ⅱ－ｉ　出願資格」を満たす者。

Ⅳ．学力検査日程

２月９日（火）	１０：００～１１：３０ 専門科目（材料科学）
２月１０日（水）	１０：００～ 口頭試問

※試験場は吉田キャンパスである。但し、オンライン開催に変更の可能性もある。
詳細は受験票送付時に通知する。

Ⅴ．入学試験詳細

(1) 配点

英語：100 点　　専門科目：200 点　　口頭試問：200 点

(2) 英語に関する注意

2023 年 8 月 1 日以降に実施された TOEFL (TOEFL-ITP などの団体試験を除く)※1, ※2、TOEIC L&R (TOEIC-IP などの団体試験は不可) または IELTS の成績により評価する。「英語を母語とする旨の宣誓書」が提出された場合、専門科目および口頭試問において英語力の判定を行う。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績もしくは「英語を母語とする旨の宣誓書」が提出されない場合は、別途、試験を実施することがあるので、受け入れ予定の教員に必ず出願前に相談すること。

※1 TOEFL iBT (Special) Home Edition, TOEFL ITP Plus for China の成績提出でも可とする。
※2 My Best スコアの利用を可とする。

(3) 口頭試問に関する注意

卒業研究（あるいはそれに相当するもの）の内容および今後の研究に対する抱負について、10 分以内の発表の準備をすること。発表は試問室のプロジェクターを用い、英語で行うものと

する。また、発表スライドの PDF ファイルを事前に送付すること。詳細は別途指示をする。

(4) 合格者決定法

総得点が 250 点以上の者を有資格者とし、その中から総得点の高い順に合格者を決定する。ただし、いずれか一つの科目の得点がその科目の配点の 1/2 に達していない場合は、成績の如何にかかわらず不合格となることがある。

Ⅵ. 出願要領

志望区分の申請

志望する区分を「Ⅰ. 志望区分」より一つ選び、インターネット出願システムの志望情報入力画面で選択すること。

問合せ先･連絡先

〒615-8540　京都市西京区京都大学桂　　電話 075-383-3521
京都大学工学研究科Ｃクラスター教務掛　　E-mail：090kckyomu2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
（材料工学専攻 web site： http://www.ms.t.kyoto-u.ac.jp/ja）

別途提出書類（様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること）

英語を母国語としない受験者は、TOEFL の成績書（ETS アカウント（My TOEFL Home）からダウンロードした Test Taker Score Report を印刷したもの）、TOEIC の成績証明書（デジタル公式認定証（Digital Official Score Certificate）を印刷したもの）、または IELTS の成績証明書（原本のみ可、コピー不可）を、英語を母語とする受験者は「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式 材工Ｄ）を 2027 年 1 月 7 日（木）午後 5 時（必着）までに大学院工学研究科Ｃクラスター事務区教務掛（材料工学専攻　入試担当）へ提出すること。なお、TOEFL、TOEIC または IELTS の成績もしくは「英語を母語とする旨の宣誓書」を提出しない場合は、受け入れ予定の教員に必ず出願前に相談の上、その旨を連絡すること。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。入試区分「材料工学専攻」の入試に合格することにより履修できる教育プログラムは下記のとおりである。

(a) 博士課程前後期連携教育プログラム　融合工学コース（物質機能・変換科学分野）
(b) 博士課程前後期連携教育プログラム　高度工学コース（材料工学専攻）
(c) 修士課程教育プログラム　材料工学専攻

いずれのプログラムを履修するかは、合格決定後、入学までの適切な時期に志望を調査したうえで、その志望と入試成績に応じて審査の後に決定される。また、教育プログラムの内容については、学生募集要項の「教育プログラムの内容（融合工学コース）」および、次項の「Ⅷ. 教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について（高度工学コース・修士課程教育プログラム）

【高度工学コース】

材料工学では、地球の「資源」や「物質」を有効に活用し、人類、そして地球の未来に役立つ「材料」に変換するための基礎技術と基礎理論を科学し、環境調和を考慮して人間社会を維持、発展させることに貢献することを目指して、新しい材料の開発・設計・製造プロセスに関する先進の教育と研究を行っています。そのために本専攻では、材料プロセス工学、材料物性学、材料機能学の各分野で、電子・原子レベルの元素の結合状態や結晶構造に関する研究から、ナノスケ

ールのクラスター構造、メゾスケールからマクロスケールでの材料組織、マクロスコピックな結晶粒や加工組織や集合組織まで材料に関わる先進の教育研究を推進し、我が国が抱える緊急かつ重要な課題である環境、エネルギー、資源などの問題に、材料科学的な独自の視点で思考し、課題を設定し解決することができる、高い能力を持った研究者・技術者を育成しています。

【修士課程教育プログラム】

現代の高度技術社会を支えている先端材料のほとんどは、電子、原子、ナノ、ミクロといった階層構造を理解し､それを的確に制御することで初めて発現する特異な機能を利用したものです。この構造と機能を関係づける物理を理解すること、そして自然環境との調和を最大限配慮した材料開発のために必要となる包括的な学問体系が材料工学です。材料工学専攻の修士課程では、材料工学の基礎及び応用分野における専門教育を行うとともに、研修や各種セミナー等に参加することを通じて幅広い知識の獲得と視野の拡大を図ります。さらに修士論文研究を通じて高い問題解決能力を有する研究者や高度技術者を育成します。

Ⅸ. その他

携行品

受験票、筆記用具（電卓の持込は不可）

【注意事項】

携帯電話，スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく試験室に持ち込まないこと。持ち込む場合は、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合、不正行為とみなされることがあります。

研究内容説明

研究内容	区分
材料設計工学講座　材料設計工学分野 （1） 耐食・耐摩耗性能を有する多元系合金の湿式コーティング研究 （2） 陽極酸化による半導体材料表面への微細構造形成 （3） 合金や炭素からなる触媒の設計と表面処理への応用 （4） キラリティを有する金属ナノ材料の創製 （5） 金属や半導体の微細構造形成における自己組織化現象	第1
材料プロセス工学講座　表面処理工学分野 （1） 中温型燃料電池の実現に向けた高伝導固体電解質の探査 （2） 固体中のイオン伝導メカニズム （3） 高速チタン製錬法 （4） リチウムイオン電池などの資源循環研究 （5） 銅、ニッケル、希土類などの製錬プロセスの高効率化	第2
材料プロセス工学講座　物質情報工学分野 （1） 硬質結晶性材料の塑性変形機構 （2） 原子分解能走査透過電子顕微鏡法 （3） 硬質結晶性材料を強化相として含む構造用金属材料の塑性変形機構 （4） マイクロスケール機械試験法を用いた変形機構解析 （5） ハイ/ミディアム・エントロピー合金の欠陥構造と力学特性	第3
材料プロセス工学講座　ナノ構造学分野 （1）多元系材料におけるバルク結晶成長 （2）半導体材料における成膜プロセスの開発 （3）化合物半導体における光物性 （4）化合物太陽電池におけるデバイス構造の構築と高効率化	第4
先端材料物性学講座　先端材料物性学分野 （1） 走査トンネル顕微鏡による材料組織評価 （2） 表面・界面物性 （3） ナノスケール元素分析 （4） 新規ナノ計測手法の開発 （5） 走査トンネル顕微鏡を用いた表面反応機構の解明	第5

材料物性学講座　量子材料学分野 （1） 材料モデリング手法の開発 （2） 第一原理計算からの熱統計力学計算手法の開発 （3） 第一原理計算に基づいた材料インフォマティクス （4） 機械学習を活用した構造探索手法の開発 （5） 計算科学に基づいた新材料と機能の探索	第６
材料物性学講座　結晶物性工学分野 （1） 結晶欠陥、転位と力学特性 （2） 次世代耐熱構造用金属間化合物の変形機構 （3） 先進電池材料における固体イオニクス界面の微細構造と電池特性 （4） エキゾチック化合物の水素吸蔵、 熱電変換機能 （5） 結晶欠陥のナノスケール電子顕微鏡法	第７
材料物性学講座　構造物性学分野 （1） ナノ組織制御による強度と延性・靭性を両立させた構造用金属材料の実現 （2） 巨大ひずみ加工など新規プロセスによるバルクナノメタルの創製 （3） バルクナノメタルの相変態・析出・再結晶挙動と力学特性の解明 （4） ヘテロ構造金属材料の変形挙動およびその力学特性発現機構の解明 （5） 金属材料の水素脆性の解明	第８
先端材料機能学講座　先端材料機能学分野 （1） 凝固・結晶成長機構の実証的解明と材料プロセスへの応用 （2） 固液共存領域における力学特性の発現機構の解明と制御 （3） 外場を利用した材料プロセッシング原理の確立と組織制御への応用 （3） 放射光などを利用した材料構造・組織評価法の開発 （4） 実証データに基づいた物理モデルの構築とシミュレーション	第９
材料機能学講座　磁性物理学分野 （1） 電子相関が強い系での新たな量子現象・新たな機能の探索 （2） フラストレート系・ランダム系・低次元磁性体の物理 （3） スピン流の新たな物理の開拓 （4） 希土類元素を含まない新たな磁性材料の開発 （5） 中性子散乱・核磁気共鳴・メスバウア分光等による微視的磁性評価	第１０
材料機能学講座　材質制御学分野 （1） 酸化還元反応ならびに酸-塩基反応を用いる水溶液系薄膜形成とその熱力学 （2） 自然順応型イオン液体を溶媒とする表面修飾ならびに機能化技術の研究 （3） 電解採取や電解精製をはじめとする湿式非鉄製錬技術の高度化と高効率化 （4） 次世代電池をめざした高容量金属負極材料の設計と開発 （5） 多孔質電極の作製とその利用における微小空間の電気化学	第１１
材料機能学講座　機能構築学分野 （1） 液中原子間力顕微鏡法の開発 （2） 溶融金属/固体界面の原子スケール物理化学 （3） 原子間力顕微鏡による界面電気化学 （4） 液中ナノトライボロジー （5） 第一原理統計熱力学に基づく材料設計手法の開発	第１２

2027 年 2 月実施入試（冬入試）

電気電子デジタル理工学専攻

修士課程教育プログラム

I. 専攻別試験区分

修士課程教育プログラム

II. 募集人員

若干名

III. 出願資格

募集要項「Part A: II-i 出願資格」に記載の条件を満たす**国費留学生等（私費留学生は除く）**。
受け入れ内諾を得た研究室に事前連絡のうえ、指導希望教員に出願許可を得ることを必須とする。
※京都大学以外の大学に所属の国費留学生については、所属大学に国費留学生奨学金延長申請状況を問い合わせることがある。
※2027 年 4 月 1 日時点で、国費留学生等（私費留学生は除く）である者のみ、合格後、入学を許可する。

IV. 学力検査日程

修士課程教育プログラム

期　日	時　間	試 験 科 目（口 頭 試 問）
2 月 10 日（水）	10：00～12：00 における いずれかの時間帯（20 分）（※）	数学
	10：00～12：00 における いずれかの時間帯（20 分）（※）	電磁気学

（※）ただし、状況によってこの時間帯を超える可能性がある。

試験場は桂キャンパス A クラスターである。試験は対面で実施する（オンライン試験は非実施）。**試験室等の詳細は受験票送付時に通知**する。

V. 入学試験詳細

(1) 修士課程教育プログラムの試験科目

英語：配点 30 点
筆記試験は行わず、TOEIC、TOEFL または IELTS の成績で代用する。
提出方法については、項目「VI. (1) (c) 英語成績証明書」を参照のこと。

口頭試問

数学：配点 100 点
微積分（一変数関数・多変数関数の微積分）、常微分方程式、線形代数（行列と連立一次方程式、ベクトル空間、行列の固有値と対角化）、複素関数論、フーリエ解析

電磁気学：配点 100 点
静電界、静磁界、電磁誘導、荷電粒子の運動、マクスウェルの方程式と電磁波

(2) 有資格者決定法および志望区分への配属

修士課程教育プログラム
英語および数学・電磁気学に関する口頭試問の総得点（230 点満点）が 115 点以上で、さらに日本語・英語力が修学に支障なきものと認められる者を有資格者とし、有資格者の中から総得点に応じて合格者を決定する。

口頭試問の注意事項
・使用できるのは、時計（時計機能のみのもの・スマートウォッチは不可）・眼鏡に限る。
・電卓、辞書、定規およびこれに類するものの使用は認めない。
・携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器類は、なるべく持ち込まないこと。
持ち込む場合には、電源を切り、かばんにしまって所定の場所に置くこと。
身につけている場合、不正行為と見なされることがあるので注意すること。
・受験票送付時に連絡する試験開始時刻以降は入室できない。

VI. 出願要領

(1) 修士課程教育プログラム
・以下の(a), (b), (c)の書類全てを「VI. (2) 別途書類提出先」へ提出すること。
・工学研究科に提出する出願書類の提出先は異なることに注意すること。
・郵送の場合は**「書留」**又は**「簡易書留」**とすること（学内便不可）。
・様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

(a) **志望研究室申告票**（様式 1）
1 月 14 日（木）17 時必着（厳守）
志望研究室を選択すること。

(b) **英語成績証明書**
2 月 1 日（月）16 時必着（厳守）
以下のいずれかを提出すること。ただし、**本入学試験受験日当日（2027 年 2 月 10 日）から過去 2 年以内に受験した証明書に限る**。英語を母国語とする受験者も提出が必要である。提出後の変更は認めない。提出された成績証明書は、口頭試問終了後に返却する。なお、受験資格等の問題で TOEIC 等を受験することが困難な場合は、予め問合わせること。

・**TOEIC の成績証明書 (Test Report Form)**
TOEIC Listening & Reading 公開テストのみ有効とする。団体試験である TOEIC-IP は不可。公式認定証(Official Score Certificate) の原本のほか、デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) を印刷したものも受け付ける。いずれの場合も、紙媒体で提出すること。

・**TOEFL の成績証明書 (Test Taker Score Report)**
TOEFL-iBT のみを有効とする。TOEFL iBT Home Edition および団体試験である TOEFL-ITP は不可。なお、**Test Score を利用**し、MyBest™ Scores は利用しない。成績証明書は、My TOEFL Home を通じて提出すること。提出先の DI コードは「G147」である。

・**IELTS の成績証明書 (Test Report Form) の原本**
Academic Module のみを有効とする。

(2) 別途書類提出先・問合わせ先
〒615-8510 京都市西京区京都大学桂
京都大学桂キャンパス A クラスター事務区教務掛（電気系）
電話：075-383-2077
E-mail：090kakyomudenki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
（問合わせの際は「電気電子デジタル理工学専攻志望」と記載すること）
HP: https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/ja/index.html

VII. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には 3 種類の教育プログラムが準備されている。**本入学試験合格者が選択できるのは「(a) 修士課程教育プログラム」のみ**であるが、入学後に一定の審査を経て、修士課程在学中に「(b), (c) 博士課程前後期連携教育プログラム」に移行できる場合がある。

(a) 修士課程教育プログラム（電気電子デジタル理工学専攻）
(b) 博士課程前後期連携教育プログラム 融合工学コース（融合光・電子科学創成分野）
(c) 博士課程前後期連携教育プログラム 高度工学コース（光・電子理工学）

教育プログラムの内容については、工学研究科 HP（「工学研究科教育プログラム」
https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69/dosj69-en?set_language=en）および
「VIII.教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

VIII. 教育プログラムの内容について

【修士課程教育プログラム】

本系専攻においては、電気・システム・生体工学、光・量子・電子理工学などの専門分野において、基礎学問の発展と深化を図るとともに、デジタル技術と相乗的融合により新たな学際フロンティアを創出する、高度な専門性と豊かな創造性を兼ね備えた人材の育成を目的とした教育と研究を行います。具体的には、自動制御、生体医工学、超伝導現象の諸応用、電気電子回路、大規模シミュレーション、電波科学、超伝導材料、半導体機能材料、有機ナノ電子物性、電子・光・スピン・量子状態の制御に関する教育と研究に加えて、データサイエンス、サイバーフィジカルシステム、グリーンテクノロジーに関する教育と研究を通じて、基盤から先端技術に至る体系的な知識を身につけ、工学技術開発の基本を体得することを目標とします。以上により、現実世界と仮想世界との融合に貢献し得る、柔軟かつ豊かな創造性と幅広い視点、そして先進的な志向を備えた高度情報専門人材を育成します。

【融合工学コース（融合光・電子科学創成分野）】

21 世紀においては全世界規模で情報処理量とエネルギー消費が爆発的に増大し、既存の材料・概念で構成されるハードウェアの性能限界と地球資源の枯渇が顕著になると予測されています。このような課題を解決し、光・電子科学分野で世界を先導するためには、電気工学、システム工学、電子工学、量子物性工学、材料科学、化学工学、光機能工学、集積システム工学、量子物理工学、デジタル工学など複数分野を融合して新しい学術分野を開拓し、かつ当該分野を牽引する若手研究者、高度技術者を育成することが重要です。

本教育プログラムでは、光・電子科学に関わる融合領域を開拓する教育研究を通じて、新しい学術分野における高い専門的知識・能力に加えて、既存の物理限界を超える概念・機能を創出する革新的創造性を備えた人材の育成を目指します。究極的な光子制御による新機能光学素子や高効率固体照明の実現、極限的な電子制御による耐環境素子や超集積システムの実現、光・スピン・イオンを用いた新機能素子や新規プロセスの開発、強相関電子系物質や分子ナノ物質の創成と物性制御、高密度エネルギーシステムの制御とその基礎理論、新しい物理現象を用いたナノレベル計測とその学理探求、高度なデジタル技術を活用した機能デバイスの設計などの融合分野において、常に世界を意識した教育研究を推進します。様々な分野で世界的に活躍する教員による基盤的および先端的な講義、各学生の目的に応じたテーラーメイドのカリキュラムやインターンシップ等を活用した教育、光・電子理工学教育研究センターの協力を得て行う先端的融合研究を通じて、広い視野と高い独創性、国際性、自立性を涵養し、光・電子科学分野を牽引する人材を育成します。

【高度工学コース（光・電子理工学）】

現実世界と仮想世界が高度に融合した次世代の社会システムを実現するために必要となる、ハードウェアとソフトウェアの基礎から最先端研究レベルまでの学習とともに、デバイスからシステムまで発展する電気電子デジタル理工学分野のフロンティアにおける科学技術の修得を通して、広範な科学知識と豊かで弾力ある創造性を兼ね備えた人材を育成します。このプログラムの推進する教育及び研究は、光においては、任意の波長、強度、方向の、発光及び受光を可能にして光を自在にあやつり、電子においては、これまでの概念を超えるデバイスや量子効果などを通して、光と電子を極限まで制御することとその理解を目的とします。フォトニック結晶やワイドギャップ半導体、分子ナノデバイスや量子凝縮系デバイスなどの新規材料・デバイス創成、パワーデバイス、電子・光・イオンによる革新的ナノプロセスなどに加えて、超伝導、電磁界解析、システム制御、データサイエンスなどの最先端応用である、低環境負荷なエネルギーシステムの構築、機械学習と高度に融合した生体センシングなど、世界でトップクラスの研究成果を挙げている分野で教育と研究を推進することにより、博士号取得の段階で、自立し、幅広い専門知識を有し、国際的に通用する一流の人材を育成します。

※*Translation Disclaimer*

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents,accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Entrance Examination in February 2027 (Winter Entrance Examination) Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering

Master's Course Program

I. **Examination Category**

Master's Course Program

II. **Enrollment Capacity**

A few positions available.

III. **Application Eligibility**

Applicants must be **international students receiving Japanese Government (MEXT) Scholarships or similar scholarships** who satisfy the requirements described in "Part A: II-i Eligibility" of the Application Guidelines, except for privately financed international students.

You must make contact in advance with a research lab that has given preliminary approval of acceptance and obtain permission to submitting the application from their prospective supervisor.

※For international students receiving Japanese Government (MEXT) Scholarships who are enrolled at universities other than Kyoto University, the Educational Affairs Division may contact your affiliated universities to inquire about the status of your applications for an extension of the MEXT Scholarships.

※As of April 1, 2027, only international students receiving MEXT Scholarships (excluding privately funded international students) are admitted after acceptance.

IV. **Examination Schedule**

Master's Course Program

Date	Time	Examination subject (oral examination)
February 10 (Wednesday)	A time slot (20 minutes) between 10:00 and 12:00*	Mathematics
	A time slot (20 minutes) between 10:00 and 12:00*	Electromagnetics

*The examination may be extended beyond the specified period.

The examination venue is the A Cluster of the Katsura Campus. The examination shall be conducted in person (no online option available). **Further details will be provided when the examination voucher is sent**.

V. **Examination Details**

(1) Examination Subjects for Master's Course Program

English: 30 points

No written examination is held. Your TOEIC,TOEFL or IELTS score will be used instead.

Refer to "VI. (1) (c) English Score Certificate" for instructions on score submission.

Oral Examinations

Mathematics: 100 points

Differential and integral calculus (calculus of univariate and multivariate functions), ordinary differential equations, linear algebra (matrices and simultaneous linear equations, vector spaces, eigenvalues and diagonalization of matrices), complex function theory, and Fourier analysis

Electromagnetics: 100 points

Electrostatic fields, static magnetic fields, electromagnetic induction, motion of charged particles, and Maxwell's equation and electromagnetic waves

(2) Candidate Determination and Research Area Assignment

Master's Course Program

Applicants who achieve a total score of 115 points (out of 230 points) or higher on English and the oral examinations about mathematics and electromagnetics, and whose Japanese and English proficiency is deemed sufficient for academic studies, shall be qualified as candidates. Successful candidates shall be then selected based on their total scores.

Important notes regarding the oral examinations

- Only watches (with clock function only; smartwatches are not permitted) and eyeglasses may be used.
- The use of calculators, dictionaries, rulers, and similar items is not permitted.
- Avoid bringing electronic devices such as cell phones, smartphones, or smartwatches.
  If you bring such devices, turn them off, place them in their bag, and leave the bag in a designated area.
  Note that carrying or wearing such devices may be considered cheating.
- You will not be admitted after the starting time of your exam provided when the examination voucher is sent.

VI. **Application Instructions**

(1) Master's Course Program

- Download the forms from the Graduate School of Engineering website.
- Submit all documents listed in (a), (b), and (c) below to "VI. (2) Additional Document Submission Address".
- Note that the submission address for application documents to the Graduate School of Engineering is different.
- If mailing, use "**Registered Mail**" or "**Simplified Registered Mail**" (internal campus mail is not acceptable).

(a) **Research Laboratory Declaration Form** (Form 1)

Must be submitted by 5:00 PM on January 14 (Thursday) (no late submissions accepted)

Select the laboratory of your first choice.

(b) **English Score Certificate**

Must be submitted by 4:00 PM on February 1(Monday) (no late submissions accepted)

Submit one of the following. **Only certificates for tests taken within the past two years prior to the entrance examination date (February 10, 2027) are valid**. Applicants whose native language is English must also submit a certificate. No changes will be accepted after submission.

Submitted certificates will be returned after the oral examinations. If you encounter difficulties taking the TOEIC or similar exams due to eligibility issues or other problems, inquire in advance.

- **<u>TOEIC Test Report Form</u>**

Only TOEIC Listening ＆ Reading Test is valid. The institutional TOEIC-IP is not acceptable. In addition to the

original Official Score Certificate, printed copies of the Digital Official Score Certificate will also be accepted. In either case, submission must be on paper.

・**TOEFL Test Taker Score Report**

Only TOEFL iBT is valid. TOEFL iBT Home Edition and the institutional TOEFL-ITP are not acceptable. **Test Score will be used** and MyBest™ Scores will not be used. The report must be submitted through My TOEFL Home. The DI code of the recipient is "G147".

・**IELTS Test Report Form (Original)**

Only Academic Module is valid

(2) Additional Document Submission Address / Contact Information

Educational Affairs Division (Electrical and Electronic Engineering),
A Cluster Office Bldg., Katsura Campus, Kyoto University
Kyoto-daigaku-katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510, Japan
Telephone: +81-75-383-2077
E-mail: 090kakyomudenki@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp
(When contacting, state that your inquiry is related to admission to the Department of Electrical, Electronic and Digital Science and Engineering)
HP: https://www.ee.t.kyoto-u.ac.jp/en?set_language=en

VII. **Selection of Educational Program after Enrollment**

Three programs are offered in the Master's Course. **Successful candidates of this entrance examination can only select "(a) Master's Course Program"**, but they may be able to transfer to "(b), (c) Integrated Master's-Doctoral Course Programs" after successfully passing a screening process after enrollment.

(a) Master's Course Program (Electrical, Electronic and Digital Science and Engineering)
(b) Integrated Master's-Doctoral Course Program: Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics Science)
(c) Integrated Master's-Doctoral Course Program: Advanced Engineering Course (Photonics and Electronics Science and Engineering)

For detailed information, refer to the Graduate School of Engineering website ("Educational Programs": https://www.t.kyoto-u.ac.jp/en/education/graduate/dosj69/dosj69-en) and "VIII. Educational Programs".

VIII. **Educational Programs**

【Master's Course Program】

This department conducts education and research to foster professionals with both advanced expertise and rich creativity. We strive to advance and deepen fundamental knowledge in specialized fields such as electrical, systems, and biomedical engineering, as well as optical, quantum, and electronic engineering, while creating new interdisciplinary frontiers through synergistic integration with digital technology. Specifically, we conduct education and research in areas such as automatic control, biomedical engineering, applied superconductivity, electrical and electronic circuits, large-scale simulation, radio science, superconducting materials, functional semiconductor materials, organic nano-electronic properties, and control of electronic, optical, spin, and quantum states. Additionally, through education and research in data science, cyber-physical systems, and green technology, we aim to equip students with systematic knowledge ranging from foundational to cutting-edge technologies and to help them master the fundamentals of engineering technology development. Through these efforts, we aim to cultivate highly skilled information professionals equipped with flexible and rich creativity, a broad perspective, and an advanced mindset—individuals capable of contributing to the convergence of the real and virtual worlds.

【Interdisciplinary Engineering Course (Interdisciplinary Photonics and Electronics Science)】

In the 21st century, it is predicted that the volume of information processing and energy consumption will increase explosively on a global scale. This will bring the performance limitations of hardware built on existing materials and concepts, as well as the depletion of the earth's resources, into sharp focus. To contribute to solving these challenges and to lead the world in the field of opto-electronic science, it is crucial to pioneer new academic fields by integrating multiple diverse disciplines—such as electrical engineering, systems engineering, electronic engineering, quantum materials engineering, materials science, chemical engineering, optical functional engineering, integrated systems engineering, quantum physics engineering, and digital engineering—and to cultivate the young researchers and highly skilled engineers who will drive these fields forward.

This educational program, through education and research that pioneers interdisciplinary areas in opto-electronic science, aims to cultivate individuals who possess not only a high level of specialized knowledge and ability in new academic fields, but also the innovative creativity to generate concepts and functions that surpass existing physical limitations. We will promote globally-conscious education and research in convergent fields, including: realization of novel optical devices and high-efficiency solid-state lighting through ultimate photon control, realization of environment-resistant devices and ultra-large-scale integrated systems through extreme electron control, development of novel functional devices and new processes using light, spin, and ions, creation and property control of strongly correlated electron systems and molecular nano-materials, control of high-density energy systems and its fundamental theory, nano-level measurement using new physical phenomena and the exploration of its scientific principles, design of functional devices utilizing advanced digital technologies.

Through foundational and advanced lectures by our internationally distinguished faculty, an educational approach utilizing tailor-made curricula and internships suited to each student's goals, and cutting-edge interdisciplinary research conducted in cooperation with Photonics and Electronics Science and Engineering Center, we will nurture a broad perspective, high originality, a global mindset, and independence. In doing so, we will cultivate the next generation of leaders in the field of opto-electronic science.

【Advanced Engineering Course (Photonics and Electronics Science and Engineering)】

To realize the next-generation social systems in which the real and virtual worlds are highly integrated, we cultivate individuals who possess both broad scientific knowledge and a rich, flexible creativity. This is achieved through a curriculum that covers everything from the fundamentals of hardware and software to the most advanced research, and through the mastery of science and technology at the frontiers of the electrical, electronic, and digital science and engineering fields, spanning from devices to systems. The education and research promoted by this program aim for the ultimate control and understanding of light and electrons. In photonics, our goal is to manipulate light at will, enabling the emission and detection of light of any wavelength, intensity, and direction. In electronics, we aim to transcend conventional concepts through novel devices and quantum effects. We advance education and research in fields where we have achieved world-class results. This includes the creation of new materials and devices such as photonic crystals, wide-gap semiconductors, molecular nano-devices, and quantum condensate devices; innovative nano-processes using power devices, electrons, photons, and ions; and cutting-edge applications of superconductivity, electromagnetic field analysis, system control, and data science. Specific application areas include the construction of low-environmental-impact energy systems and biosensing highly integrated with machine learning. Through this program, we cultivate individuals who, by the time they obtain their doctorate, are independent, possess broad expertise, and are top-tier professionals capable of succeeding internationally.

化学理工学専攻

Ⅰ．トラック別志望区分

１．物理・量子化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
301	**量子理論化学分野** **教授 佐藤啓文　准教授 森俊文** **講師 NGUYEN, Thanh Phuc　助教 杉山佳奈美　浦谷浩輝** 量子化学・統計力学理論の開発と応用，溶液，蛋白質など凝縮系・材料における化学反応・化学過程のダイナミクスと機構の解明	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
302	**分子理論化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
303	**量子機能化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
304	**触媒反応化学分野** **教授 寺村謙太郎　准教授 井口翔之　助教 浪花晋平** 不均一系および均一系触媒開発の基礎化学，光触媒化学および環境触媒化学，酸化還元触媒，固体酸塩基触媒，触媒反応ダイナミクス，触媒物性と機能発現	—		
305	**光有機化学分野** **准教授 東野智洋** **助教 OSTERLOH, William Ryan** 人工光合成系の構築，有機太陽電池の開発，ナノカーボン材料の創製，典型元素の特徴を活かした機能性有機材料の開発	—		
306	**物性物理化学分野** **教授 関修平　准教授 田中隆行　助教 筒井祐介** 物性物理全般（光機能分子設計・物性計測・反応解析・活性化過渡種），高分子物性，分子集合体物性，ナノ構造物性	—		
307	**量子物質科学分野** **教授 水落憲和　准教授 森岡直也　古板恭子** **助教 西川哲理** 無機スピンーフォトニクス材料の創製，ダイヤモンド中の発光中心，超高感度・超高分解能センサ，バイオイメージング	—		
308	**分子レオロジー分野** **教授 石毛亮平** 高分子に関わるソフトマター物理化学，液晶場を活用した高分子の配列・配向制御とそれに基づく機能化，散乱法と各種分光法を駆使した高分子の構造解析と構造－物性相関の解明	—		
309	**有機分子材料分野** **教授 梶弘典　准教授 鈴木克明　助教 CHOI, Heekyoung** 有機デバイス（特に有機 EL）の創製と基礎科学の構築，有機デバイス応用のための量子化学計算, 有機合成, 固体 NMR および DNP-NMR による構造―有機デバイス機能相関の解明	—		
310	**量子分子科学分野** **教授 佐藤徹** 振電相互作用，機能性分子の理論設計，反応性指標	—		
311	**細孔物理化学分野** **教授 SIVANIAH, Easan** **講師 NAMASIVAYAM, Ganesh Pandian** 多孔質物質の水の浄化への応用，多孔性物質のガス分離への応用	—		
504	**物理有機化学分野** **教授 松田建児　講師 東口顕士　助教 清水大貴** 物理有機化学，有機機能材料化学，有機ナノテクノロジー，超分子光化学，光応答分子システム，分子エレクトロニクス材料	—		
605	**エネルギープロセス工学分野** **教授 田辺克明　助教 宮本奏汰** 計算材料科学，プロセスインフォマティクス，再生可能エネルギー，成形加工，材料構成則，太陽電池，水素貯蔵，核融合，宇宙用デバイス，機能性高分子	応用力学分野		

2．有機化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
104	**有機反応化学分野** **教授 大宮寛久　准教授 長尾一哲　助教 村上翔** 有機反応化学，有機合成，創薬化学，ケミカルバイオロジー	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
105	**有機分子化学分野** **教授 中尾佳亮　助教 柏原美勇斗　加藤夏己** 有機合成，有機金属，触媒反応，電子共役材料，有機元素化学	—		
204	**基礎炭化水素化学分野** **准教授 三木康嗣　助教 MU, Huiying** 高機能性造影剤による腫瘍イメージング，生体内環境を可視化する分子プローブの開発	—		
205	**先端医工学分野** **准教授 木村祐　助教 三浦理沙子** 疾患特異的分子プローブ，および診断と治療を同時に実現するセラノスティクスプローブの設計・合成・機能評価，均一系触媒を用いる機能性分子の原子効率的合成	生命・医工融合分野		
207	**触媒有機化学分野** **教授 藤原哲晶　講師 仙波一彦** 新規遷移金属錯体触媒の開発，反応機構解明ならびに機能開拓、環境保全に資する高効率分子変換反応の開発	—		
209	**有機分子変換化学分野** **教授 中村正治　准教授 磯崎勝弘** **講師 PINCELLA, Francesca　助教 道場貴大** 新たな有機金属反応活性種の創出と新規機能性有機分子および超分子の創製による化学資源活用型の有機合成反応の開発	—		
210	**構造有機化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
211	**遷移金属錯体化学分野** **教授 大木靖弘　助教 谷藤一樹　伊豆仁** 遷移金属クラスター錯体の設計・合成および反応性開拓，金属−硫黄タンパクの生物無機化学，エネルギー変換を志向した分子触媒の開発	—		
213	**有機機能化学分野** **教授 深澤愛子　准教授 PACKWOOD, Daniel** 光・電子機能性有機材料の創製を指向した新奇パイ共役分子の設計・合成法開発と集合体機能の探求，電子受容性炭化水素の創製と機能開拓，特異な電子状態をもつ共役電子系の創製	—		
501	**有機設計学分野** **教授 杉野目道紀　准教授 LINTULUOTO, Juha** **講師 山本武司　助教 良永裕佳子** 新反応開拓，機能分子の合成化学，新規有機金属反応剤のデザイン及び創製，新規精密重合反応の開拓，新しい触媒的不斉反応システムの開拓，キラルらせん高分子の機能開拓	—		
502	**有機合成化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
503	**機能化学分野** **教授 生越友樹　助教 加藤研一　大谷俊介** 分子空間化学，超分子材料化学，超分子触媒の開拓，カーボン空間材料の創製，高分子リン光物質の創製	—		
505	**有機金属化学分野** **教授 石田直樹　助教 奥村慎太郎** 有機化学および有機金属化学における新現象の発見，社会的な要求に応える合成反応と機能性有機化合物の開発	—		

３．無機・分析化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
１０１	**機能材料設計学分野** **教授 藤田晃司　准教授 YI, Wei　助教 小畑由紀子** 機能材料の設計，無機合成化学，無機材料の精密構造解析	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
１０２	**無機構造化学分野** **准教授 下間靖彦** 無機構造化学，レーザー化学，アモルファス工学，機能性ナノ材料	—		
１０３	**応用固体化学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
２０１	**固体化学分野** **教授 陰山洋　准教授 高津浩　ZHU, Tong　助教 加藤大地** 固体化学を基盤とする複合アニオン化合物や水素材料等の新物質開発と合成法の開拓，超伝導体，磁性体，誘電体，電池材料，触媒などの新機能創出	—		
２０２	**工業電気化学分野** **教授 安部武志　助教 宮原雄人　坂本遼** 電気化学，リチウム電池や燃料電池の反応とその材料，界面における電子・イオンの移動，イオン導電性材料，ナノ材料の合成	—		
２０３	**機能性材料化学分野** **准教授 西直哉　助教 横山悠子** 界面科学，界面現象と界面構造形成，界面の分光化学的解析，油水２相系およびイオン液体をもちいる機能性柔軟界面の構築	—		
２０６	**触媒機能化学分野** **教授 阿部竜　講師 鈴木肇** 太陽光エネルギー変換・人工光合成のための新規光触媒開発，環境汚染物質浄化のための光触媒・触媒開発，高効率有機資源変換のための新規触媒反応設計	—		
２０８	**触媒設計工学分野** **准教授 松井敏明** 燃料電池構成材料と電極反応，炭化水素からの水素製造触媒，環境浄化やエネルギー変換のための無機材料，機能性無機材料の物性評価	—		
２１２	**同位体利用化学分野** **教授 佐藤哲也　助教 小澤直也** 原子番号が 100 を超える重元素・超重元素の化学的性質の解明，機能性表面をもつ放射線検出器の開発およびこれを利用した迅速単一原子溶液化学研究手法の開拓，有用放射性同位体の合成・化学的分離手法開発	—		
５１０	**分子集合体化学分野** **教授 古川修平** 機能性錯体化学，超分子固体化学，多孔性材料，動的結晶材料，ソフトマテリアル，化学的多様性をもつ材料	生命・医工融合分野		

４．高分子化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
１０７	**高分子機能物性分野** **教授 浦山健治　准教授 堀中順一　助教 大林駆** 高分子レオロジー，ソフトマテリアルの物理化学，高分子力学物性，高分子ゲル，高分子液晶材料，天然高分子材料	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
１０８	**生体材料化学分野** **教授 沼田圭司　講師 大前仁** **助教 辻優依　LAW, Simon Sau Yin　渡部康羽** 高分子材料化学，生体高分子材料，生体機能材料，バイオマテリアル	—		

401	**先端機能高分子分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	生命・医工融合分野	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
402	**機能高分子合成分野** **教授 杉安和憲　助教 渡邊雄一郎　深谷菜摘** 高分子合成，機能性高分子，超分子ポリマー，自己集合，導電性高分子，分子マシン，ゲル，ソフトマテリアル	生命・医工融合分野		
403	**高分子生成論分野** **教授 大内誠　助教 西川剛** 高分子合成，精密重合，リビング重合，ラジカル重合，カチオン重合，機能性高分子，高分子精密合成，重合触媒設計，配列制御，環状高分子	生命・医工融合分野		
404	**重合化学分野** **教授 田中一生　准教授 権正行　助教　伊藤峻一郎** 重合化学，有機合成化学，元素化学，無機高分子，ヘテロ原子含有共役系高分子，有機－無機ハイブリッド材料，重合中間体の化学	生命・医工融合分野		
405	**生体機能高分子分野** **教授 佐々木善浩　助教 水田涼介　鈴木美加** 生体高分子の自己組織化と機能，バイオインスパイアード科学，バイオハイブリッド材料，環境応答材料，生体膜工学，ナノ粒子，DDS，再生医療	生命・医工融合分野		
406	**高分子機能学分野** **教授 大北英生　准教授 山本俊介** 高分子ナノ構造，高分子光・電子物性，有機薄膜太陽電池，有機電気化学トランジスタ，光化学，光物理，高分子薄膜，電子移動，分光法	—		
407	**高分子分子論分野** **教授 中村洋　准教授 井田大地　助教 領木研之** 高分子溶液学，光・小角 X 線散乱法，粘度法を用いた高分子溶液の性質の解明，溶液中の孤立高分子，高分子鎖ダイナミクス，高分子集合体の分子論的理解	—		
408	**基礎物理化学分野** **教授 古賀毅　准教授 古谷勉　助教 出垣大貴** 高分子物性に関する理論・計算機シミュレーション・実験，高分子系の相転移，相転移ダイナミクス，高分子レオロジー，ゲルの物理化学，高分子の結晶化機構	—		
409	**高分子物質科学分野** **教授 竹中幹人　准教授 小川紘樹** **助教 中西洋平　柴崎和樹** 高分子構造，高分子固体物性，高分子高次構造解析と制御，高分子系の相転移のダイナミクス，中性子・X 線・光散乱，光学・電子顕微鏡，ブロックコポリマーの誘導自己組織化，高分子結晶	—		
410	**高分子材料設計分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
411	**高分子制御合成分野** **教授 山子茂　助教 秋吉美里** 制御重合，精密高分子合成，リビング重合，ラジカル重合，ラジカル反応，環状π共役分子，有機合成化学，元素化学，機能性材料，ソフトマテリアル，高分子結晶	—		
412	**生命分子科学分野** **教授 林剛介** ペプチド・タンパク質化学，生体分子ミメティクス，有機合成化学，進化分子工学，合成生物学，創薬科学，ケミカルバイオロジー，生化学，分子生物学，エピジェネティクス	生命・医工融合分野		
413	**発生システム制御分野** **教授 永樂元次　准教授 大串雅俊　助教 三井優輔** 再生医療，幹細胞工学，細胞生物学，発生生物学，多細胞動態，医療用デバイス	生命・医工融合分野		

５．生物化学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
106	**材料解析化学分野** **准教授 小山宗孝　野中洋** 電気化学分析，ケミカルバイオロジー，生体分子化学，脳神経化学	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
506	**生物有機化学分野** **准教授 田村朋則** 生物有機化学，機能性生命分子のデザインと創製，in vivo 有機化学の開拓，超分子バイオマテリアル，ケミカルバイオロジー	生命・医工融合分野		
507	**分子生物化学分野** **教授 高橋重成　助教 植田誉志史** 分子生理学，医化学，がん生物学，化学進化，進化生物学，分子医工学，創薬工学，生体イオン制御，細胞内シグナリング	生命・医工融合分野		
508	**生体認識化学分野** **教授 三木裕明　准教授 船戸洋佑　助教 橋爪脩** 生化学，分子生物学，細胞生物学，脳神経生物学，がん生物学，細胞内シグナル伝達，生体金属イオン制御	生命・医工融合分野		
509	**生物化学工学分野** **教授 跡見晴幸　准教授 佐藤喬章　助教 道盛裕太** 微生物ゲノムを基盤とした生物化学・生物工学，極限環境微生物の代謝生理，遺伝子工学，ゲノム工学，生体機能化学，合成生物学，システムズ生物学，生物進化学	生命・医工融合分野		

６．化学工学トラック

区分	研究内容	対応する教育プログラム		
		連携教育プログラム		修士課程教育プログラム
		融合工学コース	高度工学コース	
601	**ソフトマター工学分野** **教授 山本量一　准教授 谷口貴志** **助教 MOLINA LOPEZ, John Jairo** 複雑流体・ソフトマターの移動現象や非平衡プロセスに関する基礎的研究，特に，計算機シミュレーションを用いた高分子液体・コロイド分散系・ベシクル，細胞組織などに関する基礎研究	応用力学分野	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
602	**界面制御工学分野** **准教授 渡邉哲　助教 平出翔太郎** 界面制御工学，ナノ拘束空間工学，特に，分子やイオンのナノ細孔空間特有の挙動と構造，吸着場や液膜場によるナノ粒子群の構造形成と制御，秩序相・固相発生過程の基礎研究	応用力学分野		
603	**反応工学分野** **教授 河瀬元明　講師 蘆田隆一　助教 丸山博之** 反応工学，材料反応工学，電気化学反応工学，特に，気相材料合成反応と燃料電池等の電気化学反応プロセスのモデリング，劣質炭素資源の新しい転換プロセスの開発	—		
604	**分離工学分野** **教授 佐野紀彰　助教 鈴木哲夫** 分離工学，吸着工学，乾燥工学，特に電界，高周波電磁場，放電を利用した分離法・材料プロセスの開発，ナノ材料の合成・エネルギー分野への応用	—		
606	**材料プロセス工学分野** **准教授 長嶺信輔** 材料プロセス工学，特に微粒子，ファイバー，多孔質材料の創製，構造制御と機能発現，材料プロセス工学に基づいた新規食品の開発	—		
607	**プロセスシステム工学分野** **教授 外輪健一郎　講師 殿村修** プロセスシンセシス，プロセスの最適設計・操作，プロセス制御・監視・データ解析，マイクロ化学プラントの最適設計・操作に関する研究	応用力学分野		

608	**環境プロセス工学分野** **准教授 牧泰輔　助教 村中陽介** 環境プロセス工学，マイクロ化学操作論，環境反応工学，特に，バイオマスの新規転換法の開発，マイクロリアクターの開発と設計・操作論，生分解性プラスチックの分解挙動に関する研究	—	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う	化学理工学専攻の定める教育プログラムに従う
609	**粒子工学分野** 本区分は，今年度，募集は行わない。	—		
610	**グリーンプロセス工学分野** **准教授 中川浩行** グリーンプロセス工学，低品位炭素資源転換工学，特に水素の効率的な生成と有効利用法の開発に関する研究，二酸化炭素排出抑制のためのプロセス開発	—		
611	**動的界面化学分野** **教授 MCNAMEE, Cathy Elizabeth** 音や液流，磁場といった非平衡状態がもたらす界面現象についての研究，特に身近に存在する実在系の安定性を決定づける表面間力の制御，得られた知見に基づく様々な機能性薄膜の創製に関する研究	—		
612	**移動現象論分野** **教授 前多裕介　助教 別府航早** 分子・エネルギー・情報の流れに関する移動現象論，特に，アクティブマターの運動と構造，分子モーターのエネルギー論，細胞と細胞組織の合成生物化学など，自律的に流れを制御する新規材料の基礎研究	応用力学分野		

Ⅱ．募集人員

2027 年 4 月期入学 ： 20 名
2027 年 10 月期入学：若干名

入学時期についてインターネット出願システム上で、2027 年度 4 月期または 10 月期のいずれかを選択すること。出願後に入学時期の変更はできないので、事前に受入予定教員とよく相談のうえ入学時期を決定すること。

Ⅲ．出願資格

募集要項 Part A「Ⅱ－ｉ 出願資格」参照

Ⅳ．学力検査日程

（1）試験日時・試験科目

2月9日（火）	９：００～１２：００ 専門科目１	１３：００～１５：３０ 専門科目２	１６：３０～１８：３０ 口頭試問

［英語］配点 150 点（全トラック共通）

提出された成績表（公式認定書）に基づき、学力検査日（２月９日）から過去 2 年以内に受験した TOEFL-iBT テストの成績を 150 点満点に換算する。成績証明書の提出方法については、下記の「Ⅴ．入学試験詳細(2)」を参照のこと。なお、日本国籍を所持せず英語を公用語とする国・地域（アメリカ合衆国、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国、オーストラリア連邦を含む）の国籍を有し、英語を母国語とする受験者に対してはこれを免除するので、「英語を母語とする旨の宣誓書」を「Ⅴ.入学試験詳細(2)」に指定された方法によって提出すること。テストの成績または宣誓書の提出がない場合には、理由にかかわらず英語の得点は 0 点となる

［専門科目１］配点 500 点（全トラック共通）

有機化学（250 点）　物理化学（250 点）、いずれも必須問題。

［専門科目２］配点 300 点

（物理・量子化学、有機化学、無機・分析化学、生物化学トラック）

高分子化学・無機化学・分析化学・生物化学から 2 科目選択

（高分子化学トラック）
高分子合成・高分子物性・無機化学・分析化学・生物化学から 2 科目選択

（化学工学トラック）
数学・化学工学基礎・反応工学・移動現象・単位操作基礎・プロセス制御から 2 科目選択。ただし、数学の出題範囲は、微分積分学、線形代数学、常微分方程式、ベクトル解析、偏微分方程式とする。また、化学工学基礎の出題範囲は、基礎物理化学、化学工学量論とする。

（2）試験場
試験は桂キャンパス A クラスターで行う。詳細は、別途指示する。

Ⅴ．入学試験詳細

（1）有資格者及び合格者決定方法
筆記試験および口頭試問の結果に基づいて合否判定を行う。

（2）英語の学力評価と成績証明書について
TOEFL-iBT テストの成績を 150 点満点に換算する。
・TOEFL-iBT（internet-Based Test）のみ有効。
・TOEFL- iBT（Special）Home Edition や TOEFL-iBT の My Best スコア、TOEFL-ITP などの団体試験のスコアは認めない。
・学力検査日（2 月 9 日）から過去 2 年以内に受験したスコアを有効とする。
・スコア提出方法は、以下の①②の両方を必ず行うこと。①②のうち、いずれか一つでも完了しない場合は、スコアを受理することができない。スコアを受理できなかった場合、英語の得点は 0 点となる。
① TOEFL 公式スコアを送付する手続きを行う。
2027 年 2 月 2 日（火）までに以下の「TOEFL 公式スコア送付先」にスコアが届くように、TOEFL 受験申込時に ETS アカウントから送付手続きを行うこと。TOEFL 受験申込時に送付手続きをしていなかった場合は、期限内に届くように速やかに送付手続きを行うこと。

【TOEFL 公式スコア送付先】
DI (Designated Institution)コード："9501"
Department コード："99"

② ETS アカウントから Test Taker Score Report を印刷し、2027 年 2 月 2 日（火）（日本時間）までに届くように、以下の「Ⅸ．その他（2）」に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛へ書留郵便で郵送する。国際郵便または国際宅配便の場合も、2 月 2 日（火）までに配達されるように送付すること。

TOEFL 試験の詳細に係る問合せ先：
TOEFL®主催団体 ETS Customer Support Center in Japan
TEL: 0120-981-925　URL: https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html

〈英語を母語とする旨の宣誓書〉
英語を母語とする受験者で、英語試験の免除を希望する場合には、スコア提出の代わりに「英語を母語とする旨の宣誓書」（様式化学理工 M）を、以下「Ⅸ．その他（2）」に記載の工学研究科 A クラスター事務区教務掛へ、2 月 2 日（火）までに到着するように書留郵便で郵送する。国際郵便または国際宅配便の場合にも、同日までに配達されるように送付すること。様式は工学研究科ホームページからダウンロードすること。

（3）学力検査（筆記試験）に関する注意事項
・試験開始 20 分前までには試験会場に集合すること。
・試験室には必ず受験票を携帯し、係員の指示に従うこと。

・試験開始時間から 30 分以降は入室を認めない。
・試験開始後、当該科目の試験時間中は退室を認めない。
・筆記試験に使用を許す筆記用具は、鉛筆・シャープペンシル・鉛筆削り・消しゴムに限る。
・コンパス、定規、電卓等の持ち込みは認めないが、専門科目の試験時には、受験者に関数電卓を貸し出す場合がある。
・携帯電話、スマートウォッチ、イヤホン、ウェアラブル端末を含む電子機器類は、電源を切り、カバンにしまって所定の場所に置くこと。身につけている場合不正行為とみなすので、注意すること。ただし計時機能のみを有する時計の持ち込みは認める。計時機能のみの時計を持ち込む場合、試験中にアラーム音や操作音が鳴らないよう、事前に設定を解除すること。

（4）口頭試問
・受験生全員に対して口頭試問を行う。2 月 9 日（火）16:15 までに指示する控室に集合すること。

Ⅵ. 出願要領

志望区分の申請
インターネット出願システムの志望情報入力画面で志望順位 1 位の区分を選択すること。「I. トラック別志望区分」を参照して申請すること。
なお、あらかじめ志望区分の代表教員に必ず連絡をとり研究計画等について相談し、分野主任の署名が入った指導予定教員承諾書の画像データまたは PDF データをインターネット出願時にアップロードすること。指導予定教員承諾書本紙は本研究科から提出指示があれば、速やかに提出できるよう保管しておくこと。

Ⅶ. 入学後の教育プログラムの選択

修士課程入学後には下記の教育プログラムが準備されている。
融合工学コースは、志望区分によって取り扱いが異なる。「I. トラック別志望区分」の表で詳細を確認すること。
（1）修士課程教育プログラム
（2）博士課程前後期連携教育プログラム　高度工学コース（グローバルコース）
（3）博士課程前後期連携教育プログラム　融合工学コース

いずれのプログラムを履修するかは、受験者の志望と入試成績に応じて決定する。合格決定後の適切な時期に志望を調査するので、合格決定後の指示に従うこと。
詳細については、「Ⅰ．トラック別志望区分」を参照のこと。また、教育プログラムの内容については、工学研究科 HP（https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）及び、以下の「Ⅷ. 教育プログラムの内容について」をそれぞれ参照すること。

Ⅷ. 教育プログラムの内容について

学問分野としての化学が社会から受ける要請は、人類を取り巻く環境の変化と共に急速に変化し、広がりつつある。化学理工学専攻は、そのような社会的要請に応え、基礎的な科学知識を深く理解し、実際の社会問題の解決に活かすことのできる、知的価値の創出に優れた研究者・技術者を育成する。

［修士課程教育プログラム］
本プログラムでは、体系化された講義と演習科目等に基づいた高度な教育によって専門知を体系的に深く習得させ、高度な研究活動を伴うオンザリサーチトレーニングによって、知の創造と社会問題の解決に必要な総合知と研究能力を涵養する。また、機動的かつ分野横断的に構成された研究組織での研究活動により、学際知を合わせて涵養し、修了後に産官学で幅広く活躍する研究者を育成する。

［高度工学コース（グローバルコース)］
本プログラムでは、博士後期課程と連携し、体系化された講義と演習科目等に基づいた高度な教育によって専門知を体系的に深く習得させ、高度な研究活動を伴うオンザリサーチトレーニングによって、知の創造と社会問題の解決に必要な総合知と研究能力を涵養する。また、機動的かつ分野横断的に構成された研究組織での研究活動により、学際知を合わせて涵養し、修了後に博士後期課程

に進学し、産官学における各セクターを牽引するリーダーあるいは高度専門人材として幅広く活躍できる人材を育成する。なお、本プログラムには、京都大学ジャパンゲートウェイ構想によるスーパーグローバルコースの教育内容が含まれる。また、本プログラムは英語科目のみでも修了に必要な単位を履修することができる。

［融合工学コース］
工学研究科のホームページ
（https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69）を参照すること

Ⅸ．その他

（1）試験当日受験票を忘れた受験生は速やかにＡクラスター事務区教務掛へその旨を申し出ること。

（2）問合せ先･連絡先

〒615-8510　京都市西京区京都大学桂
京都大学大学院工学研究科Aクラスター事務区教務掛
電話：075-383-2077
E-mail：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※Translation Disclaimer

Kyoto University strives to achieve the highest possible accuracy in translating its documents from their official language of Japanese. However, due to the nature of translated documents, accuracy is not guaranteed. The translated documents are produced for reference only, and are not legally binding. The original documents in the Japanese language shall always take precedence over their translated versions. **The Master's Program at the Graduate School of Engineering, Kyoto University refers to the two-year program prior to the Doctoral Program, as stipulated in Article 4-4 of the University Establishment Standards.**

Department of Chemical Science and Engineering

I. Track-based Application Preference

1. Physical and Quantum Chemistry Track

Area Number	Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
301	Theoretical Chemistry Prof. H. Sato; Assoc. Prof. T. Mori; Senior Lecturer T. P. Nguyen; Assist. Prof. K. Sugiyama, K. Uratani Development and application of quantum chemistry and statistical mechanics theories to clarify molecular mechanisms and dynamics of chemical processes, including reactions in condensed phases such as solutions, proteins, and materials, as well as light-molecule interaction, molecular quantum dynamics and control	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
302	Molecular Theoretical Chemistry (not open for application)	—		
303	Quantum Function Chemistry (not open for application)	—		
304	Catalysis Chemistry Prof. K. Teramura; Assoc. Prof. S. Iguchi; Assist. Prof. S. Naniwa Basic chemistry for catalytic reactions, Design and development of heterogeneous and homogeneous catalysts, Catalysts for environmental technologies, Solid acid-base catalysts, Photocatalysts, Electrocatalysts, Catalyst reaction dynamics, Physical and chemical properties of catalysts and functional expression	—		
305	Photoorganic Chemistry Assoc. Prof. T. Higashino; Assist. Prof. W. R. Osterloh Construction of artificial photosynthesis system, Development of organic solar cells, Creation of nanocarbon materials, Development of functional organic materials utilizing characteristics of typical elements	—		
306	Condensed Matter Physical Chemistry Prof. S. Seki; Assoc. Prof. T. Tanaka; Assist. Prof. Y. Tsutsui Condensed Matter Physical Chemistry in general (design of optical function molecules, measurement of physical properties, reaction analysis, active transient species), Design, synthesis, and evaluation of functional molecules, Polymer physical properties, Physical properties of molecular assemblies, Physical properties of nanostructures, Analysis of transient spectral diffraction, Evaluation of electronic physical properties, Electronic element formation	—		
307	Quantum Materials Science Prof. N. Mizuochi; Assoc. Prof. N. Morioka, K. Furuita; Assist. Prof. T. Nishikawa Invention of inorganic spin-photonics materials, Luminescent center in diamond, Ultra-sensitive and ultra-high resolved sensor, Bioimaging, Quantum information devices, Quality improvement of diamond	—		
308	Molecular Rheology Prof. R. Ishige Physical chemistry of polymers, Functionalization of polymers based on control of structural and orientation order using liquid crystals, Structural analysis of polymeric materials by various scattering and spectroscopic techniques, Elucidation of structure- property correlation of polymers.	—		

309	Organic Materials Science Prof. H. Kaji; Assoc. Prof. K. Suzuki; Assist. Prof. H. Choi Invention of organic devices (specifically, organic electroluminescence and organic solar power cells) and construction of the fundamental science, Organic and polymer synthesis for organic devices application, Clarification of correlation between structures and organic device functions by solid NMR and DNP-NMR	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
310	Quantum Molecular Science Prof. T. Sato Molecular design for functional materials based on vibronic interaction, Chemical reactivity indices	—		
311	Molecular Materials Science: Porous Physical Chemistry Prof. E. Sivaniah; Senior Lecturer G. P. Namasivayam Application of porous materials to water purification, Application of porous materials to gas separation, Fundamental structure property research and applications of porosity in chemical and biochemical materials	—		
504	Physical Organic Chemistry Prof. K. Matsuda; Senior Lecturer K. Higashiguchi; Assist. Prof. D. Shimizu Physical organic chemistry, Chemistry of organic functional materials, Organic nanotechnology, Supramolecular photochemistry, Photoresponsive molecular system, and Molecular electronics materials	—		
605	Energy Process Engineering Prof. K. Tanabe; Assist. Prof. S. Miyamoto Computational materials science, Process informatics, Renewable energy, Forming and processing, Constitutive models of materials, Solar cells, Hydrogen storage, Nuclear fusion, Space devices, Functional polymers	Applied Mechanics		

2. Organic Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
104	Organic Reaction Chemistry Prof. H. Ohmiya; Assoc. Prof. K. Nagao; Assist. Prof. S. Murakami Design of molecular catalysts for precise control of radical and ionic reactions, Transformation of carbon resources using light energy, Chemical modification of biofunctional molecules for drug discovery, Discovery of new functionalities of organometallic compounds	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
105	Organic Molecular Chemistry Prof. Y. Nakao; Assist. Prof. M. Kashihara, N. Kato Synthesis of functional materials utilizing the characteristics of hetero elements, Synthesis of new organometallic compounds and investigation of their functions, Synthesis of bioactive organic compounds, Catalytic reaction using transition metal complex	—		
204	Hydrocarbon Chemistry Fundamental Assoc. Prof. K. Miki; Assist. Prof. H. Mu Tumor imaging using high-performance contrast agents, Development of molecular probes for visualizing in vivo environments	—		
205	Advanced Biomedical Engineering Assoc. Prof. Y. Kimura; Assist. Prof. R. Miura Design, synthesis, and functional evaluation of disease-specific molecular probe and theranostics probe that enables diagnosis and treatment simultaneously, as well as atom-efficient synthesis of functional molecules using homogeneous	Engineering for Life Science and Medicine		
207	Catalytic Organic Chemistry Prof. T. Fujihara; Senior Lecturer K. Semba Development of new transition metal catalysts and their functions, Development of highly efficient catalyst reaction which contributes to environmental preservation	—		

209	Synthetic Organotransformation Prof. M. Nakamura; Assoc. Prof. K. Isozaki; Senior Lecturer F. Pincella; Assist. Prof. T. Doba Development of organic synthetic reactions which utilizes chemical resources by creation of new organometallic reaction active species and invention of new functional organic molecules and supramolecules	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
210	Structural Organic Chemistry (not open for application)	—		
211	Organotransition Metal Chemistry Prof. Y. Ohki; Assist. Prof. K. Tanifuji, H. Izu Design, synthesis, and reaction studies of molecular compounds with multiple transition metal atoms, Bio-inorganic chemistry of sulfur-supported transition metals, Development of molecular catalysts for energy conversion	—		
213	Organic Functional Materials Prof. A. Fukazawa; Assoc. Prof. D. Packwood Design and synthesis of novel π-conjugated systems directed toward optoelectronic functional materials, Development of electron-accepting hydrocarbons, Development of nonconventional π-conjugated systems with unusual electronic structures	—		
501	Organic System Design Prof. M. Suginome; Assoc. Prof. J. Lintuluoto; Senior Lecturer T. Yamamoto; Assist. Prof. Y. Yoshinaga Synthetic chemistry of functional molecules, design and creation of new organometallic reagents, and exploitation of new precise polymerization reactions, a new catalytic asymmetric reaction system, and new functions of chiral helical polymers	—		
502	Synthetic Organic Chemistry (not open for application)	—		
503	Functional Chemistry Prof. T. Ogoshi; Assist. Prof. K. Kato, S. Ohtani Molecular space chemistry, Supramolecular material chemistry, Development of supramolecular catalysts, Creation of carbon-rich space materials, and Polymer-based phosphorescence materials	—		
505	Organometallic Chemistry Prof. N. Ishida; Assist. Prof. S. Okumura Discovery of new phenomenon in organic chemistry and organometallic chemistry, Development of synthetic reactions and functional organic compounds	—		

3. Inorganic and Analytical Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
101	Functional Materials Design Prof. K. Fujita; Assoc. Prof. W. Yi; Assist. Prof. Y. Obata Synthesis, structure analysis, and physical properties of new functional oxides, Understanding of structure–property relationships in layered compounds, Epitaxial growth and physical properties of complex oxide thin films, Development of ferroelectric and piezoelectric materials	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
102	Inorganic Structural Chemistry Assoc. Prof. Y. Shimotsuma Ultrafast laser-induced structural modification of inorganic materials, Understanding of nonequilibrium structural formation mechanisms, Nano- and defect-engineering in materials, Light–matter–interaction-based photonic materials and devices	—		
103	Industrial Solid-State Chemistry (not open for application)	—		
201	Solid State Chemistry Prof. H. Kageyama; Assoc. Prof. H. Takatsu, T. Zhu; Assist. Prof. D. Kato Development of novel materials such as mixed anion compounds and hydrogen materials based on solid-state chemistry along with their synthesis methods; superconductors, magnetic materials, dielectrics, battery materials, catalysts.	—		

202	Applied Electrochemistry Prof. T. Abe; Assist. Prof. Y. Miyahara, R. Sakamoto Electrochemistry, Reaction of lithium battery and fuel cell and their materials, Movement of electron and ion on an interface, Ionic conductive materials, Synthesis of nanomaterials	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
203	Functional Materials Assoc. Prof. N. Nishi; Assist. Prof. Y. Yokoyama Interface science, Interface phenomenon and interface structure formation, Spectrochemical analysis of interface, Construction of functional flexible interface using oil-water two-phase system and ion liquid	—		
206	Catalyst Materials Prof. R. Abe; Senior Lecturer H. Suzuki Development of new photocatalysts for solar energy conversion (clean production of hydrogen from water and conversion of carbon dioxide to useful chemicals) and for cleaning environmental pollutant. Synthesis and functionalization of various semiconductor materials as efficient photocatalysts.	—		
208	Catalyst Design Engineering Assoc. Prof. T. Matsui Fuel cell constituent materials and electrode reaction, Catalysts producing hydrogen from hydrocarbon, Inorganic materials for environmental cleaning and energy conversion, Evaluation for physical properties of functional inorganic materials	—		
212	Isotope Chemistry Prof. T. Sato; Assist. Prof. N. Ozawa Chemical research on heavy and superheavy elements with atomic numbers exceeding 100, development of radiation detectors with functional surfaces and pioneering of rapid single-atom solution chemistry techniques utilizing these detectors, and synthesis and chemical separation method development for useful radioisotopes.	—		
510	Reaction Biological Chemistry: Molecular Assembly Chemistry Prof. S. Furukawa Functional coordination chemistry, Supramolecular solid-state chemistry, Porous materials, Dynamic crystalline materials, Soft materials, Materials with chemical diversity	Engineering for Life Science and Medicine		

4. Polymer Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
107	Polymer Physics and Function Prof. K. Urayama; Assoc. Prof. J. Horinaka; Assist. Prof. K. Obayashi Polymer rheology, multi-phase polymer materials, physical properties of biomaterials, and tissue engineering	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
108	Biomaterial Chemistry Prof. K. Numata; Senior Lecturer H. Omae; Assist. Prof. Y. Tsuji, S. S. Y. Law, Y. Watanabe Polymer chemistry, Biopolymer material, Biofunctional materials, Biomaterials	—		
401	Advanced Polymer Chemistry (not open for application)	Engineering for Life Science and Medicine		
402	Functional Polymer Synthesis Prof. K. Sugiyasu; Assist. Prof. Y. Watanabe, N. Fukaya Molecular design, Functional polymers, Supramolecular polymers, Self-assembly, Conducting polymers, Designer polymers, Colloids, Self-healing materials, Molecular recognition, Stimuli-responsive materials, Molecular machines, Gels, Soft materials	Engineering for Life Science and Medicine		
403	Synthetic Polymer Chemistry Prof. M. Ouchi; Assist. Prof. T. Nishikawa Polymer synthesis, Precision polymerization, Living polymerization, Radical polymerization, Cationic polymerization, Functional polymers, Precision synthesis of polymers, Design of polymerization catalysts, Polymerization intermediate chemistry, Sequence control, Cyclic polymer, Amphiphilic random copolymers	Engineering for Life Science and Medicine		

404	Polymerization Chemistry Prof. K. Tanaka; Assoc. Prof. M. Gon; Assist. Prof. S. Ito Polymerization chemistry, Synthetic organic chemistry, Elemental chemistry, Inorganic polymers, Heteroatom-containing conjugated polymers, Organic-inorganic hybrid materials, Functional polymer, environmentally responsive polymers, Bio-related polymers, Molecular environmental sensing, Molecular imaging	Engineering for Life Science and Medicine	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
405	Bio-macromolecular Science Prof. Y. Sasaki; Assist. Prof. R. Mizuta, M. Suzuki Self-organization and functions of biopolymers, Bio-inspired science, Biohybrid materials, Environment-responsive materials, Biomembrane engineering, Protein engineering, Glycotechnology, Gel materials, Artificial cell, Drug delivery systems, Regenerative medicine	Engineering for Life Science and Medicine		
406	Polymer Structure and Function Prof. H. Ohkita; Assoc. Prof. S. Yamamoto Polymer nanostructures, Optoelectronic properties of conjugated polymers, Organic photovoltaics, Organic electrochemical transistors, Photochemistry, Photophysics, Polymer thin films, Electron transfer, Spectroscopy	—		
407	Polymer Molecular Science Prof. Y. Nakamura; Assoc. Prof. D. Ida; Assist. Prof. A. Ryoki Polymer solution science, Optical and small-angle X-ray scattering, Elucidation of polymer solution properties via viscometry, Isolated polymers in solution, Polymer chain dynamics, and molecular level understanding of macromolecular aggregates	—		
408	Fundamental Physical Chemistry Prof. T. Koga; Assoc. Prof. T. Furuya; Assist. Prof. H. Degaki Theory, computational and data science relating to polymer properties, Phase transitions of polymers, Phase transition dynamics, Polymer rheology, Physical chemistry of gels, Crystallization mechanisms of polymer	—		
409	Polymer Materials Prof. M. Takenaka; Assoc. Prof. H. Ogawa; Assist. Prof. Y. Nakanishi, K. Shibasaki Polymer structure, Solid matter physics of polymers, Analysis and control of higher-order polymer structure, Phase transition dynamics of polymer systems, Neutron, X-ray, and optical scattering analysis, Optical and electron microscopes, Directed self-assembly of block copolymers, Crystalline Polymers	—		
410	Molecular Design of Polymer (not open for application)	—		
411	Polymer Controlled Synthesis Prof. S. Yamago; Assist. Prof. M. Akiyoshi Controlled polymerization, Precision polymer synthesis, Living polymerization, Radical polymerization, Radical reactions, Cyclic π-conjugated molecules, Synthetic organic chemistry, Elemental chemistry, Functional materials, Soft materials, Crystalline polymers	—		
412	Biomolecular Chemistry Prof. G. Hayashi Peptide/protein Chemistry, Biomolecular mimetics, Synthetic organic chemistry, In vitro selection, Synthetic biology, Medicinal chemistry, Chemical Biology, Biochemistry, Molecular biology, Epigenetics	Engineering for Life Science and Medicine		
413	Developmental Systems Prof. M. Eiraku; Assoc. Prof. M. Ohgushi; Assist. Prof. Y. Mitsui Regenerative medicine, Stem cell engineering, Cell biology, Developmental biology, Multicellular dynamics, Medical devices	Engineering for Life Science and Medicine		

5. Biological Chemistry Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
106	Analytical Chemistry of Materials Assoc. Prof. M. Oyama, H. Nonaka Nanostructured materials for electroanalysis, Chemical biology, Analytical biochemistry, Neuroscience	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
506	Bioorganic Chemistry Assoc. Prof. T. Tamura Chemical biology, Bioorganic chemistry, Design and creation of functional biomolecules, Development of in vivo organic chemistry	Engineering for Life Science and Medicine		

507	Molecular Biology Prof. N. Takahashi; Assist. Prof. Y. Ueda Molecular physiology, Medical chemistry, Cancer biology, Molecular evolution, Evolutionary biology, Molecular medical engineering, Pharmaceutical Engineering, Ion homeostasis, and Intracellular signaling	Engineering for Life Science and Medicine	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
508	Biorecognition Chemistry Prof. H. Miki; Assoc. Prof. Y. Funato; Assist. Prof. O. Hashizume Biochemistry, Molecular biology, Cell biology, Brain and neural biology, Cancer biology, Intracellular signal transduction, Biometal ion regulation	Engineering for Life Science and Medicine		
509	Biochemical Engineering: Biological Chemistry Prof. H. Atomi; Assoc. Prof. T. Sato; Assist. Prof. Y. Michimori Biochemistry/microbiology and biotechnology based on microbial genome, Metabolic physiology of extremophile, Genetic engineering, Genome engineering, Biological function chemistry, Synthetic biology, Systems biology, and Evolutionary biology	Engineering for Life Science and Medicine		

6. Chemical Engineering Track

Area Number	Chair and Laboratory/Research Descriptions	Applicable Courses		
		Integrated Program		Master's Course Program
		Interdisciplinary Engineering Course	Advanced Engineering Course	
601	Soft Matter Engineering Prof. R. Yamamoto; Assoc. Prof. T. Taniguchi; Assist. Prof. J. J. Molina-Lopez Fundamental research on transport phenomena of complex fluids and soft matters, and non-equilibrium process, especially the fundamental research on polymer liquids, colloidal dispersion, vesicle, and cellular structures using computer simulations	Applied Mechanics	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
602	Surface Control Engineering Assoc. Prof. S. Watanabe; Assist. Prof. S. Hiraide Surface Control Engineering, Engineering for Nanoscale Confined Space, especially behaviors and structures specific to the nanoporous spaces of molecules and ions, structure formation and control of nanoparticle aggregate in adsorption field or within wetting films, and fundamental study on ordered-phase/solid-phase generation	Applied Mechanics		
603	Chemical Reaction Engineering Prof. M. Kawase; Senior Lecturer R. Ashida; Assist. Prof. H. Maruyama Reaction Engineering, Material Reaction Engineering, and Electrochemical Reaction Engineering, especially modelling by analyses on the mechanism of reaction for the synthesis of materials via a chemical-vapor deposition and development of materials, modelling of electrochemical reaction, and development of new conversion processes of carbonaceous resources	—		
604	Separation Engineering Prof. N. Sano; Assist. Prof. T. Suzuki Separation Engineering, Adsorption Technology, Drying Technology, especially development of methods for separation and material processes utilizing electric fields, high frequency electromagnetic field, and electric discharge, and syntheses and energy applications of nano materials	—		
606	Materials Process Engineering Assoc. Prof. S. Nagamine Materials process engineering, especially development and structural control of functional materials including particles, fibers and porous materials. Development of food products based on materials process engineering	—		
607	Process Control and Process Systems Engineering Prof. K. Sotowa; Senior Lecturer O. Tonomura Research on process synthesis, optimal design and operation of processes, process control/monitoring/data analysis, and optimal design and operation of micro chemical plants	Applied Mechanics		
608	Environmental Process Engineering Assoc. Prof. T. Maki; Assist. Prof. Y. Muranaka Environmental Process Engineering, Micro Chemical Process, and Environmental Reaction Engineering, especially development of new conversion methods for biomass, development, design and operation of microreactors, degradation behavior analysis of biodegradable plastics	—		

609	Particle Engineering (not open for application)	—	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering	According to the course program established by the Department of Chemical Science and Engineering
610	Green Process Engineering Assoc. Prof. H. Nakagawa Green Process Engineering, and Low Rank Resource Conversion Engineering, especially research on the efficient production and utilization of hydrogen, and development of process to reduce CO_2 emission	—		
611	Dynamic Interfacial Chemistry Prof. C. E. McNamee Research on interfacial phenomena induced by non-equilibrium, such as sound, liquid flows, and magnetic fields. Research on surface forces and the fabrication of functional thin films.	—		
612	Transport Phenomena Prof. Y. Maeda; Assist. Prof. K. Beppu Research on transport phenomena pertaining to mass, energy, and information flows, with a particular emphasis on elucidating the collective motion of active matter, the energetics of molecular motors, and synthetic biology of artificial cells and multicellular tissues.	Applied Mechanics		

II. Enrollment Capacity

April 2027 Enrollment: 20 students

October 2027 Enrollment: A few students

Applicants must select either April 2027 or October 2027 enrollment on the Internet Application System. Changes to the enrollment period after application will not be permitted, so applicants must consult carefully with their prospective supervisor before deciding on the enrollment period.

III. Eligibility requirements for applicants

Refer to Part A “II-i. Eligibility” of the Guidelines for Applicants.

IV. Examination Schedule

(1) Date and time, and subjects for examination

Tuesday, February 9

Time	Subject
9:00 a.m. – 12:00 p.m.	Specialized Subject I
1:00 p.m. – 3:30 p.m.	Specialized Subject II
4:30 p.m. – 6:30 p.m.	Oral Examination

[English] Distribution of points: 150 points (Common to all tracks)

Based on the submitted score report (Official Score Report), the score of the TOEFL-iBT test taken within two years prior to the examination date (February 9) will be converted to a scale of 150 points. For details on how to submit score reports, refer to "V. Details of Entrance Examinations (2)" below. Applicants who do not hold Japanese nationality, hold citizenship of a country/region where English is an official language (including the United States of America, the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, and the Commonwealth of Australia), and are native speakers of English are exempt from this requirement. Such applicants must submit the "Declaration of Native English Speaker" using the method specified in "V. Details of Entrance Examinations (2)". If neither the test score nor the written declaration is submitted, the English score will be recorded as zero regardless of the reason.

[Specialized Subject I] Distribution of points: 500 points (Common to all tracks)

Organic Chemistry (250 points) and Physical Chemistry (250 points); both are mandatory.

[Specialized Subject II] Distribution of points: 300 points

- **Physical and Quantum Chemistry, Organic Chemistry, Inorganic and Analytical Chemistry, and Biological Chemistry Tracks**
  Select two subjects from Polymer Chemistry, Inorganic Chemistry, Analytical Chemistry, and Biological Chemistry.

- **Polymer Chemistry Track**
  Select two subjects from Polymer Synthesis, Polymer Properties, Inorganic Chemistry, Analytical Chemistry, and Biological Chemistry.

- **Chemical Engineering Track**
  Select two subjects from Mathematics, Chemical Engineering Fundamentals, Reaction Engineering, Transport Phenomena, Unit Operation Fundamentals, and Process Control. However, the scope of the Mathematics examination covers calculus, linear algebra, ordinary differential equations, vector analysis, and partial differential equations. In addition, the scope of the Chemical Engineering Fundamentals examination covers basic physical chemistry and chemical engineering stoichiometry.

(2) Examination venue

The examination will be conducted in the A Cluster in Katsura Campus. For the details, instructions are given at a later date.

V. Details of Entrance Examinations

(1) Eligibility and Selection of Successful Applicants

The admission decision is made based on the results of the written examination and the oral examination.

(2) English Language Assessment and Score Certificates

The TOEFL-iBT test score will be converted to a scale of 150 points.

· Only the TOEFL iBT (Internet-Based Test) is accepted.

· Scores from the TOEFL iBT (Special) Home Edition, TOEFL iBT MyBest™ scores, and institutional tests such as TOEFL ITP are **not** accepted.

· Only scores from tests taken within two years prior to the examination date (February 9) are valid.

· Applicants must complete both (i) and (ii) below to submit their scores. If either one is incomplete, the score will not be accepted. If the score is not accepted, the English score will be recorded as zero.

(i) Arrange for the official TOEFL score to be sent.

Applicants must request ETS through their ETS account at the time of TOEFL test registration so that the official score arrives at the "TOEFL Official Score Recipient" listed below no later than Tuesday, February 2, 2027. If this procedure was not completed at the time of TOEFL test registration, applicants must promptly complete the score-sending request so that it arrives within the deadline.

[TOEFL Official Score Recipient]
DI (Designated Institution) Code: 9501
Department Code: 99

(ii) Submit a printed Test Taker Score Report.

Applicants must print the Test Taker Score Report from their ETS account and submit it by registered mail to the Graduate Student Section, A Cluster Office, Graduate School of Engineering, listed in "IX. Other (2)" below, no later than Tuesday, February 2, 2027 (Japan Standard Time). For international mail or international courier services, also send it so that it is delivered by Tuesday, February 2.

Inquiries regarding TOEFL test details:
ETS Customer Support Center in Japan
TEL: 0120-981-925 URL: https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/inquiry.html

<Declaration of Native English Speaker>
Applicants who are native speakers of English and wish to request an exemption from the English examination must send the "Declaration of Native English Speaker" (Form 化学理工(Kagaku-Riko) M) by registered mail to the Graduate Student Section, A Cluster Office, Graduate School of Engineering listed in "IX. Other (2)" below, no later than Tuesday, February 2, 2027 (Japan Standard Time) instead of submitting test scores. For international mail or international courier services, also send it so that it is delivered by Tuesday, February 2. The form can be downloaded from the Graduate School of Engineering website.

(3) Notes on Written Examination

- Applicants must arrive at the examination venue no later than 20 minutes before the examination starts.
- Applicants must bring their examination vouchers into the examination room and follow the instructions given by the attendant.
- Applicants cannot enter the room for the written examination after 30 minutes have passed from the start of the examination.
- Leaving the examination room during the exam time for the subject is not permitted once it has started.
- Permitted writing tools are limited to pencils, mechanical pencils, pencil sharpeners, and erasers.
- Bringing compasses, rulers, calculators, etc. is not permitted. However, scientific calculators may be loaned to applicants during the Specialized Subjects examination.
- Electronic devices, including mobile phones, smartwatches, earphones, and wearable devices, must be turned off, placed in bags, and put in designated areas. If applicants carry such devices on their person, it will be regarded as misconduct. However, watches with timekeeping functions only are permitted. If you bring such a watch, any alarm or key-tone settings must be disabled in advance so that no sounds are emitted during the examination.

(4) Oral Examination

An oral examination will be conducted for all applicants. Applicants must arrive at the waiting room specified by 4:15 p.m. on Tuesday, February 9.

VI. Instructions on Application for Admission

Application of preferred research areas:

On the “Preferred Information Entry” screen of the Online Application System, applicants must select their first-choice research area. Refer to “I. Track-based Application Preference” when applying.
In addition, applicants must contact the representative professor of the preferred research area in advance to discuss research plans and related matters, and upload an image data or a PDF of the "Consent Form of Prospective Supervisor" signed by the head of the research area when applying online. The original "Consent Form of Prospective Supervisor" must be retained so that it can be submitted promptly if instructed by the Graduate School.

VII. Selecting Your Course after Enrollment

The following three course programs are available after enrollment in the Master’s program for those who pass the Department’s examination:

(1) Master’s Course Program
(2) Advanced Engineering Course (Global Course) of Integrated Master’s–Doctoral Course Program
(3) Interdisciplinary Engineering Course of Integrated Master’s–Doctoral Course Program (Refer to courses listed in I. Track-based Application Preference)

Course assignment for successful applicants is determined based on their preferences and entrance examination results. Successful applicants’ preferred courses will be surveyed at an appropriate timing after the entrance examination results are announced. Please follow the instructions provided at that time. For further information, refer to “I. Track-based Application Preference.” Details of the course programs are available on the Graduate School of Engineering website (https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69) and in “VIII. Details of Educational Programs.”

VIII. Details of Educational Programs

Society's expectations for chemistry as an academic discipline are rapidly changing and expanding alongside environmental changes surrounding humanity. In response to these societal demands, the Department of Chemical Science and Engineering aims to cultivate researchers and engineers who possess a deep understanding of basic scientific knowledge and can apply it to solve real-world social problems with outstanding creation of intellectual value.

[Master's Program]

In this program, students systematically acquire specialized knowledge in depth through advanced education based on structured lectures and exercise subjects. Through on-the-research training involving advanced research activities, the program fosters comprehensive knowledge and research capabilities required to create knowledge and solve social issues. Furthermore, research activities in agile, cross-disciplinary research organizations nurture interdisciplinary knowledge, producing researchers who will contribute broadly across industry, government, and academia upon graduation.

[Advanced Engineering Course (Global Course)]

In cooperation with the Doctoral Program, this program enables students to systematically acquire specialized knowledge in depth through advanced education based on structured lectures and exercise subjects. Through on-the-research training involving advanced research activities, it fosters comprehensive knowledge and research capabilities required to create knowledge and solve social issues. In addition, research activities in agile, cross-disciplinary research organizations nurture interdisciplinary knowledge, cultivating human resources who will proceed to the Doctoral Program and actively contribute as leaders driving various sectors in industry, government, and academia or as highly specialized professionals. This program incorporates the educational content of the Super Global Course established under Kyoto University's Japan Gateway: Kyoto University Top Global Program. Note that in this program, all credits required for completion can be earned using English-taught subjects alone.

[Interdisciplinary Engineering Course]

Refer to Graduate School of Engineering website (https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/education/graduate/dosj69).

IX. Other

(1) Any applicant who forgets to bring the examination voucher on the day of the examination must promptly report to the A Cluster Office, Graduate Student Section.

(2) Contact for general inquiries:

A Cluster Office, Graduate Student Section,
Graduate School of Engineering, Kyoto University
Katsura, Nishikyo-ku, Kyoto 615-8510
E-mail: 090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

入試区分／専攻別　別途提出書類様式

Designated Forms (for Each Department / Division)

（様式－M1 / Form-M1）

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季修士課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Master's Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

別途提出書類届

Checklist of necessary documents

受験番号
ID
（記入しないこと）
For official use. Please do not fill.

出願者氏名
Name of Applicant

☐ 1. これまでの研究内容および研究計画に関するレポート（A4 紙 3 頁以内）（様式－M2）
（□に○印でチェックのこと、該当しない場合は×印）
Report about your past/current research (within 3 pages including figures and tables) (Form-M2). Enter "○" when you attach it, or "×" when you do NOT attach it.

☐ 2. TOEIC または IELTS 試験の成績証明書または英語を母国語とする旨の宣誓書（様式－M3）（□に○印でチェックのこと、TOEFL の場合あるいは該当しない場合は×印、成績証明書を後日提出する場合は△印）
[TOEFL] :京都大学工学研究科社会基盤・都市社会系に直送されるInstitutional Score Report
[IELTS], [TOEIC] :成績証明書原本
Enter "○" when you attach one of TOEIC or IELTS official score certificate, or Form-M3, "×" in the case of TOEFL or when you do NOT attach it, or "△" when you submit one of TOEIC or IELTS official score certificate later.
[TOEFL] : Have Institutional Score Report sent to C092(Institution Code), Kyoto University.
[IELTS], [TOEIC] : Submit original official score report.

☐ 3. 入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－M4）
（□に○印でチェックのこと）
Statement of Course Selection (Form-M4). Enter "○" when you attach it.

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季修士課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Master's Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

研究経過・計画書

Statement of Research Activity and Study Plan

氏	名
(Family Name)	(First Name)

１．出願者氏名　　：＿＿＿

（様式－M3 / Form-M3）

英語を母国語とする旨の宣誓書

Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻　専攻長　殿
都市社会工学専攻　専攻長　殿

Chair, Department of Civil and Earth Resources Engineering,
Chair, Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering
Kyoto University

私は英語を母国語とすることをここに宣誓いたします。
I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

年　　月　　日
Year　Month　Date

国　　籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Family Name　First Name

署　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季修士課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Master's Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

入学後の教育プログラム履修志望調書

Statement of Course Selection

入学後の教育プログラムには、(1)-(5)の 5 つがある。
(1) 修士課程教育プログラム
(2) 修士課程教育プログラム　国際コース
(3) 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）応用力学分野
(4) 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野
(5) 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース）
第 1 志望の教育プログラムを(1)-(5)から選び、回答欄に番号を記入すること。

各教育プログラムにはそれぞれ、第 2 志望として選択可能な教育プログラムが 1 つ指定されている。教育プログラム(1)、(3)、(4)、(5)を第 1 志望とする場合は、教育プログラム(2)を第 2 志望として選択できる。教育プログラム(2)を第 1 志望とする場合は、教育プログラム(1)を第 2 志望として選択できる。第 2 志望を希望する場合は回答欄の Yes、希望しない場合は回答欄の No の□にチェック（レ）を入れること。

There are five course programs (1)-(5) you can pursue upon entering the Master's Program.
(1) Master's Course Program
(2) Master's Course Program, International Course
(3) Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Applied Mechanics
(4) Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering
(5) Advanced Engineering Course Program
Select the course program you most wish to pursue as the first choice upon entering the Master's Program from (1)-(5), and enter the number in the answer column.

Each course program has one applicable second choice course program as designated below. If you select any one of the course programs among (1), (3), (4) and (5) as the first choice, then you can pursue the course program (2) as the second choice. If you pursue the course program (2) as the first choice, then you can pursue the course program (1) as the second choice. If you wish to apply for the second choice course program, check the square □ next to Yes in the answer column. If you do not wish to apply for the second choice course program, check the square □ next to No in the answer column.

次頁に続く Continued on next page.

回答欄 Answer Column

第 1 志望の教育プログラムを(1)-(5)から選び、番号を記入すること。 Select the course program you most wish to pursue as the first choice from (1)-(5), and enter the number.	
各教育プログラムには、第 2 志望として選択可能な教育プログラムが 1 つ指定されている。第 2 志望を希望する場合は Yes、希望しない場合は No の□にチェック（レ）を入れること。 Each course program has one applicable second choice course program as designated below. If you wish to apply for the second choice course program, check the square □ next to Yes. If you do not wish to apply for the second choice course program, check the square □ next to No.	□Yes. □No.
国費外国人留学生制度（大学推薦）へ応募する。 ※第 1 志望で教育プログラム(4)を選択した 10 月期入学希望者に限る。 Apply for the MEXT Scholarship Program (University Recommendation) ※Only for applicants who chose October Admission and selected Educational Program (4) as the first choice.	□Yes. □No.

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Date　Name of Applicant　Stamp or Signature

希望指導教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Name of Preferred Supervisor　Stamp or Signature

表 入学後の教育プログラム(1)-(5)と第 2 志望として選択可能な教育プログラム
Table: Course Programs (1)-(5) and Applicable Second Choice Course Program

教育プログラム Course Program	選択可能第 2 志望 教育プログラム Applicable Second Choice Course Program
(1) 修士課程教育プログラム Master's Course Program	(2)
(2) 修士課程教育プログラム 国際コース Master's Course Program, International Course	(1)
(3) 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）応用力学分野 Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Applied Mechanics	(2)
(4) 博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース）人間安全保障工学分野 Interdisciplinary Engineering Course Program, Postgraduate Integrated Course Program of Human Security Engineering	(2)
(5) 博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース） Advanced Engineering Course Program	(2)

（様式－M5 / Form-M5）

京都大学大学院工学研究科　社会基盤・都市社会系
冬季修士課程入学資格者選考試験

Winter Entrance Examination for the Master's Program
Department of Civil and Earth Resources Engineering, and Department of Urban Management,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

口頭試問Ⅰにおける受験希望専門科目調書

Statement of Specialized Subject of Oral Exam I

募集要項の「Ⅴ．入学試験詳細、(1) 試験科目」を参考に、以下の 6 つの科目から受験を希望する科目を 1 つ選択すること。ただし、本様式で選択した科目以外の科目へ受験する科目を変更することはできない。
Select one subject from the following six subjects by referring to section "Ⅴ. Details for Entrance Examination, (1) Examination Subjects" in the guidelines. Note that you are not allowed to take any other subjects once you select one subject in this form.

☐ 構造力学 Structural Mechanics
☐ 土質力学 Soil Mechanics
☐ 資源工学 Earth Resources Engineering
☐ 水理学 Hydraulics
☐ 計画理論 Planning and Management
☐ 数学 Mathematics

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Date　Name of Applicant　Stamp or Signature

希望指導教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Name of Preferred Supervisor　Stamp or Signature

様式－Ｍ１
Form M1

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
修士課程外国人留学生入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

筆記試験および口頭試問時の希望言語選択票

Statement of Language Preference for the Entrance Examination

筆記試験および口頭試問時に希望する言語を選択すること。

Enter “○” in the appropriate box about the language you wish to select for the entrance examination

	言語(Language)
(　　)	日本語(Japanese)
(　　)	英語(English)

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　印
Date　Name of Applicant　Stamp/or Signature

様式－Ｍ２
Form M2

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
修士課程外国人留学生入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

別途提出書類届

Checklist of Necessary Documents

受験番号
ID

（記入しないこと）
For official use. Please do not fill

氏　　名
Name of Applicant

（該当する場合は□に○印、該当しない場合は×印を記入すること）
Enter “○” when you attach it, or “×” when you do NOT attach it.

□ １．TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書
Transcript of either TOEFL, TOEIC or IELTS

a) TOEFL、TOEIC または IELTS 試験の成績証明書の提出に関して、該当する一つに○印をつけること。
Enter “○” in the appropriate box about submission.
［　］成績証明書を本様式と同封して提出する。(You attach one of TOEFL, TOEIC or IELTS transcripts)
［　］成績証明書を提出しない。(You will not submit transcript)

b) 該当する試験に○印をつけること。成績証明書は試験当日に返却します。
Enter “○” in the appropriate box about the transcript. The transcript will be returned on the examination day.
［　］TOEFL-iBT(internet-Based Test)
［　］TOEIC
［　］IELTS

□ ２．英語を母語とする旨の宣誓書（様式－Ｍ３）
Letter of English Proficiency Statement (Form M3)

□ ３．入学後の教育プログラム履修志望調書（様式－Ｍ４）
Statement of Course Selection (Form M4)

□ ４．学習・研究計画書　５部
Research Plan（5 copies）

志望する指導教員の氏名を記入し、確認印をもらうこと。
Applicant should have contacted the prospective supervisor from whom the applicant wishes to receive supervision prior to submitting the application documents, and the form must be signed by the supervisor.

指導教員氏名 Name of Prospective Supervisor	印 Stamp/or Signature

様式－Ｍ３
Form M3

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
修士課程外国人留学生入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書

Letter of English Proficiency Statement

京都大学大学院工学研究科
都市環境工学専攻　専攻長　殿
Chair, Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering
Kyoto University

私は英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby state that I am a native English speaker.

年　　月　　日
Year　Month　Day

国　籍 _____
Nationality

氏　名 _____（男・女）
Family name　First name　(Male/Female)

生年月日　　年　　月　　日生
Date of birth　Year　Month　Day

サイン _____
Signature

様式－Ｍ４
Form M4

京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻
修士課程外国人留学生入学試験
Entrance Examination for the Department of Environmental Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

入学後の教育プログラム履修志望調書
(予備志望調査)

Statement of Course Selection
(Preliminary Investigation)

入学後に履修する教育プログラムの志望順位を記入すること。

Enter the priority numbers of educational programs you wish to apply

志望順位 Priority number	履修を志望する教育プログラム Educational programs you wish to apply
(　　)	博士課程前後期連携教育プログラム（融合工学コース） 人間安全保障工学分野 Interdisciplinary Engineering Course Program Integrated Master's-Doctoral Course Program of Human Security Engineering
(　　)	博士課程前後期連携教育プログラム（高度工学コース） 都市環境工学専攻 Advanced Engineering Course Program Department of Environmental Engineering
(　　)	修士課程教育プログラム 都市環境工学専攻 Master’s Program Department of Environmental Engineering

日付＿＿＿＿＿＿＿＿　氏名＿＿＿＿＿＿＿＿　印

Date　Name of Applicant　Stamp/or Signature

年　　月　　日

建築学専攻長　殿

志願者

大学　　学部　　学科

西暦　　年　　月（卒業・卒業見込）

氏名　　㊞

志望区分申告書

私は、

京都大学大学院工学研究科 修士課程建築学専攻に入学の上は、志望区分について下記のとおり志望しますので申告致します。

記

志　望　区　分

本志願者に対する修士論文の指導にあたることを承諾します。

志望区分担当教員　　㊞

（様式１）

京都大学大学院工学研究科　機械工学群　修士課程入学試験

教育プログラム志望調書

希望する教育プログラムを１つ選び、選択欄に○をつけること。

	履修を志望する教育プログラム
（　　）	修士課程
（　　）	前後期連携（高度工学コース）
（　　）	前後期連携（融合工学コース） （　　）分野

※前後期連携（融合工学コース）を希望する場合は、項目Ⅰ.(2)の専攻別志望区分一覧に記載した a～f の分野のうち、履修を希望する分野名を教育プログラム欄の（　）内に必ず記入すること。

年　　月　　日

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式２）

京都大学大学院工学研究科　機械工学群　修士課程入学試験

志望する指導教員調書

志望する指導教員の氏名を記入し、確認印をもらうこと。

指導教員氏名	印

希望研究題目

日付＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿出願者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式 材工D）

京都大学大学院工学研究科　材料工学専攻
修士課程（外国人留学生）および博士後期課程入学資格者選抜試験
Entrance Examination for the Department of Materials Science and Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書
English Language Proficiency Declaration

材料工学専攻長 殿
Chair, Department of Materials Science and Engineering,
Graduate School of Engineering,
Kyoto University

私は英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

I, the undersigned, hereby declare that I am a native English speaker or I have sufficient English language skills.

年　　月　　日
Year　Month　Day

国籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(男・女)
Family name / First name　Male / Female

生年月日　　年　　月　　日生
Birthday　Year　Month　Day

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

（様式 1）Form1

京都大学 大学院工学研究科 電気電子デジタル理工学専攻

Department of Electrical, Electronic, and Digital Science and Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

2027 年 2 月実施入試（冬入試） 志望研究室申告票

Entrance Examination in February 20267(Winter Entrance Examination)
Research Laboratory Declaration Form

・修士課程教育プログラム合格者の研究室配属の決定はこの申告票に基づいて行う。
The laboratory assignment for students admitted to the Master's Program will be determined based on this form.
・**第一志望の研究室に〇印を記入すること。**
Mark your first-choice lab with a circle.
・一旦提出した書類の差し替えや変更、訂正等はできない。
Once submitted, this form can neither be replaced, changed, nor corrected.
・

第 1	電気情報システム論研究室（薄研） Electrical and Information Systems Laboratory (Susuki Lab)	
第 2	時空間センシング研究室（吉井研） Spatio-Temporal Sensing Laboratory (Yoshii Lab)	
第 3	応用デジタル工学研究室（蛯原研） Applied Digital Engineering Laboratory (Yoshio Ebihara Lab)	
第 4	知的回路設計研究室（久門研） Intelligent Circuit Design Laboratory(Hisakado Lab)	
第 5	物理情報融合工学研究室（浅野研） Physical and Information Engineering Laboratory (Asano Lab)	
第 6	光機能デバイス工学研究室（船戸研） Advanced Optoelectronic Device Engineering Laboratory (Funato Lab)	
第 7	自動制御工学研究室 Automatic Control Engineering Laboratory	
第 8	システム創成論研究室（阪本研） Innovative Systems Theory Laboratory (Sakamoto Lab)	
第 9	超伝導工学研究室（雨宮研） Applied Superconductivity Laboratory (Amemiya Lab)	
第 10	電磁エネルギー工学研究室（松尾研） Electromagnetic Energy Engineering Laboratory (Matsuo Lab)	
第 11	電波科学シミュレーション研究室（海老原研） Space Radio Science Simulation Laboratory (Yusuke Ebihara Lab)	
第 12	宇宙電波工学研究室（小嶋研） Space Radio Engineering Laboratory (Kojima Lab)	
第 13	マイクロ波エネルギー伝送研究室（篠原研） Microwave Energy Transmission Laboratory (Shinohara Lab)	
第 14	優しい地球環境を実現する先端電気機器工学研究室（中村研） Advanced Electric Machinery Engineering for Sustaining Global Environment (Nakamura Lab)	
第 15	極限電子機能工学研究室（米澤研） Frontier Electronic Functional Engineering Laboratory (Yonezawa Lab)	
第 16	固体量子物性工学研究室（白石研） Condensed-Matter Physical Electronics Laboratory (Shiraishi Lab)	
第 17	光量子情報工学研究室（竹内研） Photonic Quantum Information Laboratory (Takeuchi Lab)	
第 18	半導体物性工学研究室（木本研） Semiconductor Science and Engineering Laboratory (Kimoto Lab)	
第 19	電子材料物性工学研究室 Electronic Material Science and Engineering Laboratory	
第 20	ナノプロセス工学研究室（メーナカ研） Nano-Process Engineering Laboratory (Menaka Lab)	

受験番号（空欄でも可）　　氏名（署名）

Examinee's number (may be left blank)　　Name (Signature)

（様式 化学理工 M）

指導予定教員承諾書

Consent Form of Prospective Supervisor

（京都大学大学院工学研究科修士課程 化学理工学専攻入学資格者選抜試験）

(Entrance Examination of the Master's Course Program in the Department of Chemical Science and Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University)

受験者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Name of Applicant

上記受験者が 2027 年 2 月実施の修士課程入学資格者選抜試験に合格した場合には、研究室に受け入れて研究指導を行うことを前提とする出願について、それを承諾します。

I hereby consent to the application of the above-named applicant, with the understanding that I will accept the applicant into my laboratory and provide academic supervision if the applicant passes the Master's program eligibility examination to be held in February, 2027.

指導予定教員氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印

Name of Prospective Supervisor (Signature)

日付　　年　　月　　日

Date

志望研究区分番号（　　）

Research Area Number

（様式 化学理工 M）

京都大学大学院工学研究科　化学理工学専攻
修士課程入学資格者選抜試験
Entrance Examination for the Department of Chemical Science and Engineering,
Graduate School of Engineering, Kyoto University

英語を母語とする旨の宣誓書
Declaration of Native English Speaker

化学理工学専攻長 殿
Chair, Department of Chemical Science and Engineering,
Graduate School of Engineering,
Kyoto University

私は日本国籍を所持せず、英語を公用語とする国*・地域の国籍を有し、英語を母語とすることをここに宣誓いたします。

（*アメリカ合衆国、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国、オーストラリア連邦を含む）

I, the undersigned, hereby declare that I do not hold Japanese nationality, and that I hold the nationality of a country* or region whose official language is English, and that I am a native English speaker.

(*including the United States of America, the United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland, and the Commonwealth of Australia)

年　　月　　日
Year　Month　Day

国籍＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Nationality

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(男・女)
Family name / First name　　Male / Female

生年月日　　年　　月　　日生
Birthday　Year　Month　Day

サイン＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
Signature

京都大学大学院工学研究科

修士課程出願資格認定申請・調書

出願資格番号	(9)・(10)　※いずれかに○	申請年月日	
入試区分		指導予定教員	
フリガナ 氏名		入学時期 (4月期／10月期)	
現住所	〒		
現　職 (所属・職名等)		TEL (昼間連絡可能な番号)	
生年月日 (年齢)		E-mailアドレス	

年月	学　歴　(高等学校卒業から記入)

年月	職　　歴　　等

年月	取得資格免許等及び学協会等の活動、貢献、その他特記すべき事項

注　1．年齢は、申請日現在で記入すること。
　　2．この用紙に書ききれない場合は、同様式の用紙を付加すること
　　3．※欄は、記入しないこと。

認　定　欄
※　　合・否

修士課程(2027年2月実施)

Master's Program (Exam in February 2027)

履　歴　書

Resume

受験番号※記入不要 Examinee's Number ※Need not fill out	

入試区分 Division		入学時期(4月期／10月期) Admission Time(April/October)	
氏名フリガナ Name in KATAKANA		留学生国籍(注1 Note1) International Student Nationality	
氏名 Name		留学生経費区分 (入学時予定)いずれかにチェック International student category at the time of admission (Check✓ one)	国費(日本政府)MEXT Scholarship Student 私費Privately Funded Student 自国政府派遣 International Student Sent by Home Government JICA International Student supported by JICA
氏名アルファベット表記 (留学生のみ) Name in English alphabet (International student only)		AAO ID (AAO申請者のみ) AAO Applicant only	
生年月日(西暦) Date of Birth	(西暦)年Year　月Month　日Day	性別 Sex	☐男 Male　☐女 Female
TEL(昼間連絡可能な番号) Contactable telephone number in daytime		e-mail	

履　歴(空白期間の無いよう記入すること)　History

	入学及び卒業修了年月(西暦で記入) Year and Month of Entrance and Completion	在学年数 Years Attended	学校名 Name of School	正規の修業年限 Required years for Graduation in standard
学歴 Educational Background	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年Years	小学校(注2 Note2) Elementary Education (Elementary School)	年Years
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年	中学校(注2 Note2) Secondary Education (Lower Secondary School)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion	年	高等学校 Secondary Education (Upper Secondary School)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業(見込) To Year Month Completion(Expected)	年	大学 University/College 学部・学科 Faculty & Department Higher Education (Undergraduate Level)	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業 To Year Month Completion(Expected)	年	高等専門学校 Technical College 学科 Department	年
	年 月入学 From Year Month Entrance 年 月卒業(見込) To Year Month Completion(Expected)	年	高等専門学校専攻科 Technical College, Advanced Course 専攻 Department	年
	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month	年	注3～5参照　Refer to Note 3 - 5	
	年 月 年 月	年	注3～5参照　Refer to Note 3 - 5	

	勤務期間 Period of Employment	在職年数 Years of Employment	勤務先名称 Name of Organization
職歴 Employment History	年 月 From Year Month 年 月 To Year Month	年	
	年 月 年 月	年	

注：Note

1. 重国籍者はすべての国籍を記載すること。
1. Those who have multiple citizenships must list all nationalities.
2. 履歴事項は、日本の大学を卒業又は卒業見込みの者は、高等学校入学から現在までを記入すること。 それ以外の者は、小学校入学から現在までを記入すること。「在学年数」、「正規の修業年限」欄の数値も漏れなく記入すること。
2. Applicants who have graduated or expect to graduate from foreign university need to enter information from their elementary school to the present. Other applicants need to enter information from high school to the present. Fill in completely for both "Years attended" and "Required years for graduation in standard".
3. 研究生の経歴は、学歴欄に記入すること。
3. Put your study records as a research student on "Educational Background"section.
4. 履歴欄は、空白期間がないように記入し、自宅において学習した期間については、「自宅学習」として、その期間を記入すること。
4. Fill in all the sections without blank period, and applicants who have the period of study at home fill in like "Study at home"
5. 記入欄が足りない場合は、同様の様式の別紙を作成して記入すること。
5. If the space is not sufficient, attach another sheet like this document.

【修士課程出願者用】出願書類確認表
Application Documents Checklist for Master's Program

【Bクラスター　工学研究科大学院掛に提出】募集要項「Ⅲ　出願要領」及び下記を参照の上、必要な書類がそろっているか確認してください。

Please submit to Graduate Student Section in B Cluster Office. Please make sure that you have necessary documents before submission, referring to III Application Documents in the Guidelines and the following.

	京大工学部卒業（見込）者 Graduate / the Expected to Graduate from Faculty of Engineering, Kyoto University	日本の大学（京大工学部以外）卒業（見込）者 Graduate / the Expected to Graduate from Japanese University (Except for Faculty of Engineering, Kyoto University)	外国の大学卒業（見込）者 Graduate/ the Expected to Graduate from Universities outside of Japan.			出願資格（2）該当者（高専専攻科修了・学位取得者等） Applicants under Our Eligibility Requirement (2)	注意事項　Notes
			京大工学研究科研究生 Research Students of Graduate School of Engineering, Kyoto University	京大研究生（工学以外） Research Students of Graduate School in Kyoto University (except for Graduate School of Engineering)	左記以外 Applicants Other than the Two Listed Left.		
出願資格　Eligiblity Requirement	(1)	(1)	(3)(4)(5)(6)			(2)	※募集要項のⅡi「出願資格」参照。　Refer to II i "Elgibility" in our Guidelines.
□写真データ Photo data	○	○	○	○	○	○	
□在留カード（表裏）のコピー Photocopy of Both Sides of Residence card	外国人留学生のみ提出　Only for International Students						※出願時に提出できない者は、パスポートのコピーを提出すること。 If you can't submit this, please submit a photocopy of passport page with face photograph.
□出願承諾書 Application Consent Form	外国人留学生のみ提出　Only for International Students						
□国費留学生証明書 MEXT Scholarship Student Certificate	現在、京都大学工学部・工学研究科以外に在籍中の国費留学生のみ提出 Only for International Students who Are Currently in Receipt of MEXT Scholarship, also Expected to Receive It after Enrollment, and Don't Belong to Graduate School of Engineering or Faculty of Engineering, Kyoto University.						※所属の学校が発行したもの The certificate is issued by university which you currently enroll in.
□成績証明書(原本) The original of academic transcript		○		○※	○	○	□日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
□卒業(見込)証明書(原本) Original of Certificate of Graduation/Expected Graduation		○		○※	○	○	□日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
□推薦書(原本) Original of Letter of Recommendation				○※	○		□日本語・英語以外の証明書には、日本語訳または英語訳を添付してください If the certificate is not written in English or Japanese, the original one and its English or Japanese translation must be submitted.
□学士の学位授与証明書(原本) Original of Certificate of Bachelor's Degree						○	※出願資格Ⅱi(2)に該当する者のみ Only for applicants under our eligibility requirement II i(2).

※工学研究科協力講座(研究所等)の研究生で、研究生の出願・入学手続きの際に原本を提出し、確認を受けている場合に限り、コピーの提出を可とする。
We can accept the photocopy of these documents only if applicants are research students who belong to the Cooperating Chairs of our Graduate School, which are the designated laboratories in research institutes of Kyoto University, and already submitted the original documents when applying.

【志望する入試区分のクラスターへ提出】
Submission to Cluster Office in Each Desired Division

入試区分別の指定提出書類 Documents Required in Some Divisions Other than the Above	募集要項の「入試区分別入学試験詳細」をよく読んで提出物の有無を確認し、指定された方法により提出してください。**提出場所は、上記書類の提出先と異なります。** In some Divisions, you may be required to submit other documents than the above. Read “Details of Entrance Examination of each Division and Department” in the Guidelines carefully. Please be noted that other documents need to be submitted to cluster office in each desired division, different from the receiving office for the documents above.

工学研究科長　殿

出願承諾書
Application Consent Form

出願者が合格した場合、研究室に受け入れて指導を行うことを前提に、出願を承諾します。なお、安全保障輸出管理にかかる事前確認シートを提出し、所定の確認・審査等を終えて「受入可」の通知を得たことを確認しました。

I approve the applicant to submit the application, with the understanding that I will admit the applicant to my laboratory and supervise the applicant if the applicant passes the entrance examination. Furthermore, I have already submitted the Pre-screening Sheet (Form1) regarding Security Export Control, and confirmed that the prescribed checks, reviews and other procedures have been completed and received the “Notice of the Acceptance”.

出願者名 _____
Applicant's name

指導予定教員　所属・職名 _____
Department and title of supervisor

指導予定教員　氏名 _____
Name of supervisor

署名日付 _____
Date of Signature

指導予定教員署名 _____
Signature of supervisor

（注）本承諾書は指導予定教員が作成します。安全保障輸出管理にかかる確認・審査等には一定の時間を要するため（通常 2 週間程度、内容によっては数ヶ月程度）、出願者はできる限り余裕を持って指導予定教員に作成を依頼してください。なお、確認・審査等の結果によっては「受入可」の通知を得られず、本出願承諾書の提出に至らない（出願することができない）場合もあります。
また、安全保障輸出管理における確認・審査等は、京都大学における学内手続であり、当該確認・審査等をもって関係省庁による入国査証（ビザ）の発行を保証するものではありません。規制事項に該当する場合や、在留資格認定証明書（COE）不交付もしくは審査長期化の場合、試験に合格しても入学が認められない場合や、入学後であっても、希望する教育や研究指導等に制限が生じる可能性があります。
【指導予定教員へ】
（様式１）事前確認シート【外国人等（学生、研究者、訪問者）受入用】を工学研究科教務課へ提出し、所定の確認・審査等を終えて「受入可」の通知を得たことを確認したうえで、本承諾書を発行し、出願者へお渡し願います。

Note
This consent form is to be issued by the Prospective supervisor.
The checks and reviews process for Security Export Control requires a certain amount of time (typically around two weeks, but it may take several months or more depending on the content), Applicants should request that their supervisors prepare the necessary documents well in advance. Please note that depending on the result of the check and review process, you may not receive the “Notice of the Acceptance”, in which case you will be unable to submit this form (and thus will be unable to proceed with your application). Furthermore, this procedure is solely an internal review within Kyoto University, and completion of this confirmation does not guarantee the issuance of an entry visa by the relevant government authorities. In certain cases, such as when specific regulatory restrictions apply, if a Certificate of Eligibility (COE) is not issued, or if the screening process for a COE is significantly prolonged, you may be denied admission even if you pass the entrance examination. Furthermore, even after enrollment, there may be restrictions placed on the educational programs, research guidance, or other academic activities you wish to pursue.

To the Prospective Supervisor,
Please submit the Pre-screening Sheet (Form1) for Accepting Foreigners, etc. (Students, Researchers, Visitors) to the Educational Affairs Division, Graduate School of Engineering, and then please issue this form and provide it to your applicant only after confirming that the required checks and reviews have been completed and that a “Notice of the Acceptance" has been received.